



順天堂大学

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 Tel.03-3813-3111(代表)
<https://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂大学

2024-2025

大学院

医学研究科	修士課程／博士課程
スポーツ健康科学研究科	博士前期課程[修士課程]／博士後期課程[博士課程]
医療看護学研究科	博士前期課程[修士課程]／博士後期課程[博士課程]
保健医療学研究科	博士前期課程[修士課程]／博士後期課程[博士課程] 令和7年度課程名称変更予定 令和7年度開設 ※2024年8月29日文部科学省設置認可
国際教養学研究科	修士課程
健康データサイエンス研究科	博士前期課程[修士課程]／博士後期課程[博士課程] 令和7年度開設 ※2024年8月29日文部科学省設置認可

大学

医学部	医学科
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科
医療看護学部	看護学科
保健看護学部	看護学科
国際教養学部	国際教養学科
保健医療学部	理学療法学科／診療放射線学科
医療科学部	臨床検査学科／臨床工学科
健康データサイエンス学部	健康データサイエンス学科
薬学部	薬学科

順天堂大学 JUNTENDO





学 是

仁

人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心。これ即ち「仁」

理 念

不 断 前 進

現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける姿勢のこと

学 風

三 無 主 義

出身校・国籍・性別の差別のないこと

Contents 順天 堂

医学部	03
スポーツ健康科学部	07
医療看護学部	11
保健看護学部	15
国際教養学部	18
保健医療学部	22
医療科学部	26
健康データサイエンス学部	29
薬学部	32
大学院 医学研究科	36
大学院 スポーツ健康科学研究科	41
大学院 医療看護学研究科	44
大学院 保健医療学研究科	47
大学院 国際教養学研究科	49
大学院 健康データサイエンス研究科	51
令和7年度開設 ※2024年8月29日文部科学省設置認可	
順天堂の歩み	53
キャンパス・附属病院へのアクセス	57
順天堂大学の概要 DATA編	59

受験生のチャンスを広げる多様な入学試験

寮生活を通じて協調性を育む

1年次は、全員がさくらキャンパス（千葉県印西市）の学生寮「啓心寮」でスポーツ健康科学部の学生と共同生活を送ります。これは開学以来変わらない順天堂の伝統です。啓心寮では、寮生の一人一人が「自由に振る舞って、しかも他人に迷惑を及ぼさぬ行動ができるようになる」ことを教育の目標としています。寮生活を通じて考え方も趣味も嗜好も違う学生が、学部垣根を越えて交流することで、他を思いやる温かい心や協調性が育まれます。

常にトップクラスの医師国家試験合格率

本学では、学力を重要視することはもちろんですが、面接試験、小論文試験、小中高に至る評価表等を

重視し、受験生の感性や医師となるべき人物・識見・教養などを見極めていきます。このことは、本学入学者において退学や留年をする学生が非常に少なく、そして高い医師国家試験合格率が維持されている現状からも証明されています。

医学研究のエリート育成

将来、研究医を目指す方のために、本学医学部には医学研究のエリート育成を目的とした『基礎医学研究者養成プログラム』があります。本プログラムでは1年次から特別カリキュラムが設けられるので早期に自身の研究をスタートでき、卒業までに大学院の単位を前倒しで取得します。大学院を修了し、博士号取得後には本学の助教として自らの研究を継続することができます。

本学が誇る6つの附属病院

医学部には6つの附属病院があり、総病床数は3,589床と日本最大規模を誇ります。6病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と総合力に秀でています。このような附属病院にて、医学部生は様々な症例を臨床実習で学びます。

近年の医学の進歩は目覚ましく、医学部の学生が修得しなくてはならない知識・技能は膨大なものとなっています。したがって、限られた授業時間のなかで十分な学習効果をあげるためには、「activeな学びの姿勢」が重要になってきます。

医学部の6年間では、将来の医師や研究者としての最低限の必要な知識・技能・態度を学ぶことになり

ますが、実は卒業後も生涯を通じて「activeな学びの姿勢」を保持し、更に高めることが求められます。

医学部教育において最も大切なことは、受動的に知識を取得するのではなく、自ら学び、考え、問題を解決する能力を育成することです。皆さんには自ら学習する習慣（passiveなものからactiveなものへ）を培ってもらいたいと思います。

Faculty of Medicine

本学医学部では、医師になろうと努力する学生に対して、6年間で卒業し、ストレートで医師国家試験に合格できるよう教育します。さらに、人格的に優れ、知性と教養と感性溢れる医師になるための教育も行います。本学では、教員と学生の距離が近いことから、医学教育や課外活動などにおいて、一人ひとりの個性を尊重した教育が行われており、すべての学生が、学生生活を楽しく充実して過ごせるよう随所に教育的配慮がなされています。



学部 DATA

取得できる学位		学士(医学)
学 科		医学科
学生男女比		54% 46%
男：450名		女：382名
人 数		
専任教員数(研究科含む)		1,611名
入学定員数		140名
学生数		832名
取得可能な資格		
医師国家試験受験資格		
キャンパス		
1年次		さくらキャンパス
2～6年次		本郷・お茶の水キャンパス

学びのポイント

最先端のICT教室

1年次の終盤からは本郷・お茶の水キャンパスで医学専門教育が始まります。教育棟であるセンチュリータワーにはICTを駆使した最先端の教室が完備されており、ICTを活用した授業が行われています。



少人数教育

4年次の臨床コア実習および5・6年次の臨床エキスパート実習では、4～5人1グループのきめ細かな指導体制のもと、病状を正確に把握するための問診の方法や診察法の技能、態度などを習得していきます。このように少人数教育を導入し、きめ細かな指導によって、医療現場での的確な状況判断と問題解決能力を高めています。



病院内多職種演習

早期体験学習の一環として、病院の現場で働く医師・看護師等様々な職種の方々を講師として招き、病院の多様な機能とそれぞれの役割について学びます。実際に現場で働く人からレクチャーを受けることで医療人としての自覚を高めチーム医療における基本的な態度、マナーを学びます。



基本手技実習

基本手技は医師にとって必須の技術であり、軽重を問わず救急場面において必要とされる外科的基本手技を学びます。実習では、注射器・注射針の取り扱い、結紮法（糸結び）・縫合法、心肺蘇生法などについて学びます。授業は講義と実習を連動させて行い、実習で教わった基本手技を繰り返し自習することにより、技術を完全に習得することを目指します。

さらに、基本手技実習では技術を習得することも重要ですが、医師として患者に接する態度、患者を救おうとする誠実な態度を養うことが目標となります。



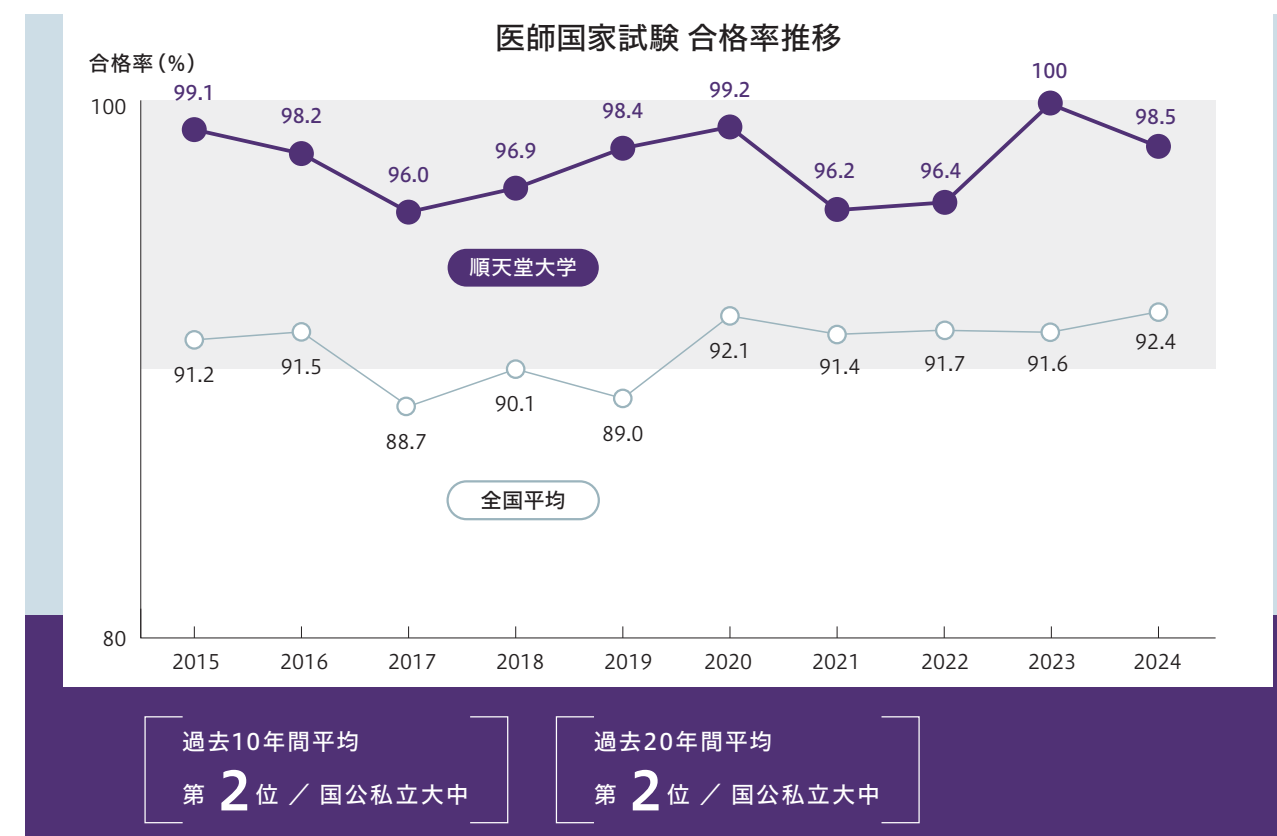
グローバルスタンダードな医師を目指して世界へ

6年次の学生インターンシップ実習では、学内・学外のみならず海外の施設においても、学生自身が

望む領域について学修することを認めています。最終学年となり、自分の興味をもった学問領域にて、2～8週間、思いきり海外実習に臨めます。この海外実習により、国際性を育むと共に知的好奇心を満足させ、医学の面白さを肌で感じることができます。

卒業後の進路

医学部を卒業した学生は、医師国家試験合格後、厚生労働省が認可する基幹型臨床研修病院のプログラムにて2年間の初期臨床研修を行うことを基本としています。



医師国家試験合格率

医師国家試験の合格率は、国公立医科大学中、過去10年間および過去20年間の平均合格率で第2位という高い合格率を維持しています。



スポーツ健康科学部

Faculty of Health and Sports Science

スポーツ健康科学部では、多彩な講義と、数多くの実技・実習、医学部をはじめ他学部との連携により、健康総合大学としての特性を生かした学際的な取り組みを通じて、豊富な知識と教養を身につけていきます。

「スポーツと健康」に関する多角的な視点、専門性並びに高い倫理観を備え、スポーツを通じて持続可能な社会の構築に貢献できるとともに、スポーツ健康科学を基盤として、人を支え、地域をつなぎ、社会を牽引する人材を育むことに取り組んでいます。



学部DATA

[2024.5.1現在]

取得できる学位			スポーツ健康科学科：
			学士（スポーツ健康科学）
人 数	専任教員数（研究科含む）	100名	
	入学定員数	600名	
	学生数	2,438名	
学生男女比			
66%		34%	
男：1,610名			女：828名

	スポーツ健康科学科
高等学校教諭一種免許状（保健体育）	●
中学校教諭一種免許状（保健体育）	●
特別支援学校教諭一種免許状	●
小学校教諭二種免許状【通信課程】	◆
初級バラスポーツ指導員	●
アスレティックトレーナー（受験資格）	●
健康運動指導士（受験資格）	●
イベント検定（受験資格）	●
第一種衛生管理者免許状	●

● 開講する科目を履修することで取得可能な資格

◆ 他大学（玉川大学通信課程）での履修が必要な資格

スポーツ健康科学部

Faculty of Health and Sports Science

スポーツ健康科学を基盤として、人を支え、地域をつなぎ、社会を牽引する。

「スポーツ」と「健康」をキーワードに、新しい時代を共創します。

学びのコアとなる3分野6コース制

4年間のカリキュラムは「専門基礎科目」「専門展開科目」「専門科目」の3科目群で構成されています。1・2年次にかけて土台となる基礎知識を修得し、3年次からは自ら選択した専門科目について、より専門性の高い知識と能力を身に付け、社会に貢献する力を養成します。

1年次	2年次	3年次	4年次
		専門科目	
専門基礎科目	専門展開科目	コース必修科目／コース選択科目	
専門導入科目	スポーツ科学分野 スポーツ健康・教育分野 マネジメント科学分野	競技スポーツコース	卒業研究
運動実技科目		スポーツコーチング科学コース	
スポーツ健康科学科目		スポーツ医科学コース	
		スポーツ教育コース	
		健康科学コース	
		スポーツマネジメントコース	
スポーツ健康科学総論	キャリアデザイン	ゼミナール	
一般教養科目		外国語科目／人文・社会科学科目／自然科学科目	

学部の特徴

世界のスポーツ界をリードする人材の育成

スポーツ健康科学部は世界のスポーツ界をリードする選手、監督、指導者などの人材を輩出し、オリンピック・パラリンピックでの日本の活躍に貢献しています。また、スポーツ行政、教育界、研究分野にも大きくはばたく人材を育成しています。

◎ OGAWA GYMNASTICS ARENA

体操競技場、スカッシュコート、ATR（アスレティック・トレーニングルーム）を併設。



最新のスポーツ・教育研究環境

スポーツ健康科学分野の最先端をいく研究施設・設備を備え、教育研究の分野を牽引し、授業（講義・実習）を展開しています。世界レベルの選手の育成、国際交流の拠点となるスポーツ施設の充実を進めています。

◎ 第3体育館

各種専門コートを有するアリーナ施設、50m室内プール（可動床式）に加え、診療所を併設。



豊かな人間性を育むキャンパスライフ

スポーツ健康科学部と医学部の1年生による1年間の寮での共同生活は、授業だけでは得ることのできない体験学習の場として位置づけられています。共同生活を通じて、「仁」の精神に基づく豊かな人間性を育んでいます。



丁寧なキャリア支援と充実した就学サポート

2年次より、必修科目の「キャリアデザイン」を展開し、3年次以降はそれぞれの目標進路に応じた研修会・講座を年間延べ130日開催。加えて、ゼミナールの指導教員と専任スタッフが一体となって学生一人ひとりに対し早くから希望進路に応じた支援を行い、進路決定まで手厚くフォローしています。



学びのポイント

スポーツによる社会貢献を目指す

スポーツの効果と可能性を理解し、得られた知見（教育や健康・体力づくりに適切なプログラムの開発など）を社会へ還元できる人材を育成します。

医科学的知識・素養を身につける

医学部・病院と連携したスケールメリットを生かし、医科学的知識を身につけるとともに、スポーツパフォーマンスを正しく測定・分析できる能力を養います。

トップアスリートを育成・サポートする

科学的なコーチング理論と最新のトレーニング方法により、卒業後もスポーツの世界で活躍できる優秀な競技者と指導者を輩出します。

「健康」について深く多面的に捉える

ダイバーシティを踏まえ、身体的・精神的・社会的な側面から「健康」に関する知識を修得し、人々の健康づくりと健康支援に必要な技能を育みます。

スポーツ団体・産業界で国際的に活躍する

フィールドワークを通じ、スポーツにおける「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源を理解し、国内外を問わず、実践的なマネジメント能力を身につけます。

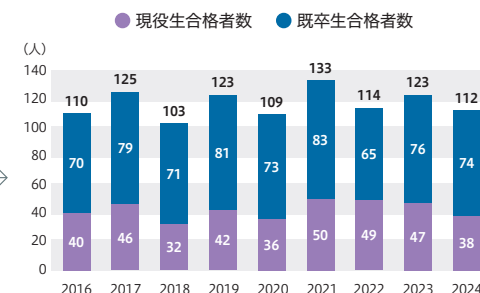
卒業後の進路

SUPPORT
1
教職

112名
教員採用試験合格者数
(2024年度採用試験)

「教職の順天堂」の伝統を受け継いで、2023年度実施の教員採用試験では112名（現役生38名・既卒者74名）の合格者を輩出。全国的教育現場で多くの卒業生が活躍し、「恩師が卒業生だったから」という理由で順天堂大学を志望する学生も少なくありません。

毎年多くの教員を輩出！ それがスポーツ健康科学部

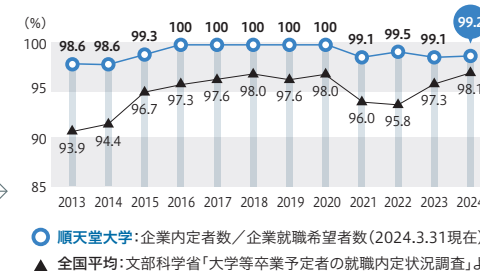


SUPPORT
2
企業

99.2%
企業就職内定率
(2024年3月卒業生)

就職課を中心としたきめ細やかな指導と、学生と教員の密なコミュニケーションにより、常に全国平均を大きく上回る就職内定率を維持しています。

全国平均を上回る 就職実績！

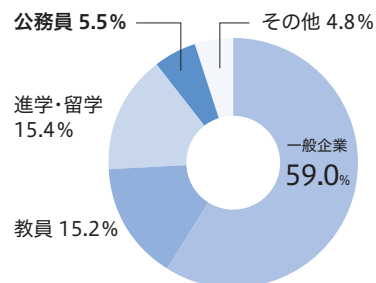


SUPPORT
3
公務員

5.5%
就職先全体における
公務員の割合（2024年3月卒業生）

毎年、警察官・消防官・自衛官のほか、地方行政職に就く卒業生もあり、公務員として活躍する卒業生も多いです。

警察・消防・防衛・ 地方行政など公務員にも！



主な就職先（2024年3月卒業生実績）

【一般企業】アイリスオーヤマ、アルペン、一条工務店、伊藤園、伊藤ハム米久HD、インテック、ウエルシア薬局株式会社、ANAエアポートサービス、Enjin、MT & ヒルトンホテル、NTTデータビジネスシステムズ、NTTデータフィナンシャルテクノロジー、エン・ジャパン、大塚食品、太田胃散、関電工、学校法人順天堂、京葉銀行、日本スカッシュ協会、コロナスポーツウェアジャパン、小林製薬、サニーサイドアップグループ、湘南信用金庫、JALスカイ、SUBARU、セレスポ、ソフトバンク、第一生命保険、大同生命保険、中電工、筑波銀行、ティップネス、TBSスパークル、テルモ、デサントジャパン、TOTO、東洋水産、ニトリ、日本生命保険相互会社、富士フイルムビジネスソリューション、ブルボン、マイナビ、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱UFJニコス、武蔵野銀行、山形銀行、ヤマハ発動機、LAVA International、レバレジーズ、ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ 他 【教員】中学・高校保健体育、特別支援学校、小学校教員として、全国自治体で多数採用 【公務員】茨城県庁、神栖市役所、北見市役所、佐倉市役所、三郷市役所、陸前高田市役所、静岡刑務所、警視庁、千葉県警察、長野県警察、兵庫県警察、東京消防庁、藤沢市消防をはじめとした全国自治体の警察・消防で多数採用 【進学・留学】順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科、茨城大学大学院、京都大学大学院、筑波大学大学院、東京学芸大学教職大学院、東京大学大学院、早稲田大学大学院、大阪警察病院看護専門学校、東京医療専門学校、東京衛生学園専門学校、日本鍼灸理療専門学校、花田学園日本鍼灸理療専門学校、トヨタ名古屋自動車大学校、日本競輪選手養成所、Manchester Metropolitan University、University of Chester 【プロ・実業団】あいネットサービス、あいおいニッセイ同和損害保険、愛媛マンダリンパイレーツ、オリエン特コーポレーション、ギラパンツ北九州、サントリーサンパーズ、JX金属、SUBARU、セントラルスポーツ、ゼンリン、つくばユニテッドサンガイア、デンソーテン、東芝テック、日本航空、PFUブルーキャッツ、プレス浜松、北海道イエロースターズ、ヤクルト本社、レーヴイス栃木、ロジスティード



医療看護学部

Faculty of Health Care and Nursing

医療看護学部は看護師、保健師、助産師を志願する学生に対して、4年間で卒業し、国家試験に合格できるように教育しています。順天堂看護学教育は128年の歴史を持ち、この間に培われた全人教育の伝統を守りながら、知性と教養と心優しい人間味あふれる看護職者となるための教育を行います。

本学部の教育理念は身体のみならず「心を癒す看護」です。これは学是である「仁」の精神(人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心)を基盤にしています。具体的には看護学教育や課外活動等を通じて、教職員や学生間の距離が近く、各々の個性が尊重され、学生生活を楽しく充実したものとなるように教育的配慮をしています。



学部DATA

[2024.5.1現在]

取得できる学位	学士(看護学)	人 数	専任教員数	67名
			入学定員数	220名
学 科	看護学科		学生数	851名
学生男女比	取得可能な資格			
4%	看護師国家試験受験資格			
	保健師国家試験受験資格(選択制・希望者は全員)			
	助産師国家試験受験資格(選抜制)			
	衛生管理者資格(保健師資格取得後申請制)			
	養護教諭2種免許(保健師資格取得後申請制)			
男: 34名	女: 817名	キャンパス	浦安キャンパス	

学部の特徴

100年以上にわたって、
卒業生を医療現場へ

順天堂大学は、常に他人の気持ちを思いやり、慈しむ心を意味する学是「仁」の精神を基盤に、身体のみならず「心を癒す看護」を理念とした全人教育を行っています。120年以上に及ぶ歴史と伝統のある「順天堂の看護」は、先輩から後輩へと脈々と受け継がれ、患者・家族の皆様から高く信頼され、評価されています。



医学部附属6病院に
優先的に就職できる！

医学部附属6病院の希望部署へ優先的に就職することが可能です。毎年、80%以上の学生が順天堂大学医学部附属6病院から就職内定を得ています。附属病院以外の医療機関や、保健師として地方自治体等に就職する学生だけでなく、「更に専門的に看護を学びたい！」と大学院進学を希望する学生へのサポートも行っており、全員が卒業前にその後の進路を決定しています。

全国平均を大きく上回る
国家試験合格率！

医療看護学部の国家試験合格率は、他の大学ではなかなか見られないほど高い合格率であり、全国平均を10%近く上回ることもあります。国家試験対策オリエンテーションや補講、模擬試験、アドバイザー教員の学習支援など、医療看護学部全体で国家試験合格を全力でサポートしています。



専門看護師コースも充実の大学院！

医療の高度化・専門化が進み、より高度な看護が求められています。順天堂大学の大学院医療看護学研究科には、「専門看護師」と「認定看護管理者」の資格認定制度に対応するコースが充実した博士前期課程と、更に高度な研究能力を身に付けられる博士後期課程を設置しています。大学を卒業した後も継続的に専門性の高い学修を続けることができる環境を整えています。



医療看護学部の学び

看護に必要な知識と技術を学び、それらすべてを統合して看護実践能力として発展させる

看護学科では、学生に看護専門職としての基礎能力をしっかりと身に付けてもらうためのカリキュラムを提供しています。学年に合わせて段階的に編成された科目群の中で、看護に必要な教養知識、身体の健康、看護実践に必要な知識と技術を学び、それらすべてを統合して看護実践能力として発展させることを学ぶこ

とが可能です。学生の将来の進路や目的、興味のある分野などに応じて、アドバイザー教員が親身になって履修計画を支援します。

授業は、内容に応じて220人の合同授業から、2～10人のグループ学習まで、多彩な編成で行います。さらに異文化を理解して国際的な視野も養えるよう、希望者には海外研修の機会を設けています。また、保健師、助産師の国家試験受験資格取得のための科目を選択することもでき、保健師、助産師を希望しない学生には高度な看護専門科目を用意しています。

学びのポイント

複数の看護職の国家試験受験資格が得られる！

医療看護学科では、卒業時に看護師国家試験受験資格を始めとする複数の看護職の受験資格が得られます。

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格（希望者は全員）
- 助産師国家試験受験資格（1学年10名程度の選抜制）
- 第一種衛生管理者免許（保健師資格取得後申請可能）
- 養護教諭二種免許（保健師資格取得後申請可能）

教員アドバイザー制度で細かく学習をサポート！

教員1名が約10名の学生のアドバイザーを担当し、学習面だけでなく、進路や就職、生活面の相談にもきめ細かく対応しています。



医学部附属6病院で行う、充実した臨地実習

医学部附属6病院はもちろん、数多くの施設で豊富な実習を行うことができます。最先端のロボット手術や年間3,000例にもおよぶ出産、高齢者への専門的な医療などに対応している医学部附属病院での実習を通して、将来、医療現場で働く際に役立つ実践能力を着実に身に付けることができます。

臨地実習

臨地実習は、静岡病院を除いた附属5病院を中心にを行います。講義や演習で学んだ基礎的な知識や技術を臨床の場で応用し、看護の実践力を身に付けることが目的です。1年次から4年次にかけて行われ、学年が進むごとに質、量ともにレベルアップしていきます。

- | | |
|--------|----------|
| ●基礎看護学 | ●高齢者看護学 |
| ●小児看護学 | ●成人看護学 |
| ●母性看護学 | ●在宅看護学 |
| ●精神看護学 | ●公衆衛生看護学 |
| ●助産学 | ●総合実習 |

海外研修

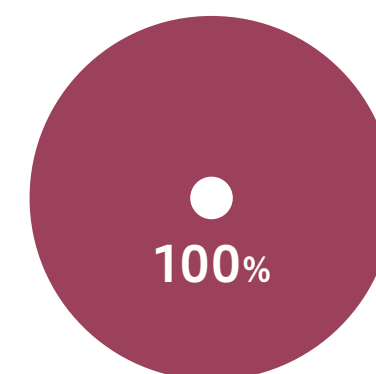
医療看護学科はイギリス、タイ、アメリカなど複数の国での研修を行っています。例えばイギリスではデモントフォート大学(DMU)での13日間の語学・看護研修を2014年度から行っています。2、3年次が対象となり、英語の集中講義、医療・看護の講義や演習に現地の看護学生と共に参加し、地域奉仕活動で英国のコミュニティや文化に触れる機会も設けています。

研修前からDMU看護学生とのオンライン上での交流プログラムを準備しているため、英語によるコミュニケーション能力の向上やイギリスに友人を作る機会にもつながります。研修中は日常英会話、医療英語やディスカッションなどを含んだ様々な課題に取り組み、最終日にはプレゼンテーションを行います。イギリスの社会や文化に触れ、イギリスの看護について学ぶことは貴重な経験となり、その後の学生生活と卒業後のキャリアアップにつながります。

卒業後の進路

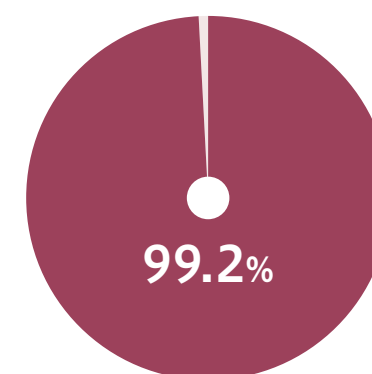
看護師国家試験合格率

(2024年3月22日発表)



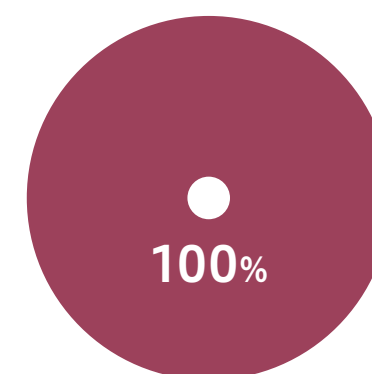
保健師国家試験合格率

(2024年3月22日発表)



助産師国家試験合格率

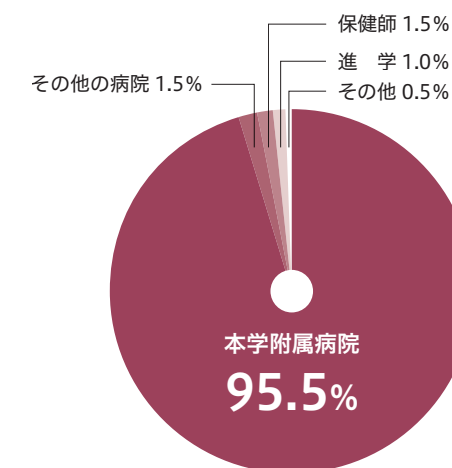
(2024年3月22日発表)



主な進路先

本学部を卒業することで、特色のある機能を備えた高度先進医療を行っている順天堂大学医学部附属6病院に優先的に就職することが可能です。また、各分野のキャリアを重ねることで、認定看護師や専門看護師としてさらに活躍の場が広がります。大学院医療看護学研究科に進学すると、より高度な看護教育と研究指導を受けられます。

卒業生の内定状況(2023年度)





保健看護学部

Faculty of Health Science and Nursing

静岡県三島市の整備された教育環境の中で、教育経験・看護臨床経験ともに豊富で優れた教員が、より安心安全で質の高い看護を提供するために必要な看護基礎教育を行います。また、看護学実習(臨地実習)は順天堂大学医学部附属静岡病院を中心にありますが、看護臨床教員が臨床現場の実習指導者を兼任し、卒業後もスムーズに現場に溶け込めるよう、看護実践現場と学内教育の連携を密にとりながら進めていきます。



学部DATA

[2024.5.1現在]

取得できる学位	学士(看護学)	人 数	専任教員数	37名
			入学定員数	160名
学 科	看護学科		学生数	548名
学生男女比		取得可能な資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 第1種衛生管理者資格(保健師資格取得後申請制) 養護教諭2種免許(保健師資格取得後申請制)	
9.5%	90.5%	キャンパス	三島キャンパス	
男: 52名	女: 496名			

学部の特徴

カリキュラム

本学部では、4年間の学修を通じて、豊かな人間性と、看護職者として活躍していくための知識を体系的に学ぶことができます。

また、卒業時に看護師国家試験受験資格(全員)、保健師国家試験受験資格(選択制 130 名)が得られます。(2024 年 4 月変更)

実 習

順天堂附属静岡病院などの実習先で「実」のある経験を積み、多くの看護師が今も、医療の現場で活躍しています。



保健看護学部の学び

心身ともに健全に、多様な価値観と国際性に対応できる次世代の看護を担う

保健看護学部では、講義・演習・臨地実習の有機的な連携による学びのプロセスを経て、看護師・保健師としての心と技術を習得します。

また、心身ともに健全に、多様な価値観と国際性に対応できる次世代の看護を担う看護職者になるために、

教 員

医療・看護に力を入れてきた順天堂の、専門性の高い教員達が教育にあたります。国家試験対策、進路の相談まで、看護を志す学生の力強い味方になります。

アドバイザー制

教員が少人数の学生を担当し、学生一人ひとりにきめ細かく学修面および生活面の指導・支援を行います。各学年の学生が7人程度のグループに編成され、2人のアドバイザー教員が学修や進路、学生生活全般について助言や指導を行います。

アドバイザーは、1年次から4年次まで継続フォローできるよう、原則交代しない体制をとっています。各グループの懇親会も行っており、学年を超えた交流が持てる支援が可能となっています。



幅広い教養や語学教育、スポーツ教育に力を入れています。



学びのポイント

4年間の学びのプロセスを着実に進められるステップがある

基礎から徐々に高度な内容へと、スムーズかつ段階的に理解を深めていけるように、学びのプロセスが用意されています。

最新鋭の設備・機器のある環境

最新の設備や良質の環境で学べることは、看護の道に進む人間にとって大きなアドバンテージとなります。本学部の実習では最新鋭の設備や機器に触れ、より先進的な医療技術への理解が深まります。

看護職者としての核となる臨地実習

1年次より臨地実習を組み入れています。病院、保健センター、保育所、訪問看護ステーション、産業健康管理室などさまざまな保健・医療・福祉の場で学修をします。

英語 I

大学グローバル化への対応策の一環として、本学の英語教育ではTOEFLのスコアアップを目指しています。TOEFLは全世界130ヵ国が採用している英語能力試験であり、まさしく世界標準となります。皆さんも本学入学を契機に世界に通用する英語の習得にチャレンジしましょう。

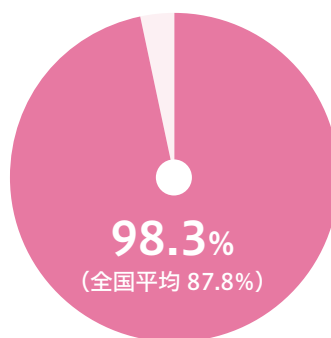
地域包括ケア実践統合実習

4年間の集大成としての臨地実習です。担当教員のアドバイスを受けながら、選択した領域において看護や保健の今日的テーマや課題を設定し、その領域の実習目標や臨地実習施設の状況を踏まえながら、自ら主体的、計画的に学びます。4年間で学修した知識・技術・態度を総合し、看護実践能力の向上を目指します。

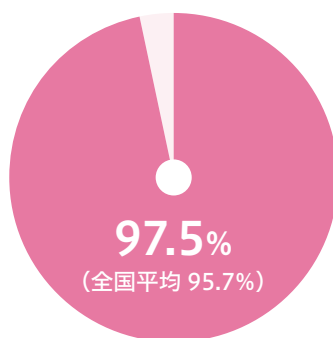
卒業後の進路

順天堂大学医学部附属の6病院をはじめ、静岡県内外の看護の現場で高い就職率を誇ります。また卒業後の進路について、学生をサポートする体制を整えています。

看護師国家試験合格率
(2024年3月22日発表)



保健師国家試験合格率
(2024年3月22日発表)



国際教養学部

Faculty of International Liberal Arts

国際教養学部は、国際社会で幅広く活躍するために必要な教養や高いコミュニケーション能力を習得するためのカリキュラムを通して、多様な価値観の中で自律し、周りの人々と共生し、主体的に生きることができる人＝グローバル市民(Global Citizen)の養成を目指しています。順天堂大学がこれまで培ってきたグローバルヘルスに関する知識や、異文化コミュニケーションに関する専門性も習得することができます。



学部DATA

[2024.5.1現在]

取得できる学位	学士(国際教養学)
学 科	国際教養学科
学生男女比	47% 53%
	男：448名 女：502名

人 数	専任教員数	34名
	入学定員数	240名
	学生数	950名
取得可能な資格	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語) 社会福祉主事任用資格 社会調査士	
キャンパス	本郷・お茶の水キャンパス	

学部の特徴

注目のグローバルヘルスを学べる専門教育

本学部の学生は3年次から「グローバル社会領域」「異文化コミュニケーション領域」「グローバルヘルスサービス領域」の3つから、興味や目指す進路に応じた専門的領域を選べます。特に学部レベルでグローバルヘルスを学べる大学は、現在、日本では本学部だけです。

少人数で実力を養う外国語学修

外国語の授業では、少人数クラスをさらにグループに分けた協同学習を採用。他の学生と外国語で活発に意見を交わすことで、聞く力、伝える力を着実に養っていきます。また、英語以外にスペイン語、フランス語、中国語の外国語も学ぶ「複言語主義」を導入していることも、本学部の大きな特徴です。

夢を後押しする充実したキャリア教育

グローバル市民として幅広い舞台での活躍を目指す学生の就職・キャリア形成を支援するために、本学部では次の6つの特徴を有するキャリア教育を展開しています。

- ① 1年次から就職支援をスタート
- ② 豊富なキャリア教育科目と多くの職業人との出会い
- ③ 経験豊かなキャリア教育担当教員
- ④ 全教員が協働して学生のキャリア支援
- ⑤ 国家資格キャリアコンサルタントによる個別進路相談
- ⑥ 充実した就職支援活動

国際教養学部の学び

基礎を築き、知識を深め、国際対応力の強化を図る

入学からの1～2年次は、国際教養の全体像を把握すると同時に学問の基礎となる考え方やスキルを身に付けます。3～4年次では、築いた基礎に加え、それぞれの興味・関心、キャリア設計に応じて知識を深

グローバルな視野を広げる立地・環境

キャンパスを置く東京の御茶ノ水・水道橋周辺地域は、古くから多数の有名大学が集まる学生街であると同時に、国際的な観光スポットや名所も豊富です。外国からの留学生、ビジネスマン、観光客の姿も多く、グローバルな視野や経験を広げる機会にも恵まれています。

豊富な経験と実績を持つ教員陣

本学部で指導にあたるのは、グローバリズムや異文化コミュニケーション、グローバルヘルスなどに関連する分野で、豊富なキャリアと実績を持つ教員陣です。その専門分野は、医療・保健、言語・コミュニケーション、通訳・翻訳、途上国支援など、多岐にわたっています。

大学は教育と研究の場

大学は教育と研究の場であり、新しい研究の成果が、より良い教育の基礎になります。健康、スポーツなどを授業科目にもつユニークな国際教養学部として、教員全員がそれぞれ自由に研究成果を発表し、広く学会、教育界そして一般社会に発信しています。文系・理系の多様な専門性をもつ教員・研究者間での意見交換と互いの刺激が領域を越えた新しい知を生み出すことを期待し、学部開設初年度より、毎年「順天堂グローバル教養論集」を発行しています。

め、国際対応力を強化していきます。また、リベラルアーツ実現のために必須である少人数教育を重視し、1年次演習科目「リベラルアーツ演習Ⅰ・Ⅱ」を学部の全専任教員が担当し、3年次演習科目「グローバル市民演習（基礎）」と4年次演習科目「グローバル市民演習（発展）」へと繋げます。

学びのポイント

場所と目的が選べる、多彩な海外研修プログラム

国内での充実した外国語授業に加え、海外でしかできない貴重な体験を提供する、豊富な研修プログラムを用意しています。研修先は北米、欧州、オセアニア、アジアと多岐にわたり、その内容も、語学力向上を目的とするものから、グローバルヘルスに関わるワークショップ形式のものまであり、一人ひとりの興味に応じて選ぶことができます。

カウンセリングや個別学修など多様に利用できる言語学修センター

学生の自律した言語学修をサポートする本学部専用の施設です。カウンセリング・ブースで常駐する教員に気軽に学修の相談ができるほか、オープンスペースでは教員や友人とくつろいだ雰囲気の中で意見の交換や討論を行えます。e-learning用パソコンや、映画などのDVD、CD、書籍、英字新聞なども豊富にそろっており、個別ブースでは音声教材やオンライン教材を使ってリスニングの練習ができます。プレゼンテーション練習用コーナーも設置するなど、語学学修を効果的に進めるための環境が整っています。



国際的教養を備えた英語教員を目指せる教職課程を設置

グローバル化が進む中、英語教員の役割は非常に重要なものとなっています。国際教養学部では、中学校

と高等学校の教諭一種免許状（英語）を取得できる教職課程のカリキュラムを設置。教室での授業を通して学ぶ「理論」と、教育実習などによる「実践」をバランスよく取り入れることで、教員としての実践的指導力を育んでいきます。本学部の教職課程で学ぶことにより、単に英語の技能だけではなく、文化的な背景に関する知識など幅広い国際的な教養も身に付けた英語教員を目指すことができます。



UNHCR難民映画祭・学校パートナーズ

国連難民高等弁務官（United Nations High Commissioner for Refugees）駐日事務所は、2006年から毎年「UNHCR難民映画祭」を開き、映画上映による難民問題の啓発活動を行っています。順天堂大学国際教養学部は、2016年度より「UNHCR難民映画祭・学校パートナーズ」として、毎年、公開講座の形で学内で上映会を開催し、多くの学生、一般市民の方々が参加しています。

言語や文化背景の異なる学生が共に学ぶ国際共修科目

学部カリキュラムでは、海外からの交換留学生と本学部の学生が共に学ぶ科目群「国際共修科目」を編成し、多くの科目を開講しています。言語や文化背景の異なる学生が、英語という共通言語を介して知的交流を行うことができます。

海外研修・留学

外国語は本学の教育課程の中でしっかりと身に付け、海外では現地でしかできない体験を提供していきます。

本学部では、学生の興味・関心に合わせたさまざまなプログラムを用意しています。現地では語学を学ぶことはもちろんですが、普段の観光旅行では体験することのできない地域・施設への訪問なども組み込まれており、より深くその国の文化・歴史を体感することができます。

国	研 修 先	研 修 名
タ イ	マヒドン大学	グローバルヘルス短期研修
インドネシア		インドネシアでの異文化体験短期研修
台 湾	国立台湾師範大学	中国語短期研修
カナダ	ブリテッシュ・コロンビア大学	グローバル体験短期プログラム
スペイン	サラマンカ大学	スペイン語短期研修
中 国	大連理工大学	中国語短期研修
	河南師範大学	交換留学プログラム
アメリカ	ハワイ大学マノア校	HELP研修(Hawai'i English Language Program)
	カリフォルニア大学アーバイン校	特別留学プログラム
フィンランド	ユヴァスキュラ応用科学大学	異文化マネジメントプログラム
オーストラリア	西シドニー大学	英語&ヘルスプロモーション短期研修、英語短期研修
シンガポール	シンガポール国立大学	シンガポールで学ぶグローバルヘルス短期研修
	語学学校(First English, CPILSなど)	セブ島短期英語研修
フィリピン	セブ島各地	Global English in Action(課題提起型グローバル英語実践)
	語学学校(French in Normandy)	フランス語・文化短期研修
フランス	国立東洋言語文化学院	交換留学プログラム

ヨーロッパ最古の大学の一つ、 サラマンカ大学でのスペイン語短期研修

ヨーロッパ最古の大学の一つであるサラマンカ大学は、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学などと並び、伝統ある大学で「知識を欲する者はサラマンカ

へ行け」と言われるほどの名門大学です。順天堂大学国際教養学部はサラマンカ大学と学術交流に関する覚書を締結し、交流を進めています。毎年春季・夏季それぞれ10名以上の学生が参加をし、中には、長期留学する学生も。

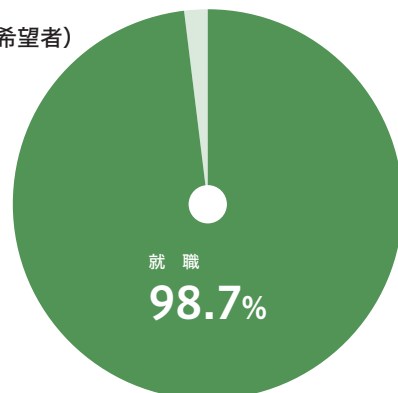
情熱の国スペインを体験し、さらなる学びを深めます。

卒業後の進路

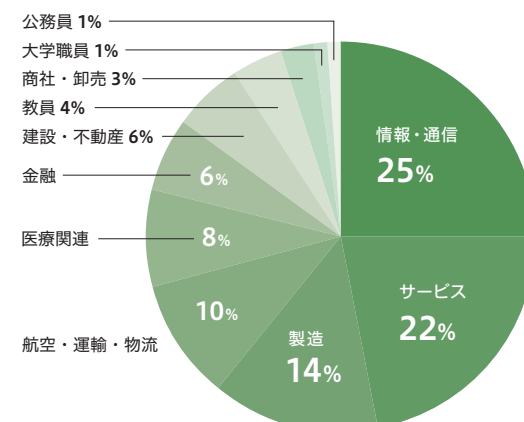
就職率98.7%、大学院進学17名、英語教員6名

各学年にキャリア教育科目を配置、卒業まで複数回の集中キャリアガイダンス、毎週の就職支援行事を全学年の学生に公開し、キャリアカウンセラーによる個別相談や、企業人事担当者と交流会等産学協同してのキャリア支援、毎週のキャリアニュースレター発行するなど、全教職員あげて学生の進路を支援しています。

就職率
(就職者／就職希望者)



主な進路先



保健医療学部 | Faculty of Health Science

保健医療学部は順天堂医院をはじめとする附属病院と密に連携し、高度先進医療に対応する最新設備を備えた環境の中で経験を積み、確かな技術力と高い実践力を身に付けることができます。

経験豊かな教員が、学生一人ひとりの希望進路に合わせて丁寧にサポート。高度な専門知識と技術を持ち、多岐にわたるフィールドで活躍できる理学療法士・診療放射線技師を養成します。



学部DATA

[2024.5.1現在]

取得できる学位
理学療法学科：学士(理学療法学)
診療放射線学科：学士(放射線技術学)

学 科
理学療法学科
診療放射線学科

学生男女比

39%

男：379名

61%

女：591名

人 数
専任教員数 40名
入学定員数 240名
学生数 970名

取得可能な資格
理学療法学科
・理学療法士国家試験受験資格(厚生労働省)
診療放射線学科
・診療放射線技師国家試験受験資格(厚生労働省)
・放射線取扱主任者(原子力規制委員会)

キャンパス
本郷・お茶の水キャンパス

学部の特徴

順天堂大学の基幹キャンパスで学ぶ

保健医療学部は順天堂大学の基幹キャンパスである本郷・お茶の水キャンパスにあります。高度な専門知識と技術を持って、多岐にわたるフィールドで活躍できる理学療法士・診療放射線技師を養成していきます。

附属病院と直結

順天堂医院をはじめとする医学部附属病院のリハビリテーション科、放射線科と緊密に連携。これまでにない環境のなかで経験を積み、確かな技術力と高い実践力を身に付けていきます。

最新設備の整った充実した教育環境

高度先進医療を提供する附属病院には最新設備が整備されています。また、附属病院に蓄積された豊富な研究成果も活用されるなど、最高の教育環境のもとで講義や演習・実習を行っています。

理学療法学科 学びのポイント

医療技術の高度化、多様化の中で、全身管理ができる資質と能力の高い理学療法士の育成を目指します。

互いに協働する連携体制

附属病院の現役理学療法士が実習科目での指導を担当し、本学科の教員は附属病院での臨床業務を兼務するなど、相互に協働する連携体制は順天堂ならではです。

経験豊かな教員による充実の教育指導体制

高度な知識や豊富な臨床経験を持つ教員が、学生一人ひとりの希望進路に合わせて丁寧にサポート。4年間で卒業し、国家試験にストレートで合格できるようきめ細かい指導を行っています。

海外協定校を通じた国際化とグローバル人材の育成

順天堂大学は円滑な国際交流を推進するために多くの海外の大学と協定を結んでいます。海外協定校との交流・連携により、知性と教養溢れ、発信力と行動力のあるグローバルな視点をもった人材を育成します。

スポーツロジックでつなぐ理学療法学と診療放射線学

スポーツロジックをキーワードに、理学療法学と診療放射線学をつなぎ、けがや病気の早期発見・診断から早期復帰までの一翼を担う人材を育成します。
※スポーツロジック (Sportology)：スポーツと医学そして健康の関わりを科学的にアプローチすべく、順天堂が新たに定義した学問体系です。



教員自ら医療の最前線に身を置き、研鑽を積む

全教員が順天堂医院の臨床業務を兼務。学生一人ひとりの特徴や性格を理解した教員が直接指導する機会をすることで、実習でのミスマッチを少なくし、知識や技術の定着を促進します。



医学部の現役教員が行う専門基礎医学が充実

理学療法に対する理解を深めるためには基礎医学の知識が重要です。解剖学や生理学では医学部の実習室を共有し、医学部さながらの授業を行います。医学部の第一線の教員の授業は生涯の記憶に残るものになるでしょう。



診療放射線学科 学びのポイント

診断部門・核医学部門・放射線治療部門の全部門で活躍できる診療放射線技師を養成します。

本学科教員と診療放射線技師との強固な協力体制

本学科の専任教員と診療放射線技師が協力し合い、円滑なカリキュラム運営に努めます。本学部校舎・実習棟と附属病院が隣接する環境を十分に活用し、最新の放射線医学領域の知識が身に付きます。



教員は臨床経験豊富なプロの医療人ぞろい

臨床経験や教育研究が豊富な医師や診療放射線技師が専任教員として在籍。附属病院での診療を共にしていることから、チーム医療教育の基盤も形成し、学生一人ひとりを丁寧に指導します。

国際化を意識した教育

今後、海外からの患者さんに接する機会が多くなります。診療放射線技師は直接患者さんと会話し、体に触れる機会が多いため、グローバルな能力や視点を持ち、コミュニケーション能力を備えた人材の育成します。

保健医療学部 学びを共有

解剖学Ⅰ・解剖学実習Ⅰ(理学療法学科)、 解剖学・解剖学演習(診療放射線学科)

理学療法士も診療放射線技師も医療従事者として、人の体の構造と機能を十分に理解することが大切です。保健医療学部には、本学医学部で長年にわたって解剖学教育を担当してきた教員が専任教員として在籍していて、授業や演習・実験を通して、身体を動かす骨格・関節・筋肉や、生命を維持する様々な臓器について教育指導を行います。

卒業後の進路

保健医療学部では、経験豊かな教員が学生一人ひとりに対してきめ細かく丁寧に教育指導を行います。確かな実践能力と態度、そして主体的に学修を継続することのできる能力を身に付けて、将来的には以下の資格取得や進路を目指すことが可能です。

理学療法学科

取得可能な資格

- 理学療法士国家試験受験資格（厚生労働省）

卒業後の進路

病院・診療所等の医療施設、スポーツリハビリテーション関連施設、福祉施設、医療系企業、国内外の大学院進学など

救命救急学 (理学療法学科・診療放射線学科)

保健医療学部では、「救命救急学」が1年次必修科目として設定されています。救命救急学の授業は本学医学部の第一線の教員が担当し、授業のなかでAED実習も行っています。授業を通じて適切な救命処置の方法と大切さを理解し、医療従事者としての基礎的な知識を身に付けることができます。

診療放射線学科

取得可能な資格

- 診療放射線技師国家試験受験資格（厚生労働省）
- 放射線取扱主任者（原子力規制委員会）

卒業後の進路

病院・各種検査・健診センター、医療系企業、国内外の大学院進学など



医療科学部 | Faculty of Medical Science

(2026年4月に医療科学研究科・仮称を開設予定【設置構想中】)

医療科学部は、2022年4月、順天堂大学に第7番目の学部として開設されました。「確かな診断に導く検査のスペシャリスト」臨床検査技師と、「医療の安全を保ち、いのちを守るエンジニア」臨床工学技士を育成します。

豊富な臨床経験と高い研究能力を兼ね備えた教授陣が、学生一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。キャンパスは順天堂大学で最も新しく、千葉県浦安市日の出に位置します。医療現場でも実際に使われる設備や検査機器を用いた実習の中で、最新鋭の医療を学び、現場で生かせる実践力を身につけることができます。



学部DATA

[2024.5.1現在]

取得できる学位	臨床検査学科：学士（臨床検査学） 臨床工学科：学士（臨床工学）	人 数	専任教員数	28名
			入学定員数	180名
学 科	臨床検査学科 臨床工学科	取得可能な資格	学生数	553名
			臨床検査学科 ・臨床検査技師国家試験受験資格 （厚生労働省） 臨床工学科 ・臨床工学技士国家試験受験資格 （厚生労働省）	
学生男女比		キャンパス		
男：144名		浦安・日の出キャンパス		

学部の特徴

開学以来の医療識者養成の経験と実績

開学以来、順天堂大学には永年にわたり蓄積してきた医療識者養成の経験と実績があります。医学部や他の医療系学部と相互に連携し合い、教育を行います。

国際性を有する次世代のリーダーを育成

新型コロナウイルス感染症の収束をめざす医療現場で、ますます必要とされ活躍が期待される「臨床検査技師」と「臨床工学技士」。新学部では、グローバル時代に対応するため、充実した外国語教育等により、どのような時代が訪れても活躍することができる、国際性を身につけた次世代のリーダーを育てることを目標としています。

臨床に強い教授陣に学ぶ

圧倒的な臨床力を有する、本学医学部と医学部附属病院のバックアップにより、臨床経験豊富な教授陣から専門的知識と医療技術を学びます。

臨床検査学科 学びのポイント

医学系他学部と連携した実践能力をつける教育

一般教養や基礎医学の基礎知識を身につけ、徐々に専門知識・実践的技術を学びステップアップします。そして、医学部をはじめとする医療系他学部と連携し、4年間トータルで段階的に理解が深まるカリキュラム構成になっています。

最先端の医療教育が可能

順天堂は、6つの附属病院の総病床数3,589床。日本最大規模を誇ります。各病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と総合力に秀でています。学部の講義や学内実習には、本学が蓄積してきた豊富な研究成果が活用されるため、最先端の知識を学ぶとともに、医療現場の実践的な経験を得ることができます。

大学附属病院を中心に行う臨地実習および臨床実習

臨地実習および臨床実習は、医学部附属の5病院と、医学部関連病院や本学卒業生の運営する病院・施設を中心に行い、講義と実習との一貫性の確保を図ります。特に、医学部附属浦安病院は、新学部のキャンパスと同じ浦安市内に位置しているため、緊密な連携によって、より専門的な知識・技術の修得が可能です。

国際性を高める教育環境

充実した外国語教育、海外研修等により、世界に羽ばたくことのできるスペシャリストを育成します。

医療現場で実際に使われる設備や検査機器が充実

キャンパス内には、生理機能検査室や臨床検査用の実習室など、最新鋭の医療を学ぶ施設が完備されており、医療機器・設備や検査機器も充実。実際に医療現場で使用されているものを揃えており、授業や実習の中で、現場で活かせる実践力が身につきます。

臨床工学科 学びのポイント

「医学」×「工学」をバランスよく学べるカリキュラム

医学系の科目は、医学系他学部との連携により十分な医学教育の修得が可能です。工学系の科目は、医用工学や人工臓器分野で教育・研究実績のある教授陣が揃い、必要な工学・技術を修得することができます。



充実した学習・研究環境

人工透析装置、人工心肺装置、体外循環装置(ECMOを含む)など、実際に医療現場で使用するハイテク医療機器を完備。授業は少人数制で学生一人ひとりに応じたきめ細かな指導で、医療現場での実践的な技術が身につきます。また、3、4年時の「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」では、研究で得た成果をまとめ卒業論文を制作します。本学で最も新しいキャンパス、浦安日の出の地で、実習室や実習準備室を利用して、実験や調査を行うことができます。



卒業後の進路

医療科学部では、経験豊かな教員が学生一人ひとりに対してきめ細かく丁寧に教育指導を行います。確かな実践能力と態度、そして主体的に学修を継続することのできる能力を身に付けて、将来的には以下の資格取得や進路を目指すことが可能です。

臨床検査学科

取得可能な資格

- 臨床検査技師国家試験受験資格（厚生労働省）

卒業後の進路

病院、クリニック、健診センター、臨床検査センター、医療機器メーカー、製薬メーカー、研究機関、大学院進学等

臨床工学科

取得可能な資格

- 臨床工学技士国家試験受験資格（厚生労働省）

卒業後の進路

病院、医療機器関連企業・機関、教育・研究機関、大学院進学等

卒業後の進路

健康データサイエンティストの活躍の舞台は限りなく広い。

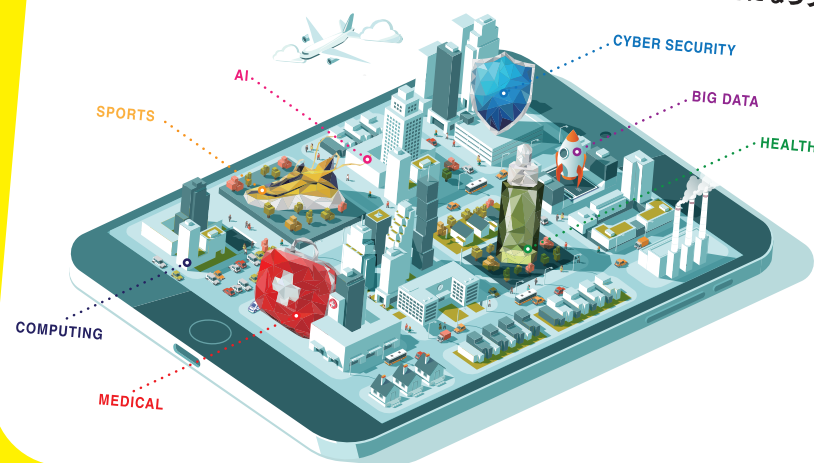
本学部を卒業し、「健康」×「データサイエンス」の2つの専門性を身につけた「健康データサイエンティスト」の未来は限りなく広がっています。すでに世界中でデータサイエンティストの争奪戦が起きていることに加え、人々の暮らしと健康を支える健康・医療・スポーツの分野は、データサイエンスの対象となる領域の幅が広いいため、将来的にさらなる発展の可能性を秘めています。

医療機関や製薬企業、医療・健康・スポーツ関連のメーカーはもちろん、スポーツ運営団体、企業や自治体、シンクタンクにおける健康・医療・スポーツ関連部署でのデータ管理・分析、データ活用、企画立案など、デジタルイノベーション時代を担うスペシャリストとして活躍することができます。

つくるひとになるう。

健康データサイエンス学部
健康データサイエンス学科
2023年4月 開設

世界はいま、答えのない問題であふれている。ないから、あきらめるか。ないから、つくるか。未来を生きる君は、選ぶことができる。順天堂大学の健康データサイエンス学部は、人や社会の健康をつくり、新しい日常をつくるひとを育てる。新しい常識をつくるひとを育てる。学生一人ひとりの興味や志が研究テーマになる学部だ。教授や仲間たちと挑戦し、失敗し、また挑戦する4年間。世界が変わる瞬間を生きる君へ。つくるひとになるう。



薬学部 | Faculty of Pharmacy

薬学部は2024年4月、順天堂大学に第9番目の学部として開設しました。

順天堂の強みは臨床力にあり、仁の精神に根ざした185年に及ぶ医学・医療教育の伝統を受け継ぎ、多彩な医学部附属6病院を活用した薬学教育で、臨床能力の高い薬剤師、薬学研究者、すなわち真の薬学人を育成し、社会に貢献します。

薬学部では、オール順天堂の協力体制のもと、学生の学修理解度に応じた強力なサポートを行い、6年間で卒業し、ストレートで薬剤師国家試験に合格できるよう教育します。



学部DATA

[2024.5.1現在]

取得できる学位 学士(薬学)

学 科 薬学科

学生男女比

27%

男: 51名

73%

女: 135名

人 数	専任教員数	42名
	入学定員数	180名
	学生数	186名

取得可能な資格 薬剤師国家試験受験資格
その他(35頁参照)

キャンパス 浦安・日の出キャンパス

学部の特徴

順天堂の臨床力を活用し、 真の薬学人を育成する。

本学は開学以来2世紀近くにわたり、病める人やその家族、さらに健康な人々の身体のみならず心も理解して、医療・健康・福祉が実践できる臨床力の強い人材を養成する全人教育を行っています。薬学部で

は、本学の伝統的な全人的医療人教育方針に基づいて、医学部・医療看護学部などの他学部と密接に連携し、グローバル化した社会の中で、病める人や健康な人々に医薬品や健康機能性素材等を適切に使用できる薬剤師の養成と、社会の要請に合致した医薬品や健康・機能性素材を開発できる研究者の育成を行います。

薬学部の学び

健康総合大学だからできる 多職種連携教育

順天堂大学は医学部をはじめとし、現在9学部を有する健康総合大学。医師・看護師だけでなく、リハビリテーション、スポーツなど多方面で医療人として活躍する学生が学んでいます。薬学部では、同じ医療人を目指す他学部の学生とともに学び、チーム医療の中で薬剤師としての職能を発揮できる力を修得します。

特に医学部・医療看護学部と連携した教育により、健康な状態から病める状態を理解し、それらに応じた薬物治療を系統的に学び、多彩な臨床現場を経験することで、最新かつ高度な臨床実践力を身に付けます。

最先端の高度医療教育

順天堂大学には6つの附属病院があり、日本最大規模を誇ります。

それぞれ先進医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など特色ある機能を備え、高度先進医療を提供しています。専門性の高い病院において、調剤、服薬指導から地域医療までの多岐にわたる臨床実践教育が受けられます。

基礎研究と臨床研究を融合させる 医療薬学実践研究

1年次から、様々な分野での経験豊富なベテラン教員をそろえた教育環境を提供しつつ、先端的な研究を実践する教員から薬学研究マインドを学び、卓越した薬学専門知識に基づいた実践研究の継続的な展開が経験できます。



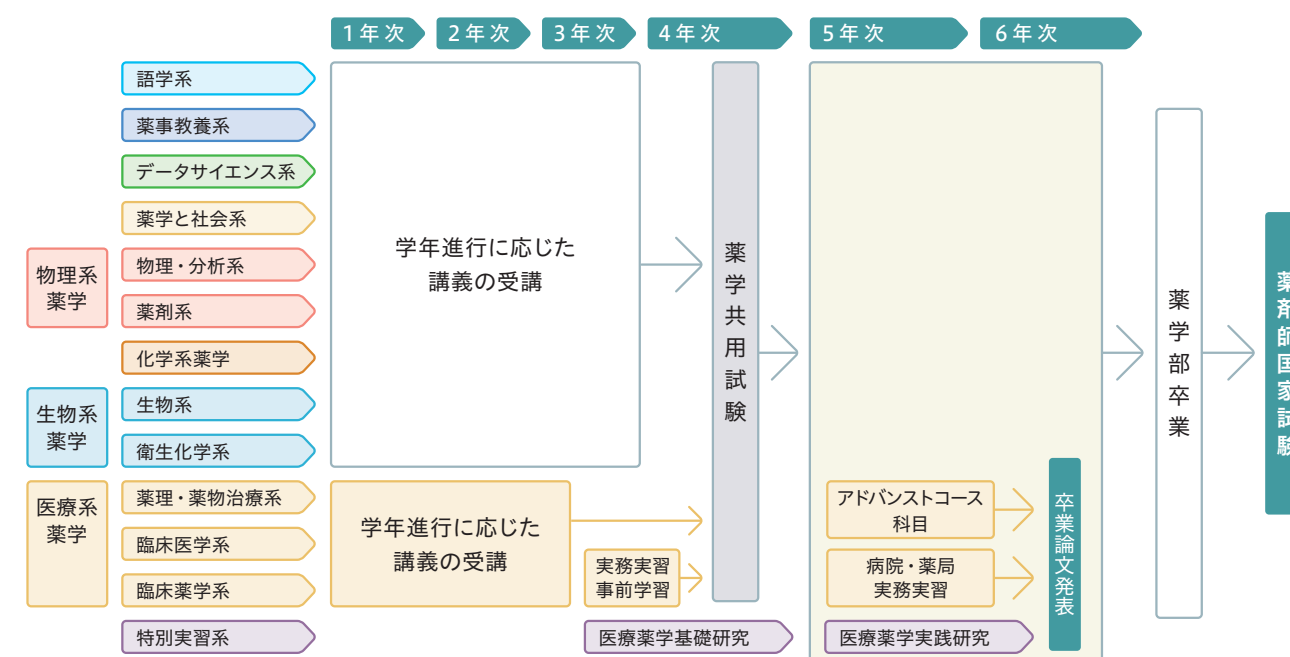
学びのポイント

オール順天堂体制で築く、 実践と研究が融合したカリキュラム

順天堂大学薬学部では、学生一人ひとりが国際的な視野を持ち、実践的な薬学教育を受けることができるよう、薬学の基礎から臨床応用に至るまで順天堂医院の臨床力を活用した真の薬学人を育成する充実したカリキュラムを提供します。

臨床医学系の科目は医学部からの臨床教員が中心となってオール順天堂体制で教育に携わり、幅広い知識と技術の習得を支援します。全学年を通じて、苦手や不得意な科目がないように、国家試験の出題傾向を踏まえた理解度チェックと振り返り学習を実施。薬学教育研究センターが中心となり、全学生が6年間で薬剤師国家試験にストレート合格することを目指します。

■ 入学から卒業までの流れ



卒業後の進路

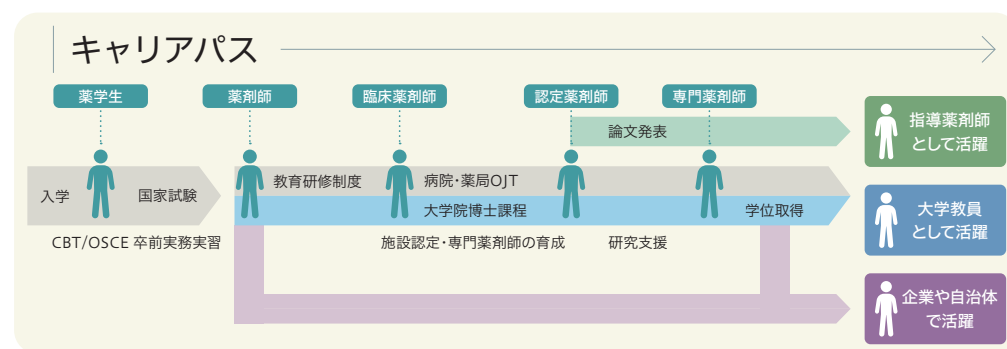
順天堂大学だからかなえられる卒後のキャリアデザイン

臨床力の高い薬剤師として

- 薬学的視点で安全で適切な薬物治療に貢献できる臨床薬剤師
- 高度先進医療に対応出来る専門薬剤師
- 地域医療において顔の見える、かかりつけ薬剤師

臨床を理解している 研究者・行政官・企業人として

- 臨床実践経験に根差した教育研究ができる大学教員
- 医療現場のニーズに応える創薬・育薬ができる企業人
- 医療における安全・安心を守る行政官



■ 薬学部卒業生に与えられる資格及び薬剤師免許に基づく業務など

薬学部を卒業すると取得できる主な資格	● 薬剤師国家試験受験資格 ● 甲種危険物取扱者試験受験資格 ● 毒物劇物取扱責任者 ● 食品衛生管理者
薬剤師でなければできない業務	● 調剤業務 ● 薬局の管理者 ● 医薬品の一般販売業の管理者 ● 医薬品の製造の管理者（動物用医薬品の製造所管理者も含む） ● 学校薬剤師 ● 医薬品の統括製造販売責任者
薬剤師であれば取得できる資格（業務）	● 医薬部外品、化粧品又は医療用具の製造（輸入販売）所の責任技術者 ● 毒物劇物取扱責任者（毒物劇物（農薬を含む）を直接取り扱う製造所、営業所または店舗において、毒物または劇物による保健衛生上の危害の防止に当る） ● 薬事監視員 ● 麻薬取締官（員） ● 麻薬管理者（麻薬診療施設で施用または交付される麻薬の管理） ● 食品衛生管理者 ● 食品衛生監視員 ● 環境衛生指導員 ● 検疫委員 ● 衛生管理者 ● 船舶に乗り込む衛生管理者 ● 外国製造医薬品等の国内管理人
薬学部を卒業した者が取得できる資格（業務）	● 向精神薬取扱責任者 ● 建築物環境衛生管理技術者 ● 水道技術管理者 ● 配置販売業者 ● 医薬部外品、化粧品又は医療用具の製造（輸入販売）所の責任技術者 ● ごみ処理施設の技術管理者 ● 騒音関係、粉塵関係、振動関係の公害防止管理者
薬剤師であればその資格取得に特別の配慮が払われる資格（業務）	● 作業環境測定士（第1種、第2種） ● 公害防止管理者（大気2種、水質3種） ● 環境計量士（濃度の計量証明） ● 労働衛生コンサルタント受験資格 ● 登録販売者



大学院 | Graduate School 医学研究科

修士課程
博士課程

順天堂大学大学院医学研究科は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場です。ここでは、医師・医学者を科学者のみならず感性豊かな教養人として育成することを目途としています。現在、大学院の教育・研究の大部分は、76の研究分野の研究室と16の研究推進センター、12の寄付講座、44の共同研究講座、そして5つの産学協同研究講座と3つの連携大学院コース（国立がん研究センター、国立国際医療研究センター、国立病院機構相模原病院）で行われています。

また、基礎的な医学・生命科学・医療学の概要を習得できるよう修士課程を設置し、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際的レベルで人材養成します。また、修士課程では、8つの学位プログラム（展開医科学、臨床遺伝学（遺伝カウンセリング）、データサイエンス、International Medical Sciences、公衆衛生学・グローバルヘルス、クリニカル・トランスレーショナルサイエンス、ヘルスコミュニケーション、Global Health）を開講しています。



医学研究科（博士課程）

文部科学省私立大学
高度化推進事業に
選定された
大学院研究施設



国内外で活躍できる研究者、 高度専門職業人育成を目指す国内拠点順天堂！

順天堂大学大学院医学研究科は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場です。ここでは、医師・医学者を科学者のみならず感性豊かな教養人として育成することを目途としています。即ち学是「仁」の心を兼ね備えた医学・医療の指導者・実践者を国際的レベルで育成する教育研究の拠点であります。

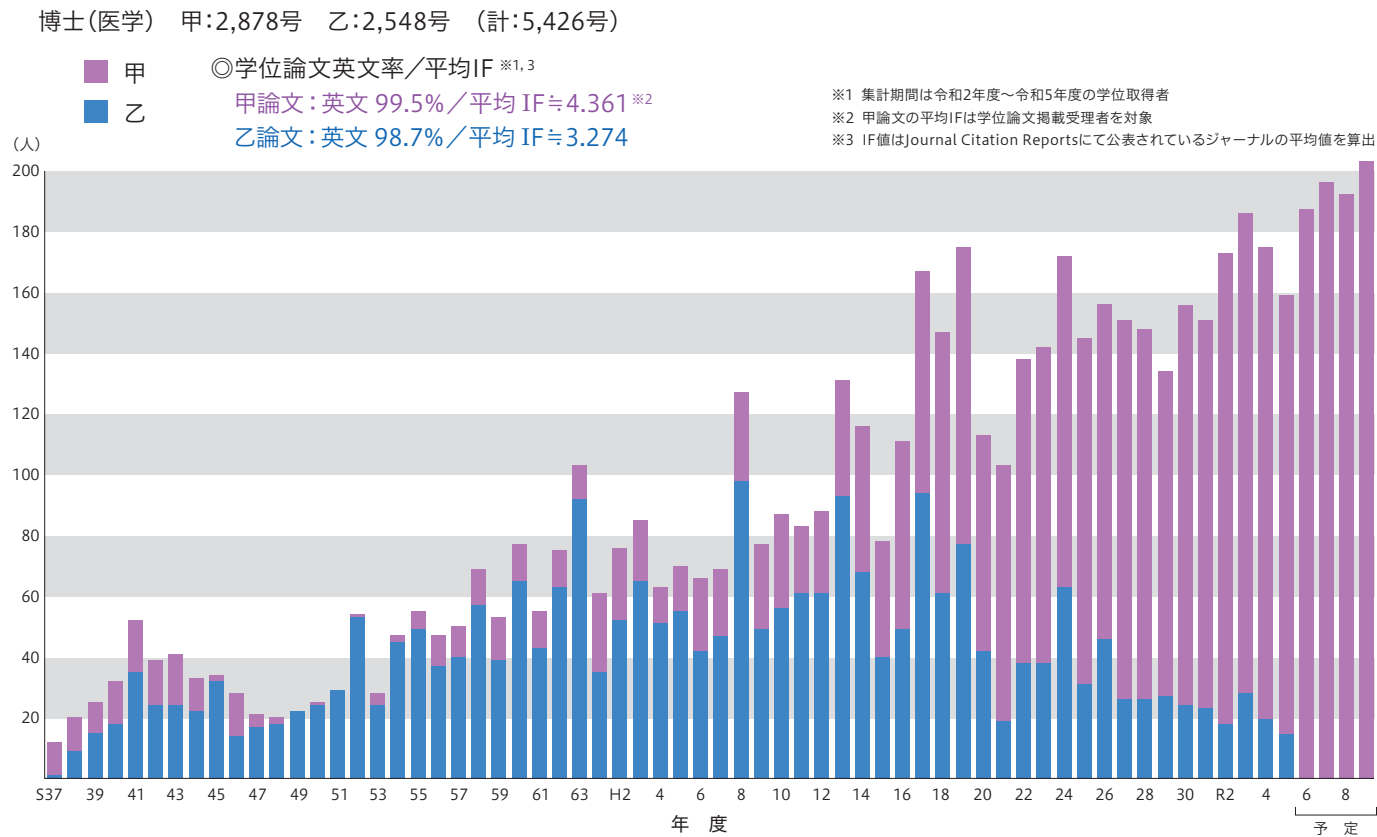
平成 24（2012）年度には、国立がん研究センターと、平成 26（2014）年度には、国立国際医療研究センターおよび国立病院機構相模原病院と、それぞれ協定を締結し、新たな画期的取組みとして、連携大学院制度をスタート。さらに、平成 24（2012）年度に文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」にも採択される等、がん医療に携わるがん専門医療人の養成を目指すと同時にその姿勢が高く評価されています。また、平成 29（2017）年度には文部科学省の「基礎研究医養成活性化プログラム」に採択され、本学および連携大学（東京

大学、福島県立医科大学）を ICT と循環型人材交流で結び、地域中核病院において必要とされる死因究明、遠隔病理診断、そしてゲノム医療の知識を身に付けた病理医を育成し、地域における病理医の配置実現を目指しています。このような本学の基本理念と高い倫理観に立脚して、生涯にわたって医学と向き合う姿勢を持った基礎医学者と臨床医学者、或いはその両方を兼ね備えた Physician-Scientist を育成し、究極的には心身共に病める人々を救済することをその存在目標としています。また、博士論文において、主論文と副論文の掲載される主要国際誌の IF（インパクト・ファクター）の合計が7.0 以上である場合などは、3 年間で課程を修了することができます。

環境整備の充実も図っており平成 24 年度から大学院講義は、ICT 環境が整備された講義棟（センチュリータワー）にて開講され、各キャンパス、附属病院間を専用のネットワークで結び、遠隔講義を行うことが可能となっています。

順天堂大学大学院医学研究科 学位授与者数推移

令和6年3月



文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」により、
医学研究科(博士課程)のプログラムの組織的展開を大幅に強化しました

学 年		カリキュラム		研究支援	
		コアプログラム	専門プログラム		
1 年次	入学式 / オリエンテーション			専 門 研 究 研 究 基 盤 セ ン タ ー ・ 研 究 戦 略 推 進 セ ン タ ー	
	基礎教育 1.Basic Course 2.Research Support Course (研究基盤センター集中コース)	レクチャーシリーズ 必修・選択必修・選択			専門教育 必修 講義・演習・実験実習 研究者養成コース/ 高度臨床専門家養成コース 1)環境と人間系 2)人体の生命機能系 3)人体の再生・再建系 4)附属病院 5)寄付講座 6)共同研究講座 7)産学協同研究講座 8)連携大学院
	実践教育 1. 分子病態生物学 2. 画像病理形態学 3. 免疫アレルギー学 4. 腫瘍医学 5. 神経医科学 6. ライフスタイル医学 7. 社会の中の医学 8. 再生・再建医学 9. 動物実験 10. 耐性菌同定法及び ウイルス力価測定法体得 11. 臨床統計入門 12. 臨床統計応用 13. 医療・医学入門[ビデオオンデマンド授業]	1. 大学院特別講義 2. 大学院特別講義(浦安病院) 3. 大学院特別講義(英語) 4. 医学特論 5. Current Topics 6. 英語集中プログラム① 7. 英語集中プログラム② 8. 抗菌薬使用に関する ベーシックレクチャーシリーズ 9. 医療経営学入門 10. 臨床研究入門 11. スペシャリスト養成コース			
	研究進捗状況評価(8月)		研究進捗状況評価「研究計画書・研究指導計画書」の作成・提出		
	1年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)				
2 年次	基礎教育 3.Advanced Course	【参 考】 1.～2.[1～3年次で各3回必修] 3.[1～3年次で各2回必修] 4.～11.[選 択]	専門研究 必修 論文基礎・応用演習 ・ポスターセッション ・研究指導(論文作成指導)		
	研究進捗状況評価(3月)		「研究進捗状況報告書」の作成・提出		
	2年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)				
3 年次	研究進捗状況評価(3月)		「ポスターセッション」による中間評価		
	3年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)				
4 年次	学位論文の作成・投稿				
	研究進捗状況評価(11月申請締め切り)		学位審査[最終試験](12月～2月頃)		
	4年次到達目標に基づく成績評価(自己評価／教員による評価)				
修了要件 30単位					
学 位 授 与					

医学研究科（修士課程）

医師免許の有無に関わらず“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際レベルで人材養成

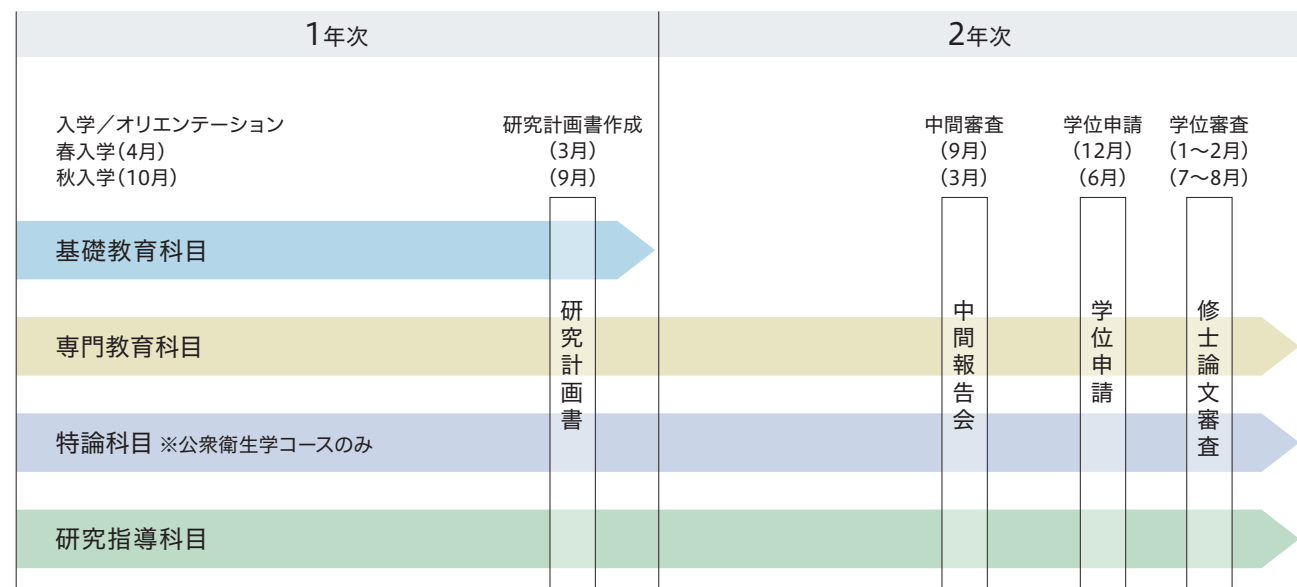
平成 25 (2013) 年度より修士課程を設置し、医学部以外の教育を受けた学生に対して、基礎的な医学・生命科学・医療学の概要を修得できるようにしました。医科学専攻カリキュラムを履修することで、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた、“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際的レベルで人材養成します。

また、平成 31 (2019) 年度より疫学、生物統計学、社会科学・行動学、保健行政・医療管理学などを修め、臨床研究を実施するための実務・運営能力を身につけた高度専門職業人および保健施策、健康指導、国際保健活動などグローバルヘルスの現場に必要とされる実践的能力を持った専門家等を養成するために公衆衛生学コースを新設しました。

令和 2 (2020) 年度より認定遺伝カウンセラー養成課程となる遺伝カウンセリングコース、令和 3 (2021) 年度からは医療通訳技能認定試験の受験資格が得られるヘルスコミュニケーション（医療通訳）コース、AI に関する知識とスキルを修得しビッグデータを解析分析・課題解決策や新たな価値を創造できる人材を養成するデータサイエンスコースを新設しました。

現在は学位プログラム制とし、取得学位に合わせた 8 つの学位プログラムを用意しています。修士（医科学）の学位が取得可能な「展開医科学」「International Medical Sciences」「臨床遺伝学（遺伝カウンセリング）」「データサイエンス」、修士（公衆衛生学）の学位が取得可能な「公衆衛生学・グローバル

■ カリキュラム概略図



医学研究科（修士課程）

本研究科修士課程は 2 つのコース、7 つの学位プログラムから選択可能です。

コース	学位プログラム	取得学位
医科学コース	展開医科学 学位プログラム 医学部以外の教育を受けた学生に対して、基礎的な医学・生命科学・医療学の概要を修得できるようにしました。展開医科学学位プログラムのカリキュラムを履修することで、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた、“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際的レベルで人材養成します。	修士（医科学）
	臨床遺伝学（遺伝カウンセリング） 学位プログラム 臨床遺伝学（遺伝カウンセリング）学位プログラムは、認定遺伝カウンセラー養成課程として、遺伝カウンセリングの実践に必要な専門的知識、カウンセリング理論と技法を体得し、遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体制などの情報を提供して、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する、ゲノム医療に重要な役割を果たす人材を養成します。	
	データサイエンス 学位プログラム データサイエンス学位プログラムでは、ビジネス、医療、スポーツなど各分野の AI 及びデータサイエンス領域において、次代の道を切り拓く、トップ&マネジメント層を発掘・育成するため、AI に関する知識とスキルを修得し、医療・健康・スポーツをはじめ、種々な場面で蓄積されたビッグデータを解析分析し、課題解決策や新たな価値を創造できる人材を養成します。	
	International Medical Science Program 外国人留学生を対象とした秋入学（10 月入学）のプログラムです。	
公衆衛生学コース	公衆衛生学コースでは、疫学、生物統計学、社会科学・行動学、保健行政・医療管理学などを修め、臨床研究を実施するための実務・運営能力を身につけた高度専門職業人及び保健施策、健康指導、国際保健活動などグローバルヘルスの現場に必要とされる実践的能力を持った専門家等を養成します。	修士（公衆衛生学）
	公衆衛生学・グローバルヘルス 学位プログラム 公衆衛生学とは、人々の健康増進ならびに疾病による負担や健康水準の格差等の健康への脅威に対処することを目的として、コミュニティレベルから実践に繋げる学問です。公衆衛生上の諸問題に対する解決能力を身につけ、専門的かつ指導的役割を国内外で果たす次のような人材を育成します。 ・公衆衛生学・グローバルヘルスの研究や実践を自主的にに行い、基礎知識、倫理観、創造性を持つ優れた人材 ・グローバルな視野を持ち、国内外の健康に関する諸問題に対処できる人材 ・グローバルな視点から健康格差や脆弱者の健康の現実を見極め、人類が直面する課題に貢献したいという高邁な理想を持ちあわせている人材	
	クリニカル・トランスレーショナルサイエンス 学位プログラム 「JCI (Joint Commission International)」による認証と「臨床研究中核病院」の認定を有する順天堂医院の豊富な臨床データおよび、充実した臨床研究支援組織（臨床研究・治験センター）を最大限に活用し、実践力を重視した次のような「臨床研究支援者」を育成します。 ・臨床研究を支援する上で必要なスキルに習熟した人材 ・臨床研究支援業務を幅広く理解し、多職種連携を高めるチームマネジメント能力に優れた人材 ・臨床研究者と支援者間の円滑な連携体制を構築できる人材	
	ヘルスコミュニケーション 学位プログラム ヘルスコミュニケーション学位プログラムでは、厚生労働省の医療通訳養成カリキュラムに基づく認定医療通訳者養成講座を修め、医療通訳に必要な専門的知識、技法を体得し、医療通訳を必要としている患者や家族に適切な支援を提供して、医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、医療通訳に重要な役割を果たす人材を養成します。	
	Global Health 外国人留学生を対象とした秋入学（10 月入学）のプログラムです。	



大学院 | Graduate School

スポーツ健康科学研究科

博士前期課程
博士後期課程

本研究科は、私立大学における日本初の体育系大学院として開設されました(1971年)。現在は、「スポーツ科学」「スポーツ社会科学」「健康科学」の体系的理解と、その応用を通じた深化と統合を目指しています。博士前期課程においては、これらの体系的な理解とそれに基づく研究により、スポーツ健康科学研究の土台を

築くとともに、広く社会において活躍できる課題発見力、問題解決力を備えた人材を育成します。博士後期課程においては、スポーツ科学、スポーツ社会学、健康科学の3つの学問領域の研究を先鋭化・深化させ、これらの有機的な統合によるスポーツ健康科学の完成を目指し、優秀な博士の養成に努めています。



スポーツ健康科学研究科

スポーツの科学的基礎および 社会科学的価値とヘルスプロモーションの追究

順天堂大学では昭和46(1971)年、私立大学の体育系大学院として日本初の体育学研究科を開設しました。その後、体育学部をスポーツ健康科学部に改組したことに伴い、大学院もスポーツ健康科学研究科と名称変更しました。さらに平成12(2000)年には、博士課程設置が認可されました。現在、大学院は定員61名の博士前期(修士)課程と、定員10名の博士後期(博士)課程で構成されています。

平成18(2006)年から社会人のリカレント教育を目的として、博士前期(修士)課程【夜間クラス】を東京本郷・お茶の水キャンパスにおいても開講しました。医学研究科、医療看護学研究科、保健医療学研究科との連携を図り、健康総合大学院大学としての特性を生かしたスポーツ健康科学の専門家を養成しています。

本研究科は、本学の学是「仁」と「不断前進」の理念のもと、スポーツと健康の「医・科学的」研究を行い、人々の健康で文化的な生活形成に貢献できる実践的かつ創造的な人材を育成することを目的としており、「スポーツ科学」「スポーツ社会科学」「健康科学」が大きな柱となっています。

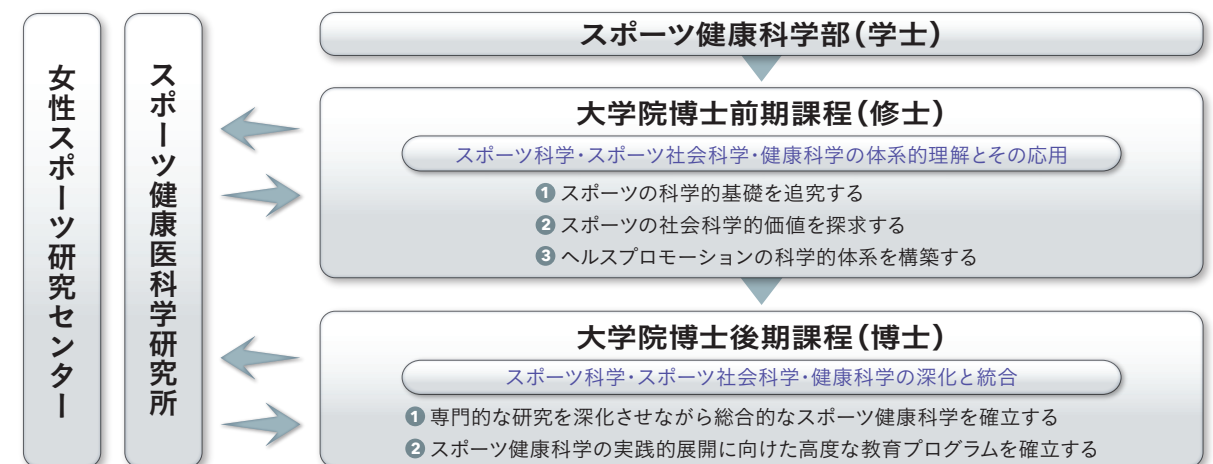
「スポーツ科学」では、国際レベルの競技から一般の人々が気軽に参加できる楽しいスポーツや健康のためのスポーツまで、あらゆるスポーツを対象に、従来の体育学研究の成果と方法論を生かしつつ、その特性や指導の基礎となる「医・科学的原理」を追究します。

「スポーツ社会科学」では、スポーツビジネスやスポーツマスコミなど、スポーツと社会に大きな影響力を持つ社会事象を対象に、社会学および経営学を基礎に、コミュニケーション論、組織開発論などの研究成果やその社会科学的研究方法の一つである社会調査法を活用して、スポーツの社会科学的価値の本質理解と文化的・経済的効用を探索します。

「健康科学」では、健康な人、障害のある人など、様々な健康水準にあるあらゆる年齢層の人々の主体的な健康の保持増進に関わる生活現象を対象に、生涯を通しての健康的なライフスタイルの形成と快適環境の形成とを意図するヘルスプロモーションの推進と体系的な方法論を確立します。

博士前期課程においては、スポーツの科学的基礎、社会科学的価値並びにヘルスプロモーションの考究に関わる学修と研究を通して、その成果を人々の健康や体力の維持・向上およびスポーツの社会的発展に体系的に応用できる実践的・理論的根拠を身につけた人材を育成することを目的としています。

博士後期課程においては、スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、さらに単なる専門分化にとどまることなくその成果をスポーツ健康科学の発展に応用し、より高度な教育プログラムの開発ができる高度な専門家・指導者を育成することを目的としています。



スポーツ健康科学研究科

ハイパフォーマンス科学 認定プログラム

令和6（2024）年度以降に博士前期課程・後期課程に入学した方を対象として、「ハイパフォーマンス科学認定プログラム」を実施しています。在籍する課程の修了要件を満たし、かつ、本プログラムの条件を満たした方に、修士・博士の学位とは別に、本研究科から称号を認定・授与するものです。ハイパフォーマンス科学に関わる講義やインターンシップ、研究等を通じて、スポーツにおけるハイパフォーマンス科学に関する高度な専門性を必要とする職業に不可欠な知識や研究を遂行する能力の養成を目的としています。

実務経験者を対象とした 「1年制コース」の設置

令和7（2025）年度から博士前期課程に、「1年制コース」を設置します。同コースは、実務経験者を対象とした修業年限1年の博士前期課程のカリキュラムです。

現在、社会の各分野において、指導的な役割を担う高度の専門的知識・能力を有する人材の養成や、社会人の再学習に対する期待が一層高まっています。「スポーツ健康科学」の分野でも、スポーツ界の発展や人々の健康増進に貢献する専門職の需要が増加しており、本研究科は「健康総合大学」として、こうした社会的要請に応えることを目指しています。

博士前期課程「1年制コース」は、実務経験を基に研究を進めることを前提とし、「スポーツ科学」、「スポーツ社会科学」、「健康科学」の3分野で、国際レベルの競技から一般の方向けまでを対象とした体系的な理解と研究活動を行います。

「1年制コース」の設置により、専門知識や高度な専門教育を受けることが出来る機会が広がり、スポーツ関連の幅広い事業分野でプロフェッショナルとしての活躍できる研究者の育成が期待されます。その研究成果を広く世間へ還元することを目的としています。

なお、今回の設置は、スポーツ庁提案型事業「先端的スポーツ医・科学研究推進事業」における国際競技力の向上に資する若手研究者の育成プログラムの一環となります。



大学院 | Graduate School

医療看護学研究科

博士前期課程
博士後期課程

医療看護学研究科は、多様な価値観を持つ様々な健康レベルにある人々の幸福の追求とQOLの向上を支援することができる、高度な看護実践能力を有する看護専門職者および教育・研究者の育成を目指しています。具体的には、生涯にわたる質の高い看護実践能力、教育能力、

研究能力を培い、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる看護職者の育成を目指しています。さらに、健康を幅広く捉えた「健康総合大学」として発展してきた本学・大学院の特徴を生かし、医学研究科やスポーツ健康科学研究科と連携した教育を行っています。



医療看護学研究科

高度な看護実践能力および教育・研究能力を身に付け 国内外の人々の健康に寄与できる看護職者を育成

健康に課題を持つ人の支援や病気を持つ人に質の高い看護ケアを提供するためには、常に新しい知見や諸理論を学び続ける必要があります。研究成果を活用して保健・医療・福祉環境の変化に斬新的・創造的に対応できる看護実践能力を養い、国内および国外の人々の健康に寄与することも大切です。

日々変貌する保健・医療・福祉の場では、科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を発揮する必要性が求められています。また、看護学は、健康を希求する人々に貢献する実践科学として、新たな理論や方法論を開発し発展させる必要があります。さらに、看護職者は対人関係を基盤として成り立つ職業であり、看護する人とされる人が共に学び成長するために、豊かな学識と人間性を生涯にわたり涵養することも重要です。

このような人々のヘルスケアニーズや看護学の学問的発展に応えるために順天堂大学大学院医療看護学研究科では、学是である「仁」の精神に基づき、高度な実践能力を持つ看護専門職者および医療看護学のあり方を探求する教育者・研究者を育成し、国内外の人々の健康に寄与することを目指しています。

本研究科では、医学研究科およびスポーツ健康科学研究科と連携し、健康総合大学としての強みを生かし学際的な視点から看護学を探究できる教育を行っています。また、社会人が仕事をしながら学べるように昼夜開講とし、本研究科で開講している特定科目を履修する科目等履修生も受け入れ、看護職者として継続的にキャリア発達ができるよう支援しています。



医療看護学研究科の特徴

多様な学びをサポートする環境

医療看護学研究科では、浦安キャンパス、本郷・お茶の水キャンパス、三島キャンパスで講義を開講しているほか、ZOOM による遠隔講義を積極的に行っており、働きながら学ぶ社会人大学院生や遠方にお住いの大学院生も充実した講義を受けることができます。

また、職場における勤務時間などの事情に応じて、夜間、土曜日などを利用して教育・研究指導が受けられるカリキュラムを整えています。

多数の高度実践看護師コースを開講

医療・保健・福祉の場において、柔軟かつ斬新的・創造的に対応でき、教育・研究能力を備えた看護職者の育成を目指しています。その一環として、高度実践看護師（専門看護師）コースを慢性看護、がん看護、感染看護、小児看護、老年看護、精神看護、在宅看護、母性看護、クリティカルケア看護の計9分野を開講し、日本看護系大学協議会において教育課程 38 単位の認定を受けています。

幅広い看護職者に学びの機会を提供

博士前期課程では、出願時3年以上の臨床経験などの看護実践能力のある人は、学士号の有無にかかわらず出願審査が受けられます。また、選抜方法として、社会人受験生には語学試験に代わって、順天堂の「仁」の精神に基づく豊かな人間性を評価する小論文を課しています。大学院の学費を国立大学並みにすることで、経済的な負担も少なくしています。

シミュレーション教育研究センターの開設

2022 年 10 月、医療看護学研究科にシミュレーション教育研究センターが開設されました。当センターは看護に特化した研究センターであり、看護のシミュレーション教育研究領域における国内唯一の研究拠点です。センターでは、様々な生体情報を再現する高機能シミュレータやトレーニング機器を多数活用することができます。開設により、医療の高度化・専門化に対応できる高い看護実践能力をもつ看護師を育成するための教育や研究がさらに充実します。看護の Best Practice 実現に向けたシミュレーション教育に関する研究の推進、先端的な教育手法の構築、ICT を活用した教育・臨床支援ツールの開発研究により、グローバルに発信できる先進的な研究施設を目指します。





大学院 | Graduate School 保健医療学研究科

博士前期課程 令和7年度課程名称変更予定
博士後期課程 令和7年度開設（2024年8月29日文部科学省設置認可）

本研究科博士前期課程では、環境の変化に対応でき、科学的根拠に基づいた高度な理学療法実践能力・診療放射線技術実践能力を発揮できる医療専門職者、理学療法学・診療放射線学の成立基盤を基に理学療学分野・診療放射線学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成します。

博士後期課程では、理学療法学・診療放射線学分野における学識をさらに発展させ、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる専門知識と専門技術、及び高度な研究能力を有し、理学療法学・診療放射線学分野の研究を積極的に推進し、質の高い理学療法学・診療放射線学・生体量子科学の基盤を創造、ならびに後進の指導を行い得る人材を養成します。



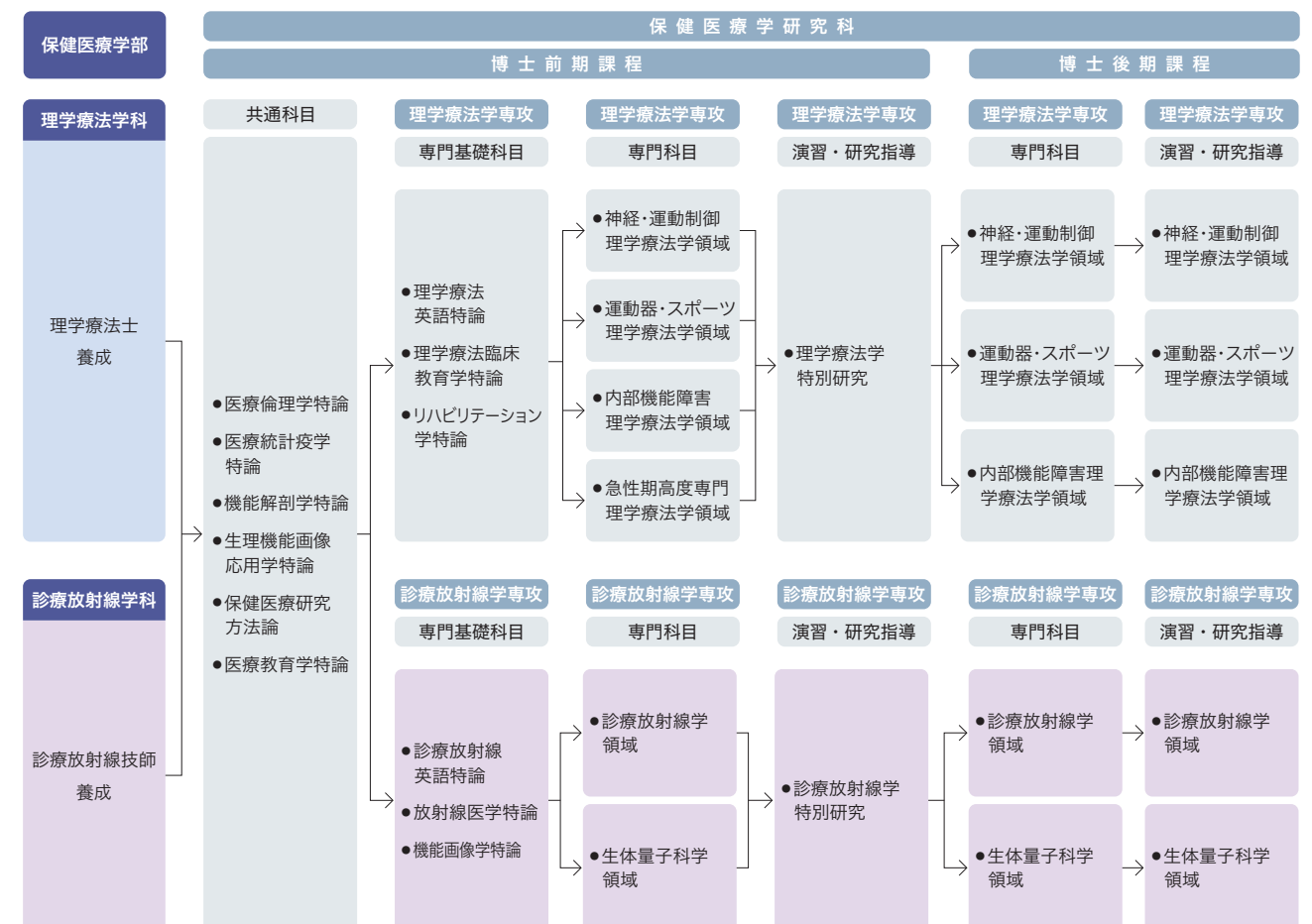
保健医療学研究科

近年の高齢化の進展や疾病構造の変化、質の高い医療を求める国民の意識の変化等に伴い、理学療法学や診療放射線学に関する高度な専門性や、幅広い知識と技術を持ち、対象者へ最適な保健医療福祉サービスを提供できる能力を持つ人材に加え、高度な専門知識を有する指導の高度専門医療職者や、拡大を続ける理学療学分野・診療放射線学分野における研究を積極的に推進し、質の高い医療の基盤を創造する人材の養成・確保が急務となっています。

保健医療学研究科には理学療法学専攻と診療放射線学専攻の2つの専攻、博士前期・博士後期の2つの課程があります。博士前期課程の教育課程は、教育目的・目標を達成するために『共通科目』『専門基礎科目』『専門科目』および『演習・研究指導』に区分し、それぞれの教育が有機的に連動し、各専攻における専門性の高い研究を実施する上での基礎から応用、応用から発展に向けて段階的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成しています。博士後期課程の教育課程は、学位授与に必要とされる教育目的・目標を達成するために、コースワークの『専門科目』

及びリサーチワークの『演習・研究指導』に区分し、それぞれの教育が有機的に連動し、各専攻における専門性の高い研究を実施する上で、博士前期課程で修得する基礎から応用、博士後期課程での応用から発展に向けて段階的に関連性を持ち、体系的に学修できるように教育課程を編成しています。

理学療法学専攻博士前期課程には、「神経・運動制御理学療法学領域」、「運動器・スポーツ理学療法学」、「内部機能障害理学療法学」、「急性期高度専門理学療法学」の4つの領域、同博士後期課程には、「神経・運動制御理学療法学領域」、「運動器・スポーツ理学療法学」、「内部機能障害理学療法学」の3つの領域、診療放射線学専攻においては、博士前期課程・博士後期課程いずれも「診療放射線学」、「生体量子科学」の2つの領域を置き、領域ごとに担当する指導教員により、専門領域における講義・演習を通じて高度な専門的知識の修得を図るとともに、各自の研究テーマに沿った指導を行います。





大学院 | Graduate School 国際教養学研究科

修士課程

現在進行中のグローバルで複合的な危機（金融・経済危機、戦争・テロ、感染症など）を乗り越えるためには教養学で修得する多層的・多元的な知が必要です。そのために、国際教養学研究科では、大学院レベルでのコミュニケーション学、政治学、経済学などの人文・社会科学から健康・スポーツ科学、統計学、医学、公衆衛生など自然科学・応用科学まで、現代のリベラルアーツを学びます。

人文・社会科学及び自然科学の領域からそれぞれ複数の専門分野を複合的に学ぶことで複眼的、水平的な思考・発想を身に付け、学問分野を俯瞰できる能力を修得します。複数の専門分野の修得を通じて、統合された多層のかつ多元的な知を獲得するという教養教育の大きな特徴を人材養成に活かします。グローバル化された社会が持つ多元的・複合的な諸課題に取り組み、グローバル化による複合的な危機を乗り越え、持続可能な社会を実現するために必要な高度で知的な素養を持つ人材を養成します。



国際教養学研究科

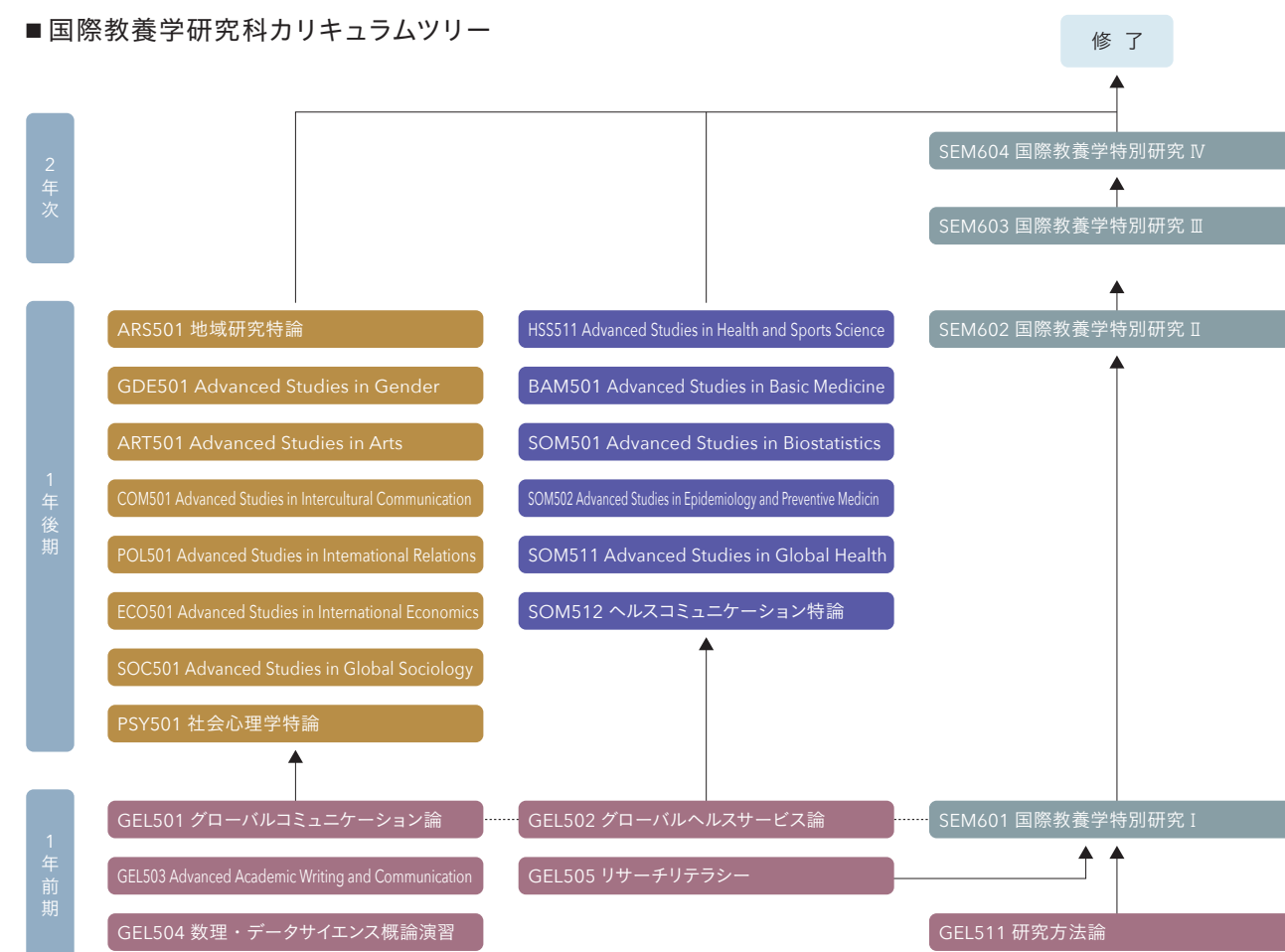
2024年の現代においても、ウクライナとロシアの戦争や、イスラエルとパレスチナの戦争といった地政学的危機と人道危機が続いています。また、異常気象や大規模な森林火災などの環境問題、物価や金利の急激な変動、サプライチェーンの混乱による経済的な不安定性など、世界各地で多様な危機が同時多発的に発生しています。



これらの危機が提示する課題を解決するためには、画一化・規格化された専門分野の知ではなく、分野横断・学際的な、複数の専門分野の知を統合した多層のかつ多元的な知が必要であると考えます。

この研究科の設置は、現在進行中のグローバルで複合的な危機を乗り越えるために必要な教養教育を大学院レベルでの教育に伸長することで、より高度な課題解決能力を持った人材を求める社会の声に応えるものです。グローバル化のなかで持続可能な社会を実現するために必要な分野横断・学際的な知識・教養、「文系」と「理系」の区別なく、複数の学問分野を俯瞰できる能力を持ち、多様性と自他の違いを認め尊重しつつ、相互信頼と連帯・協働の輪を広げることのできる高度で知的な素養のある人材は、より高度なグローバル人材として社会が求めるものであると考えます。

■国際教養学研究科カリキュラムツリー





健康データサイエンス研究科

健康データサイエンス専攻（博士前期課程・博士後期課程）

研究科の特色

「健康」×「データサイエンス」を活かせる高度専門人材を育成する『博士前期課程』では、データサイエンスの礎となる統計学を重視し、各分野領域におけるIT・デジタル人材に必要な知識と技術を身につけたうえで、高次な教育研究を実施します。例えば、AIで生じるエラーを看過できない健康分野において、AIの正誤を自ら判断できる能力など「解剖学や生理学等の健康・医療に関する基礎を携え、かつAIやデータ分析に長けた人材」を育成します。『博士後期課程』では、データアナリティクス・コンピュータサイエンス・健康データサイエンスといった各領域を探究し創造的に活用することで、新たな社会価値を創出できる「国際社会を牽引する高度情報専門人材」と「学術的進展に寄与する教育者・研究者」を育成します。

この研究科で学ぶ魅力。未来への展望

「健康データサイエンティスト」の活躍の舞台は限りなく広い

健康分野は、今後の社会でさらなる発展が望まれる分野です。「高度情報専門人材」として、データサイエンスの技術を用いて健康情報を解析し、医療や公衆衛生の改善に活かし、SaMDと呼ばれる健康AIアプリの開発など新たな産業分野として起業します。また、近年脅威を増すAIを用いたサイバー攻撃に対抗できるサイバーセキュリティ分野の専門人材になるなど活躍の場は限りなく広い。「教育研究者」としては、職業訓練のデジタル分野の重点化や、高等教育機関等のデジタル人材の育成、社会人に対するリカレント教育・リスキリング教育の推進等、既に数多くの試みがスタートしており、それらの指導を担う教育研究者養成の必要性が高まっています。

大学院 | Graduate School

健康データサイエンス研究科

博士前期課程 令和7年度開設（2024年8月29日文部科学省設置認可）

博士後期課程 令和7年度開設（2024年8月29日文部科学省設置認可）

時代に求められ、いよいよ開設。『健康データサイエンス研究科』順天堂の強みは、長年蓄積した「健康」「医療」「スポーツ領域」の膨大な医療データを駆使し、研究や教育に展開できることです。既に順天堂ではそれらを活かし、健康データサイエンス学部（大学）、医学研究科データサイエンスプログラム（大学院）を開設。AI・データサイエンスに長けた情報人材の育成、及びその

研究成果をもって新たな知見を社会に発信・展開できる教育者・研究者を育成しています。2025年4月に設置する大学院『健康データサイエンス研究科』では、医学・医療分野に限らず、人々の暮らしや社会活動も含めた「全てを健康」と捉え、データ化・データ分析を行いエビデンスをもって科学的に取り組む高度情報専門人材を育成します。





順天堂の学祖
佐藤 泰然

順天堂の歩みは、 時代のニーズに呼応しています。

順天堂の歴史は、180有余年にわたります。「仁」の理念と「不断前進」の精神で時代のニーズに応えながら、人間の生命と健康を支えるために邁進してきました。そして、21世紀を迎えたいま、順天堂は、医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部、保健医療学部、医療科学部、健康データサイエンス学部、薬学部を擁するわが国屈指の“健康総合大学”へと大きく成長しています。

医学塾から医学校、 そして大学へ

- 1838年 ● 順天堂医学塾創立
- 1873年 ● 順天堂医院開院
- 1896年 ● 順天堂医院看護婦講習所開設

「医学塾を中心に心技ともに 良き医師の育成」をめざして

- 1943年 ● 順天堂医学専門学校開設
- 1946年 ● 順天堂医科大学に昇格
- 1951年 ● 新制・順天堂大学の開学、体育学部開設
- 1952年 ● 医学部医学科を開設
- 1954年 ● 看護婦講習所を改組、順天堂准看護婦学院開設
- 1959年 ● 大学院医学研究科（博士）開設
- 1961年 ● 順天堂准看護婦学院を医学部附属高等看護婦学校に改組・改称
- 1964年 ● 高等看護婦学校を順天堂高等看護学校に改組・改称
- 1967年 ● 順天堂伊豆長岡病院（現：静岡病院）開院
- 1971年 ● 大学院体育学研究科（修士）開設
- 1976年 ● 順天堂高等看護学校を順天堂看護専門学校に改称
- 1984年 ● 順天堂浦安病院開院

◆1838～

学祖・佐藤泰然は、医を志して長崎で蘭学を学んだのち、天保9（1838）年に、江戸・薬研堀にオランダ医学塾「和田塾」を創立。その後、下総・佐倉に移り、医院兼医学塾の「順天堂」を開きました。泰然の業を継いだ二代目堂主・佐藤尚中は、明治6（1873）年に佐倉の順天堂を本郷・湯島に移転しました。順天堂の礎は、この2人によって築かれたのです。

◆1943～

順天堂は、「心技ともに良き医師の育成」の目標をさらに前進させるため、昭和18（1943）年に医学専門学校を開設。その3年後には順天堂医科大学と改称しました。昭和26（1951）年には現在の順天堂大学と改称するとともに、医学知識を備えた保健体育指導者を養成する目的で、体育学部を創設。以来、医学界だけでなく、保健体育、スポーツの分野にも優れた人材を輩出しています。

健康志向のニーズに応え、真の“健康総合大学”を確立し、 国際拠点大学・大学院大学へ

- 1988年 ● 創立150周年、さくら新キャンパス誕生
- 1989年 ● 順天堂看護専門学校を順天堂医療短期大学へ改組・開学（浦安）
 - 順天堂越谷病院開院
- 1993年 ● 体育学部をスポーツ健康科学部に改組（さくら）
- 1997年 ● 大学院体育学研究科を大学院スポーツ健康科学研究科に改称
- 2000年 ● 大学院スポーツ健康科学研究科（博士後期課程）開設
- 2004年 ● 順天堂医療短期大学を4年制の医療看護学部へ改組・改称
 - 順天堂東京江東高齢者医療センター開院
- 2005年 ● 順天堂伊豆長岡病院を順天堂静岡病院に改称
 - 順天堂練馬病院開院
- 2007年 ● 大学院医療看護学研究科（修士課程）開設
- 2010年 ● 保健看護学部開設（三島）
- 2013年 ● 創立175周年
 - 大学院医学研究科（修士課程）開設
- 2014年 ● 大学院医療看護学研究科（博士後期課程）開設
 - 同 修士課程を博士前期課程へ改組
- 2015年 ● 国際教養学部開設（本郷・お茶の水）
- 2019年 ● 保健医療学部開設（本郷・お茶の水）
- 2022年 ● 千葉県浦安市に「浦安・日の出キャンパス」を開設
 - 医療科学部開設（浦安・日の出キャンパス）
- 2023年 ● 大学院保健医療学研究科（修士課程）開設
 - 健康データサイエンス学部開設（浦安・日の出キャンパス）
- 2024年 ● 大学院国際教養学研究科（修士課程）開設
 - 薬学部開設（浦安・日の出キャンパス）

◆1988～

順天堂は、少子高齢化や国民の医療・健康に対する意識の高まりを受け、時代のニーズに応え得る医療看護職の養成に向けて医療短期大学を開設しました。また、スポーツやスポーツ産業等を取り巻く社会的環境の変化と社会的要請に応えるため、体育学部をスポーツ健康科学部に改組。健康とスポーツの科学的究明とその創造的応用によって、健康で文化的な生活形成に寄与する人材の養成に努めています。

21世紀を迎え、医療の高度化や長寿社会の一層の進展に伴い、メディカルケア、ヘルスケアの一翼を担う質の高い看護サービスが求められています。そこで、医療短期大学を改組し、医療看護学部を開設しました。順天堂はいま、医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部、保健医療学部、医療科学部、健康データサイエンス学部、薬学部連携のもと、「仁」の心を持つ医療人、健康管理者、スポーツ教育者等を養成する真の“健康総合大学”として、教育界をリードしています。



たかなか
佐藤 尚中

1869年に明治政府から大学東校（東京大学医学部の前身）の大学大博士（責任者）を任命され、初代校長として学生の教育・診療を行う。1871年、大学大丞兼大学大博士大典医、ついで制度改正により文部少博士大待医となる。その後、1873年に下谷練堀町で順天堂医院を開設し、診療と同時に基礎・臨床の医学教育を行う。



佐倉順天堂（1843-1869）



明治初年の順天堂



関東大震災後の順天堂医院

研究領域を超え自由に活発な交流を生む新研究棟

創立 180 周年（2018 年）に、国際レベルで社会貢献できる人材育成を目的に、基礎・臨床研究の領域を越えて活発な交流が出来るオープンな研究設備・施設に加え、講堂や会議室には国際化時代にふさわしい最新の AV・ICT 装置を完備した教育・研究棟が完成しました。

4 階から 11 階にわたる研究フロアは、基礎系と臨床系の研究室が同居する、見通しのよいオープンラボとなっており、各フロアは中央階段で結ばれているため、9 つのフロアが一体感をもって研究に臨める環境になっています。また、12 階フロアは、オープンイノベーション推進のため、産学連携フロアとして整備し、産学が連携した先端的研究、ベンチャー育成などが行われる共同研究拠点となっています。

この建物は環境に配慮した先駆的な建物に与えられる国際的な環境評価・認証システムである米国環境評価指標（LEED-NC）の最高位認証「プラチナ」を取得ならびに CASBEE（日本の第三者機関が建築物の環境性能を評価する制度）S ランク（最高位認証）を取得しました。

大学研究施設において最高位のダブル認証を取得する国内初めての施設となります。



CASBEE 評価証明書



7号館（歴史ファサード）



小川講堂（順天堂創立175周年記念小川秀興講堂）



有山登メモリアルホール



カンファレンスルーム・培養室

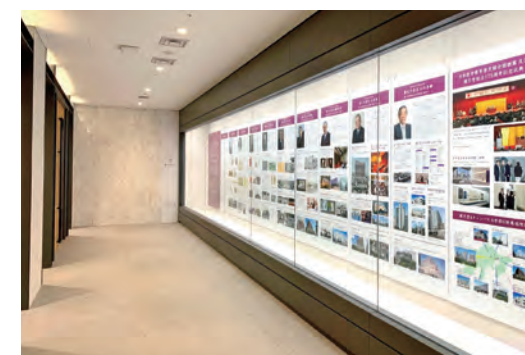


共同研究室



新研究棟（7号館）

明治時代の順天堂醫院旧本館のファサードを現代に再現したデザインとなっている

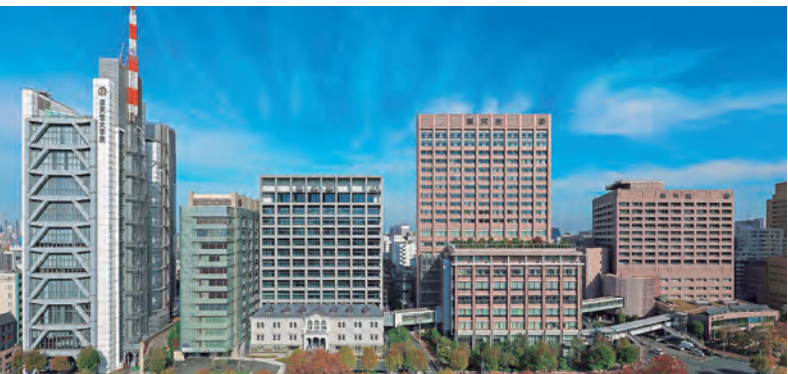


展示ギャラリー



Dining Hall

キャンパス・附属病院へのアクセス



本部／本郷・お茶の水キャンパス

医学部
医学研究科(修士・博士課程)
国際教養学部
国際教養学研究科(修士課程)
保健医療学部
保健医療学研究科 博士前期課程[修士課程]／博士後期課程[博士課程] 令和7年度課程名称変更予定 令和7年度開設 ※2024年8月29日文科科学省設置認可
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 TEL.03-3813-3111(代表)

さくらキャンパス

※医学部の1年次は
さくらキャンパスで学びます。

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学研究科(博士前期課程・博士後期課程)
〒270-1695 千葉県印西市平賀学園台1-1 TEL.0476-98-1001(代表)

浦安キャンパス

医療看護学部
医療看護学研究科(博士前期課程・博士後期課程)
〒279-0023 千葉県浦安市高洲2-5-1 TEL.047-355-3111(代表)

三島キャンパス

保健看護学部
医療看護学研究科(博士前期課程・博士後期課程) (サテライトキャンパス)
〒411-8787 静岡県三島市大宮町3-7-33 TEL.055-991-3111(代表)

浦安・日の出キャンパス

医療科学部
健康データサイエンス学部
健康データサイエンス研究科 令和7年度開設 ※2024年8月29日文科科学省設置認可
薬学部
〒279-0013 千葉県浦安市日の出6-8-1 TEL.047-354-3311(代表)



順天堂医院

明治初期の開院以来、常に最先端の知識と技術で日本の医学界をリードしてきた国内屈指の総合病院。外来患者数は1日平均約4,500人にのぼり、その診療圏は広く東南アジア、欧米にもおよんでいます。

病床数 1051 床
東京都文京区本郷3-1-3 TEL.03-3813-3111(代表)



順天堂越谷病院

昭和42(1967)年設立の(財)順天堂精神医学研究所の附属病院が平成元(1989)年に医学部附属病院へ改組された精神神経科病院。順天堂医院との密接な連携のもと、精神医学の一貫した卒前・卒後教育を行っています。

病床数 226 床
埼玉県越谷市袋山560 TEL.048-975-0321(代表)



静岡病院

昭和42(1967)年、静岡県東部エリアの地域医療中核病院として開院。救命救急センターを重点診療分野とするほか、災害医学研究所との共同研究体制の強化を進めています。平成16(2004)年にドクターヘリも導入され地域救急医療へ絶大な貢献をしています。

病床数 633 床
静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL.055-948-3111(代表)



順天堂東京江東高齢者医療センター

平成14(2002)年、東京都が高齢者に向けた『福祉・医療の複合施設』として誕生させた医療センターで、平成16(2004)年度以降は、公設民営方式により学校法人順天堂が運営をしています。

病床数 404 床
東京都江東区新砂3-3-20 TEL.03-5632-3111(代表)



浦安病院

昭和59(1984)年、千葉県浦安市に開院した附属病院。平成7(1995)年からは浦安市・市川市における高規格救急車の導入による救急医療も引き受けている地域の中核病院です。環境医学研究所も併設され、研究体制の強化を進めています。

病床数 785 床
千葉県浦安市富岡2-1-1 TEL.047-353-3111(代表)



練馬病院

東京都練馬区の強い要請で、平成17(2005)年7月に開院した総合病院で、地域医療機関とも十分な連携を図り、災害時の拠点施設としての機能(免震構造、震度8にも対応)をそなえています。院内感染予防にも国内最高レベルの体制を整備しています。

病床数 490 床
東京都練馬区高野台3-1-10 TEL.03-5923-3111(代表)

順天堂大学の概要

DATA 編

※ 2023 年度事業報告書を転用

PROFILE OF JUNTENDO UNIVERSITY

順天堂大学は、教育機関として社会に対する説明責任を果たすとともに、
教育・研究・医療活動の一層の充実と質の向上を図るため、
学校教育法施行規則等の一部を
改正する省令(平成22年文部科学省令第15号)に基づき、
教育や研究にかかわる主要なデータを、
当該DATA編のとおり公開しています。



順天堂大学の概要

CONTENTS

順天堂大学5キャンパス6附属病院群	63		
順天堂の沿革	64		
1 法人の設置する学校	67	14 卒業後の進路状況	84
2 研究科・学部一覧	68	15 教育研究活動の主な概要	85
3 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター	69	16 臨床活動の主な概要	88
4 医学部附属病院	69	17 国際交流活動	93
5 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等	70	18 文部科学省等採択事業の概要	96
6 役 員	71	19 教育研究施設・設備の充実	98
7 評議員	71	20 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について	101
8 教職員数	72	21 スポーツ分野での活躍	102
9 研究費・補助金	73	22 高大連携の取組	104
10 寄付講座・共同研究講座・産学協同研究講座	76	23 中期的な計画の進捗・達成状況及び令和6年度事業計画策定	105
11 授業料等学生が納付する金額	81	24 令和5年度事業の収支及び財務状況の概要	107
12 学位記授与数	81	25 財務状況の推移	110
13 学部卒業者数	83		

順天堂大学 5キャンパス 6附属病院群



<https://www.juntendo.ac.jp/>



A法人章



B法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。

A法人章

仁義礼智信・・・の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章

佐藤の“サ”又はA法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。(1957(昭和32)年制定)

平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2024年 順天堂創立186周年

開塾：1838年(天保9年)



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、今から186年前に学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に設立したオランダ医学塾(和田塾)に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を進展させました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、その後日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal:JMJとして)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職

を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の初代院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開学しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属

順天堂の沿革

病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実を図りました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして、第九代堂主(理事長)・小川秀興は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会:運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果として、

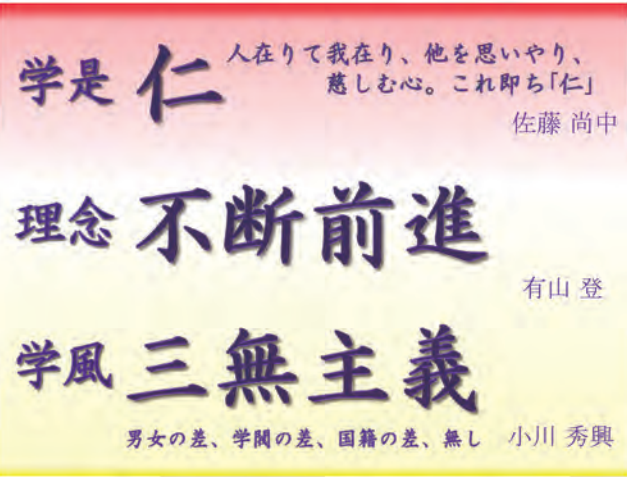
- 1.平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- 2.平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。
- 3.平成14(2002)年6月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成16(2004)年4月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第5番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- 4.平成19(2007)年、大学院医療看護学研究科・修士課程が開設され、平成26(2014)年には博士後期課程が開設されました。
- 5.平成22(2010)年、第4の学部として保健看護学部(静岡県三島市)が開設されました。
- 6.平成25(2013)年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。

- 7.練馬区における病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から病院運営者として選定され、平成17(2005)年、順天堂第6番目の医学部附属病院「練馬病院」が開院されました。
- 8.大学内に文部科学省(文部省)などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として、以下のセンター・研究所が設立されました。
 - ①アトピー疾患研究センター(平成10(1998)年)
 - ②疾患モデル研究センター(平成11(1999)年)
 - ③老人性疾患病態・治療研究センター(平成12(2000)年)
 - ④環境医学研究所(平成14(2002)年)
 - ⑤感染制御科学研究センター(平成15(2003)年)
 - ⑥スポーツ健康医科学研究所(平成17(2005)年)
 - ⑦スポーツロジセンター(平成19(2007)年)
 - ⑧国際交流センター(平成20(2008)年)
 - ⑨ゲノム・再生医療センター(平成25(2013)年)
 - ⑩先導的がん医療開発研究センター(平成25(2013)年)
 - ⑪女性スポーツ研究センター(平成26(2014)年)
 - ⑫静岡災害医学研究センター(平成27(2015)年)
 - ⑬難病の診断と治療研究センター(平成28(2016)年)
 - ⑭革新的医療技術開発研究センター(オープンイノベーション「GAUDI」)(平成29(2017)年)
 - ⑮順天堂かゆみ研究センター(令和元(2019)年)
 - ⑯ジェロントロジー研究センター(令和3(2021)年)
 - ⑰脳血管内治療学研究センター(令和3(2021)年)
 - ⑱AIインキュベーションファーム(令和3(2021)年)
 - ⑲シミュレーション教育研究センター(令和4(2022)年)
 - ⑳健康創薬先端リサーチセンター(令和5(2023)年)
- 9.平成17(2005)年度から開設した寄付講座、平成28(2016)年度から開設した共同研究講座及び令和3(2021)年度から開設した産学協同研究講座は年々増加し、令和5(2023)年度には共同研究講座46件、寄付講座12件、産学協同研究講座4件の計62講座が設置されています。
- 10.平成27(2015)年、第5の学部として国際教養学部が開設され、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。
- 11.平成31(2019)年、第6の学部となる保健医療学部理療法学科・診療放射線学科が開設されました。
- 12.令和4(2022)年、千葉県浦安市日の出地区の校地に「浦安・日の出キャンパス」が開設され、第7の学部となる医療科学部臨床検査学科・臨床工学科が開設されました。

- 13.令和5(2023)年、浦安・日の出キャンパスに第8の学部として健康データサイエンス学部が開設され、第4の大学院研究科として保健医療学部を基礎として大学院保健医療学研究科が開設されました。
- 14.令和6(2024)年、浦安・日の出キャンパスに第9の学部として薬学部が開設されました。また、第5の大学院研究科として大学院国際教養学研究科が開設され、第6の大学院研究科として健康データサイエンス研究科(仮称)の設置が計画されています。

順天堂は、附属6病院合計で総病床数3,589床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発揮し、総合力に秀でた医育機関として発展するとともに、令和元(2019)年7月に外国人患者の急増に対応して国際診療部を設置するなど国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

現在、国際連携大学・研究所としては、北京大学、第四軍医大学(西安)、中国医科大学、中日友好医院(北京)、タイ国立皮膚病研究所(バンコク)、ベトナム軍医大学、メイヨークリニック、MDアンダーソンがんセンター、シャリテ医科(ベルリン)大学などがあり、国際交流協定校も約83校に達し、海外からの留学生・研究生は増え続けています。



本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校,国籍,性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、9学部5研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2024年5月15日(創立記念日)
学校法人 順 天 堂
理事長 小 川 秀 興

1 法人の設置する学校

研究科・学部名称			所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	東京都文京区 本郷2丁目1番1号	平成24.11.大学院医学研究科(修士課程)設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程		昭和34. 3.大学院医学研究科(博士課程)設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地	昭和46. 3.大学院体育学研究科(修士課程)設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4.大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程		平成11.12.大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	千葉県浦安市 高洲2丁目5番1号	平成18.11.大学院医療看護学研究科(修士課程)設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程		平成25.10.大学院医療看護学研究科(博士後期課程)設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
	保健医療学研究科	修士課程	東京都文京区 本郷2丁目1番1号	令和 4. 8.大学院保健医療学研究科(修士課程)設置認可。 令和 5. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科		東京都文京区 本郷2丁目1番1号	天保9年(1838年)西洋医学塾開塾。以降、江戸(薬研堀)から佐倉(千葉)、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.(財)順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5.(財)順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2.(学)順天堂医科大学認可。 昭和26. 6.順天堂大学体育学部Ⅱ類(医学進学コース)開設。 昭和27. 2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4.順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 スポーツ科学科※ スポーツマネジメント学科※ 健康学科※		千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6.体育学部Ⅰ類(体育学専攻、健康教育学専攻)開設。 昭和46. 1.体育学部(体育学科、健康学科)設置認可。 平成 4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。 スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科設置。 令和 2. 4.スポーツ健康科学科設置届出。 令和 3. 4.スポーツ健康科学科開設。 ※スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康科学科学生募集停止
				(看護教育沿革) 明治29.10.順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29. 4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3.同高等看護婦学校開設。 昭和38. 4.順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科		千葉県浦安市 高洲2丁目5番1号	平成 元. 4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16. 4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6.同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科		静岡県三島市 大宮町3丁目7番33号	平成21. 6.保健看護学部設置届出。 平成21. 9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21.10.保健師看護師学校指定。 平成22. 4.保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科		東京都文京区 本郷2丁目1番1号	平成26.12.国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。
	保健医療学部 理学療法学科 診療放射線学科		東京都文京区 本郷2丁目1番1号	平成30. 8.保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科設置認可。 平成31. 4. 同 開設。
	医療科学部 臨床検査学科 臨床工学科		千葉県浦安市 日の出6丁目8番1号	令和 3. 4.医療科学部臨床検査学科・臨床工学科設置届出。 令和 3. 6.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 令和 4. 4. 同 開設。
	健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科		千葉県浦安市 日の出6丁目8番1号	令和 4. 8.健康データサイエンス学部設置認可。 令和 5. 4. 同 開設。

2 研究科・学部一覧

研究科・学部・学科名称		取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士(医科学) 博士(医学)	服 部 信 孝
	スポーツ健康科学研究科	修士(スポーツ健康科学) 博士()	和 氣 秀 文
	医療看護学研究科	修士(看護学) 博士()	平 井 周
	保健医療学研究科	修士(理学療法学) 修士(診療放射線学)	代 田 浩 之
学部	医学部 医学科	学士(医学)	服 部 信 孝
	スポーツ健康科学部	学士(学位名は下記のとおり)	和 氣 秀 文
	スポーツ健康科学科	学士(スポーツ健康科学)	—
	スポーツ科学科※	学士(スポーツ科学)	中 村 充
	スポーツマネジメント学科※	学士(スポーツマネジメント学)	廣 津 信義
	健康学科※	学士(健康学)	久保原 禅
	医療看護学部 看護学科	学士(看護学)	平 井 周
	保健看護学部 看護学科	学士(看護学)	小 池 道 明
	国際教養学部 国際教養学科	学士(国際教養学)	加 藤 洋 一
	保健医療学部	学士(学位名は下記のとおり)	京 極 伸 介
	理学療法学科	学士(理学療法学)	藤 原 俊 之
	診療放射線学科	学士(放射線技術学)	坂 野 康 昌
	医療科学部	学士(学位名は下記のとおり)	長 岡 功
	臨床検査学科	学士(臨床検査学)	三 宅 一 徳
	臨床工学科	学士(臨床工学)	峰 島 三千男
	健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	学士(健康データサイエンス学)	青 木 茂 樹

※スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科は令和3年4月学生募集停止

3 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成10.11.19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	服部 信孝	学術フロンティア推進事業	平成11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハitek・リサーチ・センター整備事業	平成12. 3.21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハitek・リサーチ・センター整備事業	平成14. 9.19	小川 秀興
研究基盤センター	服部 信孝	—	平成15.10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	内藤 久士	ハitek・リサーチ・センター整備事業	平成17.10. 1	小川 秀興
スポーツロジセンター	河盛 隆造	ハitek・リサーチ・センター整備事業	平成19. 4.24	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	服部 信孝	戦略的研究基盤形成支援事業	平成25.10. 1	新井 一
先進的がん医療開発研究センター	服部 信孝	研究拠点形成費等補助金	平成25.11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成27.10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	岡崎 康司	—	平成28. 4. 1	新井 一
脳血管内治療学研究センター	近藤 聡英	—	令和 3. 6. 1	大石 英則
AIインキュベーションファーム	服部 信孝	—	令和 3.12. 1	服部 信孝
シミュレーション教育研究センター	植木 純	—	令和 4. 4. 1	植木 純
健康創薬先端リサーチセンター	服部 信孝	—	令和 5.10. 1	服部 信孝

4 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所 在 地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,051床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和42. 4. 1	633床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和59. 5.15	785床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成14. 6. 3	404床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成17. 7. 1	490床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,589床	

※病床数は令和6年3月31日現在の稼働数

5 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

(単位:名)

研究科・学部・学科名称			修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3						
								1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
大学院	医学研究科	修士課程	2年	60	89	120	183	87 (60)	96 (60)	—	—	—	—
		博士課程	4年	180	203	720	722	198 (180)	201 (180)	173 (180)	150 (180)	—	—
	スポーツ 健康科学研究科	博士前期課程	2年	61	62	122	129	61 (61)	68 (61)	—	—	—	—
		博士後期課程	3年	10	11	30	39	11 (10)	11 (10)	17 (10)	—	—	—
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2年	29	33	58	65	33 (29)	32 (29)	—	—	—	—
		博士後期課程	3年	12	12	34	37	12 (12)	8 (12)	17 (10)	—	—	—
	保健医療学 研究科	修士課程	2年	10	28	10	28	28 (10)	—	—	—	—	—
大学院 計				362	438	1,094	1,203	430 (362)	416 (352)	207 (200)	150 (180)	—	—
学部	医学部 医学科		6年	140	140	829	830	144 (140)	137 (138)	133 (136)	136 (135)	138 (140)	142 (140)
	スポーツ健康科学部		4年	600	621	2,210	2,244	619 (600)	612 (600)	597 (600)	416 (410)	—	—
	スポーツ健康科学学科		4年	600	621	1,800	1,828	619 (600)	612 (600)	597 (600)	—	—	—
	スポーツ科学科※4		4年	—	—	250	253	—	—	—	253 (250)	—	—
	スポーツマネジメント学科※4		4年	—	—	80	81	—	—	—	81 (80)	—	—
	健康学科※4		4年	—	—	80	82	—	—	—	82 (80)	—	—
	医療看護学部 看護学科		4年	220	221	840	831	221 (220)	208 (220)	201 (200)	201 (200)	—	—
	保健看護学部 看護学科		4年	130	132	500	507	134 (130)	131 (130)	120 (120)	122 (120)	—	—
	国際教養学部 国際教養学科		4年	240	228	960	913	237 (240)	222 (240)	229 (240)	225 (240)	—	—
	保健医療学部		4年	240	242	960	956	245 (240)	237 (240)	239 (240)	235 (240)	—	—
	理学療法学科		4年	120	121	480	478	124 (120)	117 (120)	120 (120)	117 (120)	—	—
	診療放射線学科		4年	120	121	480	478	121 (120)	120 (120)	119 (120)	118 (120)	—	—
	医療科学部		4年	180	182	360	365	184 (180)	181 (180)	—	—	—	—
	臨床検査学科		4年	110	112	220	224	113 (110)	111 (110)	—	—	—	—
	臨床工学科		4年	70	71	140	141	71 (70)	70 (70)	—	—	—	—
	健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科		4年	100	101	100	101	101 (100)	—	—	—	—	—
	学部 計				1,850	1,867	6,759	6,747	1,885 (1,850)	1,728 (1,748)	1,519 (1,536)	1,335 (1,345)	138 (140)

※1 入学者欄は令和5年4月に入学した学生数

※2 在籍者欄は令和6年3月31日における学生数

※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※4 スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科は令和3年4月学生募集停止

6 役 員

区 分	氏 名	主 な 役 職
理 事 長	小 川 秀 興	
理 事	新 井 一	学長
	木 南 英 紀	学長特別補佐
	服 部 信 孝	医学部長、大学院医学研究科長
	和 氣 秀 文	スポーツ健康科学部長、大学院スポーツ健康科学研究科長
	平 井 周	医療看護学部長、大学院医療看護学研究科長
	小 池 道 明	保健看護学部長
	加 藤 洋 一	国際教養学部長
	京 極 伸 介	保健医療学部長
	長 岡 功	医療科学部長
	青 木 茂 樹	健康データサイエンス学部長
	高 橋 和 久	順天堂医院長
	佐 藤 浩 一	静岡病院長
	田 中 裕	浦安病院長
	鈴 木 利 人	順天堂越谷病院長
	宮 嶋 雅 一	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	浦 尾 正 彦	練馬病院長
	宮 野 武	練馬病院名誉院長
	高 森 建 二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐 藤 信 紘	大学院医学研究科特任教授
	天 野 篤	大学院医学研究科特任教授
	内 藤 久 士	大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康医科学研究所長
	代 田 浩 之	大学院保健医療学研究科長
	植 木 純	大学院医療看護学研究科シミュレーション教育研究センター長
	多 田 宏	非常勤
	永 田 良 一	非常勤
監 事	辛 島 陸	非常勤
	濱 本 英 輔	非常勤

7 評 議 員

〈選任条項順に記載〉

浦尾 正彦	田中 裕	岩渕 和久	桑鶴 良平	坂本 一博	山路 健	清水 俊明
青木 和浩	鈴木 大地	吉村 雅文	ニヨンサバ フランソワ	細谷 芳三	小林 忠彦	田中ひとみ
佐藤 潔	長岡 功	高森 建二	代田 浩之	中澤 真逸	澤木 啓祐	土屋 清子
宮川 政久	加納 實	植木 純	児島 邦明	小川 秀興	新井 一	服部 信孝
和氣 秀文	平井 周	小池 道明	加藤 洋一	高橋 和久	佐藤 浩一	多田 宏
佐藤 信紘	木南 英紀	宮野 武	鈴木 利人	宮嶋 雅一	天野 篤	丸木 親
永田 良一	奥村 康	岡田 隆夫	吉田 幸洋	小林 茂人	内藤 久士	稲富 恵子
青木 茂樹	京極 伸介	村田 善則	岡田 綾			(計 53名)

8 教 職 員 数

(令和6年 3月31日現在)

(1) 教員数

学 長		(単位:名)								
1										
		教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大学院		246	15	68	4	48	4	385	305	690
(内訳)	医学研究科	213	12	66	4	44	4	343	213	556
	スポーツ健康科学研究科	20	2	1	0	4	0	27	13	40
	医療看護学研究科	13	1	1	0	0	0	15	79	94
	保健医療学研究科	0	0	0	0	0	0	0	3	3
学部		67	142	370	29	452	458	1,518	3,008	4,526
(内訳)	医学部	8	101	298	5	378	452	1,242	2,615	3,857
	スポーツ健康科学部	5	15	26	1	20	4	71	102	173
	医療看護学部	1	7	16	2	27	0	53	80	133
	保健看護学部	12	5	6	7	5	2	37	58	95
	国際教養学部	11	7	10	3	4	0	35	92	127
	保健医療学部	14	5	8	5	9	0	41	27	68
	医療科学部	11	2	3	5	6	0	27	24	51
	健康データサイエンス学部	5	0	3	1	3	0	12	10	22
法人・総務局		5	0	1	0	0	0	6	3	9
合 計		318	157	439	33	500	462	1,903	3,316	5,225

※上記内、併任教員数 教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計		教員数
大学院本務教員 内学部併任教員	182	51	0	26	259	大学院	1,180
学部本務教員内 大学院併任教員	17	421	9	40	487	学 部	4,785

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計	教職員合計
864	19	5,113	36	57	6,089	11,318

<参考:令和5年度臨床研修医受入数(括弧内は令和5年度新規受入数)>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
82 (44)	53 (30)	78 (40)	69 (34)	282 (148)

9 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独)日本学術振興会:科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)	
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	0	6	0	61,700	0	18,510
	継続	6		61,700		18,510	
基盤研究 (S)	新規	1	1	33,600	33,600	10,080	10,080
	継続	—		—		—	
基盤研究 (A)	新規	2	9	31,200	90,600	9,360	27,180
	継続	7		59,400		17,820	
基盤研究 (B)	新規	26	67	139,100	285,000	41,730	85,500
	継続	41		145,900		43,770	
基盤研究 (C)	新規	121	404	176,800	424,450	51,690	125,985
	継続	283		247,650		74,295	
若手研究	新規	75	219	105,600	243,100	31,680	72,930
	継続	144		137,500		41,250	
挑戦の研究 (開拓)	新規	0	1	0	7,000	0	2,100
	継続	1		7,000		2,100	
挑戦の研究 (萌芽)	新規	8	12	15,100	20,200	4,530	6,060
	継続	4		5,100		1,530	
研究活動スタート支援	新規	12	33	13,100	35,900	3,930	10,770
	継続	21		22,800		6,840	
国際共同研究強化	新規	5	5	58,000	58,000	17,400	17,400
	継続	—		—		—	
海外連携研究	新規	2	6	6,500	17,600	1,950	5,280
	継続	4		11,100		3,330	
国際先導	新規	1	1	39,800	39,800	11,940	11,940
	継続	—		—		—	
特別研究員奨励費	新規	6	12	6,200	10,900	660	1,170
	継続	6		4,700		510	
奨励研究	新規	6	6	2,880	2,880	0	0
	継続	—		—		—	
合 計	新規	265	782	627,880	1,330,730	184,950	394,905
	継続	517		702,850		209,955	

② 文部科学省:科学技術人材育成費補助金

事 業 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
卓越研究員事業	1	4,000
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (女性リーダー育成型)	1	30,000
合 計	2	34,000

③ 厚生労働省:厚生労働科学研究費補助金、厚生労働行政推進調査事業費補助金

事 業 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
政策科学総合研究事業 (臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)	1	23,077	6,923
厚生労働科学特別研究事業	2	34,120	10,236
難治性疾患政策研究事業	1	23,010	6,903
障害者政策総合研究事業	1	10,424	3,076
エイズ対策政策研究事業	1	9,970	2,990
地域医療基盤開発推進研究事業	2	2,620	785
合 計	8	103,221	30,913

④ 厚生労働省:労災疾病臨床研究事業費補助金

事 業 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	1	10,000	3,000
合 計	1	10,000	3,000

⑤ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事 業 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費等 (千円)
研究者育成支援研究奨励事業 (創薬関連分野)	1	7,000	700
若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業	1	15,000	4,500
官民による若手研究者発掘支援事業	1	10,000	3,000
医療技術実用化総合促進事業	1	159,091	15,909
合 計	4	191,091	24,109

(2) 委託費

① 文部科学省

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
先端のスポーツ医科学研究推進事業	1	44,392	4,433
合 計	1	44,392	4,433

② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費等 (千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	1	40,000	12,000
次世代がん医療加速化研究事業	2	20,000	6,000
再生医療等実用化研究事業	5	214,156	64,247
再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム	4	195,000	58,500
革新的がん医療実用化研究事業	1	15,000	4,500
障害者対策総合研究開発事業 (精神障害分野)	2	20,000	6,000
障害者対策総合研究開発事業 (身体・知的・感覚器障害分野)	1	7,000	2,100
脳とこころの研究推進プログラム	2	120,000	36,000
難治性疾患実用化研究事業	3	29,374	8,812
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	1	12,500	3,750
新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	1	32,000	9,600
肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	1	20,500	6,150
革新的先端研究開発支援事業	6	92,225	27,667
医療機器等研究成果展開事業	1	20,000	6,000
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	2	33,930	10,180
創薬支援推進事業	1	5,450	545
予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業	1	23,000	6,900
ゲノム医療実現バイオバンク活用プログラム	1	19,000	5,700
新興・再興感染症研究基盤創生事業 (海外拠点活用研究領域)	1	15,000	4,500
新興・再興感染症研究基盤創生事業 (多分野融合研究領域)	1	7,600	2,280
脳とこころの研究推進プログラム (精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト)	2	126,600	37,980
橋渡し研究プログラム	1	14,300	4,290
合 計	41	1,082,635	323,701

③ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
ムーンショット型研究開発事業	1	63,869	19,161
創発的研究支援事業	6	43,350	13,005
戦略的創造研究推進事業	1	9,660	2,898
研究成果展開事業 共創の場形成支援 (共創の場形成支援プログラム)	1	3,846	1,154
大学発新産業創出基金事業 (基金)	1	27,070	8,121
合 計	10	147,795	44,339

④ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1	15,044	2,256
戦略的イノベーション創造プログラム 包摂的コミュニティプラットフォームの構築	1	128,696	19,304
合 計	2	143,740	21,560

⑤ 独立行政法人国際協力機構

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS) 第1期 (2022年6月15日～ 2024年6月30日)	1	189,934	0
合 計	1	189,934	0

10 寄付講座・共同研究講座・産学協同研究講座

(1) 寄付講座

講座名	寄付者	設置期間	責任者等
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ～R 8. 3.31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
運動障害疾患病態研究・治療講座	日本メドトロニック株式会社 ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 (H27.4.1 ～) 帝人ファーマ株式会社 (共同研究) (R3.4.1 ～) アッヴィ合同会社 (H30.4.1 ～ R4.3.31) (1社非公開) (H30.4.1 ～ R6.3.31)	H24. 4. 1 ～R 9. 3.31	神経学 教授 服部 信孝

講座名	寄付者	設置期間	責任者等
脳神経血管内治療学講座	テルモ株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社カネカメディックス 日本メドトロニック株式会社 (H30.8.1 ～)	H24. 8. 1 ～R 6. 7.31	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
遺伝子疾患先端情報学講座	大塚製薬株式会社 株式会社ファンケル (R5.4.1 ～) 第一工業製薬株式会社 (R5.4.1 ～) 株式会社食文化 (R2.4.1 ～) ロート製薬株式会社 (R2.4.1 ～) 第一生命保険株式会社 (R5.4.1 ～)	H26. 4. 1 ～R 8. 3.31	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
心血管睡眠呼吸医学講座	株式会社フィリップス・ジャパン フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	H27. 4. 1 ～R 6. 3.31	循環器内科学 教授 南野 徹
乳酸菌生体機能研究講座	明治ホールディングス株式会社	H27. 4. 1 ～R 9. 3.31	免疫学 特任教授 奥村 康
マイクロバイオーーム研究講座	アサヒグループホールディングス株式会社	H30. 3. 1 ～R 6. 2.29	医学研究科 研究科長 服部 信孝
先進血液病態学講座	ファーマエッセンシアジャパン株式会社	R 3. 3. 1 ～R 9. 2.29	血液学 主任教授 安藤 美樹
脳疾患連携分野研究講座	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社	R 3. 4. 1 ～R 8. 3.31	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
骨関節疾患地域医療・研究講座	茨城県 神栖市	R 4. 4. 1 ～R 7. 3.31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
ホスピタリスト研究実践講座	公益財団法人星総合病院	R 4. 4. 1 ～R 7. 3.31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫
機能修復治療学講座	エム・エフコンサルタント株式会社	R 5. 4. 1 ～R 8. 3.31	リハビリテーション 医学研究室 教授 藤原 俊之

(2) 共同研究講座

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
オートファジー調節化合物探索研究講座	住友ファーマ株式会社	H29. 4. 1 ～R 8. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～R 8.12.31	神経学 教授 服部 信孝
抗加齢皮膚医学研究講座	株式会社ファンケル総合研究所 キリンホールディングス株式会社 (R3.6.1 ～)	H30. 6. 1 ～R 5. 5.31	環境医学研究所 特任教授 高森 建二
データサイエンス推進講座	株式会社4DIN	H30.12. 1 ～R 6.11.30	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
オルガノイド開発研究講座	エーザイ株式会社	H31. 4. 1 ～R 7. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
循環器遠隔管理学講座	パラマウントベッド株式会社	R 1. 5. 1 ～R 7. 4.30	循環器内科学 教授 南野 徹

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
ICT制御に基づく在宅医療開発講座	株式会社サンウェルズ	R 1.10. 1 ～R 7. 9.30	神経学 教授 服部 信孝
先端予防医学・健康情報学講座	株式会社クレディセゾン	R 2. 1. 1 ～R 8. 3.31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫
パーキンソン病治療薬開発講座	大原薬品工業株式会社 株式会社PARKINSON Laboratories	R 2. 4. 1 ～R 8. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
デジタル医療講座	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー	R 2. 5. 1 ～R 6. 4.30	AIインキュベーション ファーム センター長 服部 信孝
脳機能代謝研究講座	テルモ株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン アンファー株式会社 株式会社メディカライン 日本メドトロニック株式会社 日本ストライカー株式会社 Integra Japan株式会社 (1社非公開)	R 2. 5. 1 ～R 5. 4.30	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
リアルワールドエビデンス評価研究講座	株式会社新日本科学	R 2. 6. 1 ～R 5. 5.31	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
気分障害分子病態学講座	住友ファーマ株式会社	R 2.10. 1 ～R 8. 9.30	精神医学 教授 加藤 忠史
アフェレシス治療技術と生命科学講座	旭化成メディカル株式会社	R 2.10. 1 ～R 8. 9.30	膠原病・ リウマチ内科学 教授 山路 健
スポーツ医学・再生医療講座	セルソース株式会社	R 2.11. 1 ～R 5.10.31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
健康寿命学講座	株式会社カーブスジャパン	R 2.11. 1 ～R 5.10.31	スポーツロジ センター 特任教授 河盛 隆造
マルチスケール脳構造イメージング講座	株式会社ニコンソリューションズ	R 2.11. 1 ～R 7.10.31	脳回路形態学 教授 日置 寛之
高齢者身体運動機能研究開発講座	株式会社ハーフ・センチュリー・モア	R 2.12. 1 ～R 5.11.30	病院管理学 教授 小林 弘幸
パーキンソン病臨床データ解析研究講座	小野薬品工業株式会社	R 3. 1. 1 ～R 7.12.31	神経学 教授 服部 信孝
骨髄増殖性腫瘍治療薬開発講座	Meiji Seika ファルマ株式会社	R 3. 2. 1 ～R 6. 1.31	血液学 特任教授 小松 則夫
免疫病・がん先端治療学講座	ワイズ・エー・シー株式会社	R 3. 4. 1 ～R11. 3.31	アトピー疾患研究 センター 特任教授 奥村 康
先進老化制御学講座	株式会社ブルボン	R 3. 4. 1 ～R 9. 3.31	循環器内科学 教授 南野 徹
シヌクレイノパチー創薬探索研究講座	協和キリン株式会社	R 3. 4. 1 ～R 7. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
神経疾患におけるPROに基づく 統合データ解析講座	武田薬品工業株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	神経学 教授 服部 信孝

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
免疫診断学講座	日本抗体医薬株式会社	R 3. 4. 1 ～R 9. 3.31	アトピー疾患研究 センター 特任教授 奥村 康
運動器疾患病態学講座	サントリーウエルネス株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社日本エム・ディ・エム 久光製薬株式会社 オリンバステルモバイオマテリアル株式会社 株式会社マティス セルソース株式会社（～R6.3.31）	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
Pandemic Ready共同研究講座	清水建設株式会社	R 3. 5. 1 ～R 6. 4.30	感染制御科学 教授 堀 賢
救急AI色画像情報標準化講座	凸版印刷株式会社	R 3. 6. 1 ～R 6. 5.31	救急・災害医学 （浦安病院） 教授 田中 裕
低侵襲テロメスキャン 次世代がん診断学講座	オンコリスバイオフーマ株式会社	R 3. 6. 1 ～R 6. 5.31	呼吸器内科学 教授 高橋 和久
デジタル指標運動機能研究講座	田辺三菱製薬株式会社	R 3. 8. 1 ～R 6. 7.31	神経学 教授 服部 信孝
ダイレクトリプログラミング 再生医療学講座	アステラス製薬株式会社	R 3.10. 1 ～R 6. 9.30	難治性疾患診断・ 治療学 教授 岡崎 康司
デジタルセラピューティクス講座	株式会社ライフクエスト トライバル株式会社	R 3.10. 1 ～R 6. 9.30	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
MALDI-TOFMS実用化研究講座	株式会社島津製作所	R 4. 1. 1 ～R 6.12.31	臨床病理検査医学 教授 田部 陽子
次世代病院IoTネットワーク共同研究講座	アライドテレシスホールディングス株式会社	R 4. 3. 1 ～R 7. 2.28	医学研究科 研究科長 服部 信孝
細菌叢再生学講座	メタジェンセラピューティクス株式会社	R 4. 4. 1 ～R 7. 3.31	消化器内科学 教授 永原 章仁
メディカル・メタバース共同研究講座	日本アイ・ビー・エム株式会社	R 4. 4. 1 ～R 7. 3.31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
唾液1mlを用いた 認知症バイオマーカー開発講座	（非公開）	R 4. 6. 1 ～R 7. 5.31	難治性疾患診断・ 治療学 教授 赤澤 智宏
生殖技術フロンティア講座	株式会社新日本科学	R 4. 7. 1 ～R 7. 6.30	産婦人科学 教授 板倉 敦夫
食と生殖機能先端研究講座	株式会社パートナーズ	R 4. 7. 1 ～R 7. 6.30	産婦人科学 教授 板倉 敦夫
遠隔医療・モバイルヘルス研究開発講座	株式会社関電工	R 5. 3. 1 ～R 8. 2.28	AIインキュベーション ファーム センター長 服部 信孝
腸内フローラ研究講座	森永乳業株式会社	R 5. 4. 1 ～R 8. 3.31	特任教授 佐藤 信紘

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
スポーツ施設・環境研究講座	株式会社大林組	R 5. 4. 1 ～R 8. 3.31	スポーツ健康科学研究科 研究科長 和氣 秀文
免疫・身体機能と睡眠の科学講座	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	R 5. 5. 1 ～R 8. 4.30	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健
生物機能成分研究講座	株式会社医道メディカル	R 5. 7. 1 ～R 8. 6.30	医学研究科 教授 小林 弘幸
パーソナル・アダプティブ・ スマートホスピタル共同研究講座	鹿島建設株式会社	R 5. 7. 1 ～R 8. 6.30	医学研究科 研究科長 服部 信孝
運動器再生医学研究講座	株式会社Gaudi Clinical NORM株式会社 株式会社ベリタス	R 5.11. 1 ～R 8.10.31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章

(3) 産学協同研究講座

講座名	産学協同研究者	参画形態	設置期間	責任者等
バイオリソースバンク 活用研究支援講座	アボットジャパン合同会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 三井不動産株式会社	共同研究 寄付 寄付	R 3.10. 1 ～R 6. 9.30	呼吸器内科学 教授 高橋 和久
パーキンソン病 病態解明研究講座	大塚製薬株式会社 山岸広太郎 セブラホールディングス株式会社	寄付 寄付 共同研究	R 4. 4. 1 ～R 7. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
デジタルヘルス・ 遠隔医療研究開発講座	インターリハ株式会社 京セラ株式会社 フクダ電子株式会社 AMI株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン	共同研究 共同研究 共同研究 共同研究 寄付	R 5. 1. 1 ～R 5.12.31	保健医療学部 学部長 代田 浩之
認知症治療学講座	PDRファーマ株式会社 公益財団法人小笠原敏昌記念財団 興和株式會社 株式会社アライブメディケア 医療法人社団悠輝会 （1者非公開）	共同研究 研究助成 共同研究 共同研究 寄付 寄付	R 6. 3. 1 ～R 9. 2.28	神経学 教授 服部 信孝

11 授業料等学生が納付する金額

(単位:円)

大学院・学部			入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	—	150,000	—	750,000
		修士課程	200,000	400,000※2	150,000	—	—	750,000
	スポーツ健康科学研究科		200,000	550,000	—	50,000	—	800,000
	医療看護学研究科		200,000	550,000	—	50,000	—	800,000
	保健医療学研究科		200,000	550,000	50,000	—	—	800,000
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	—	—	2,900,000
		2年次以降	—	2,000,000	860,000	—	720,000	3,580,000
	スポーツ健康科学部		200,000	700,000	300,000	—	150,000	1,350,000
	医療看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000※3	—	1,850,000
	保健看護学部		300,000	900,000	300,000	140,000※4	—	1,640,000
	国際教養学部		300,000	1,000,000	—	—	250,000	1,550,000
	保健医療学部		300,000	1,000,000	300,000	150,000※5	—	1,750,000
	医療科学部		300,000	1,000,000	300,000	150,000※5	—	1,750,000
	健康データサイエンス学部		200,000	1,000,000	300,000	—	100,000	1,600,000

※1 入学時のみ
※2 データサイエンス学位プログラムは1,050,000円
※3 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算
※4 2年次以降は420,000円
※5 2年次以降は480,000円

12 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

(単位:名)

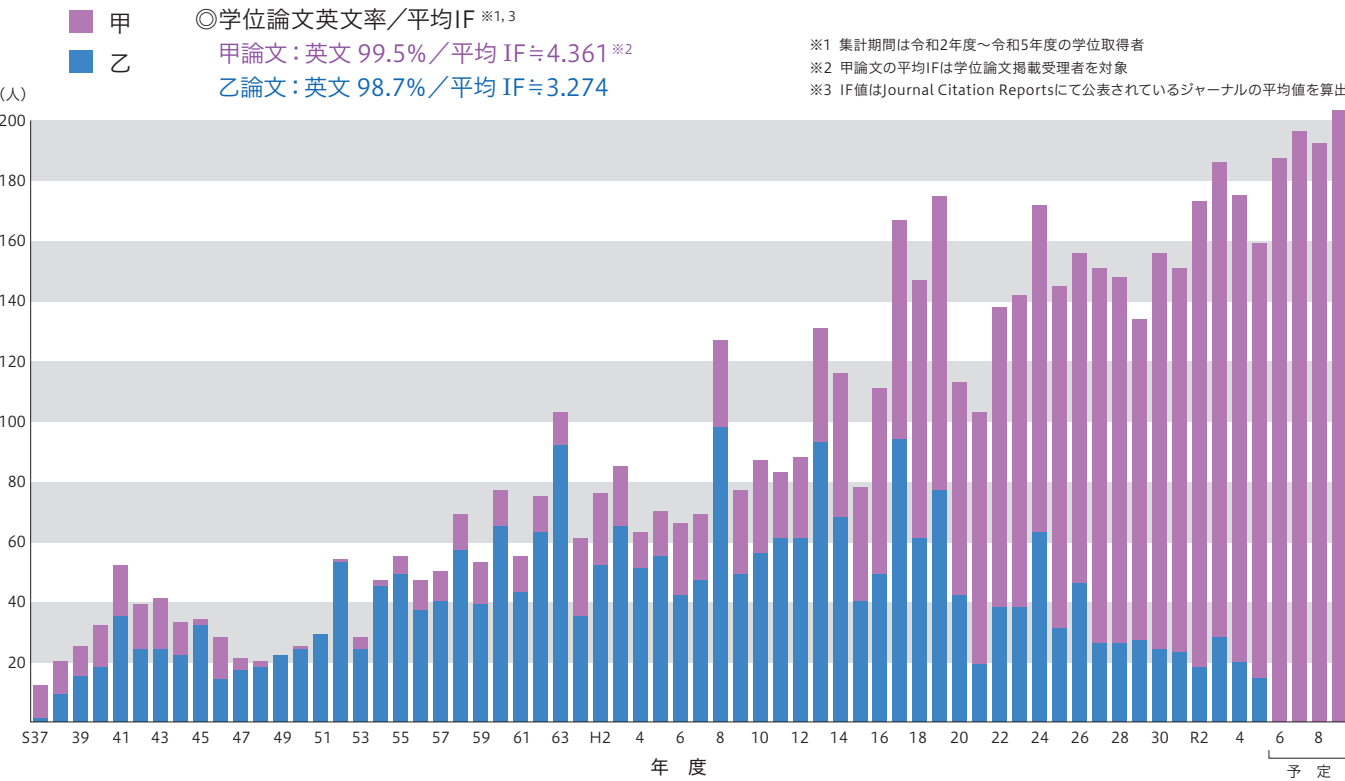
区 分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員（博士）	140	140	160	180	
入学者数（ ）	160	178	179	162	
博士（医学）甲 学位記授与数	155	158	155	146	《2,878》
満期退学後学位取得者数	0	0	0	0	
博士（医学）乙 学位記授与数	18	28	20	14	《2,548》
当該年度修了者の入学時入学定員（修士）	30	40	60	60	
入学者数（ ）	41	64	77	98	
修士（医科学）学位記授与数	40	61	78	94	《439》

大学院スポーツ健康科学研究科 (単位:名)

区 分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員（博士）	10	10	10	10	
入学者数（ ）	11	21	18	14	
博士（スポーツ健康科学）甲 学位記授与数	8	14	14	11	《126》
満期退学後学位取得者数	0	0	0	0	
博士（スポーツ健康科学）乙 学位記授与数	1	1	0	2	《27》
当該年度修了者の入学時入学定員（修士）	61	61	61	61	
入学者数（ ）	56	62	63	67	
修士（スポーツ健康科学）学位記授与数	51	62	60	66	《1,388》

区 分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員（博士）	7	10	10	10	
入学者数（ ）	10	11	10	10	
博士（看護学）甲 学位記授与数	7	11	7	6	《56》
当該年度修了者の入学時入学定員（修士）	20	25	25	29	
入学者数（ ）	26	24	27	33	
修士（看護学）学位記授与数	25	21	29	29	《307》

順天堂大学大学院医学研究科 学位授与者数推移 令和6年3月
博士（医学） 甲:2,878号 乙:2,548号 （計:5,426号）



13 学部卒業者数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	130(37)	134(41)	135(43)	137(44)	医専卒 〈 319〉 医科大卒 〈 89〉 学部卒 〈5,785〉 累計〈6,193〉
スポーツ健康科学部		404(158)	401(158)	399(153)	415(163)	
スポーツ科学科	スポーツ科学	247(98)	243(89)	243(85)	252(80)	体育学部卒 〈5,207〉 スポーツ健康科学部卒 〈9,207〉 累計〈14,414〉
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	79(30)	79(30)	77(27)	81(30)	
健康学科	健康学	78(30)	79(39)	79(41)	82(53)	
医療看護学部 看護学科	看護学	202(191)	196(192)	194(192)	201(195)	講習所 〈1,182〉 看護学院 〈 29〉 准看護婦学院〈 132〉 高等看護学校〈 775〉 看護専門学校〈1,194〉 医療短期大学〈1,476〉 医療看護学部〈3,180〉 累計〈7,968〉
保健看護学部 看護学科	看護学	121(113)	118(113)	124(118)	121(112)	累計〈1,317〉
国際教養学部 国際教養学科	国際教養学	117(78)	111(61)	221(150)	211(128)	累計〈 879〉
保健医療学部		—	—	231(128)	221(127)	累計〈 452〉
理学療法学科	理学療法学	—	—	116(68)	111(63)	累計〈 227〉
診療放射線学科	放射線技術学	—	—	115(60)	110(64)	累計〈 225〉

14 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部			進路	人数	修了者数・卒業者数
大学院	医学研究科	博士課程	大学・研究機関	87名	146名
			医療機関	29名	
			民間企業	14名	
			その他	16名	
		修士課程	大学・研究機関	16名	94名
			医療機関	9名	
			民間企業	34名	
			進学	19名	
	スポーツ健康科学 研究科	博士後期 課程	教員・研究機関	9名	12名
			就職（民間企業・公務員等）	3名	
			その他	0名	
		博士前期 課程	教員・研究機関	10名	66名
	就職（民間企業・公務員等）		41名		
	進学		7名		
	医療看護学 研究科	博士後期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	0名	6名
			教員・研究機関	5名	
その他			1名		
博士前期 課程		大学病院等医療機関・保健医療機関	23名	29名	
		教員・研究機関	4名		
		進学	0名		
		その他	2名		
学部		医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院）	85名	137名
	〃（他大学医学部附属病院）		6名		
	〃（大学病院以外の臨床研修指定病院）		43名		
	その他		3名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	63名	415名	
		就職（民間企業・公務員等）	272名		
		進学	64名		
		その他	16名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院	192名	201名	
		本学以外の医療機関	6名		
		進学	2名		
		その他	1名		
	保健看護学部	本学医学部附属病院	96名	121名	
		本学以外の医療機関	17名		
		進学	5名		
		その他	3名		
	国際教養学部	教員・研究機関	6名	211名	
		就職（民間企業・公務員等）	156名		
		進学	22名		
		その他	27名		
	保健医療学部	理学療法 学科	本学医学部附属病院	17名	111名
			本学以外の医療機関	84名	
就職（民間企業）			2名		
進学			7名		
診療放射線 学科		本学医学部附属病院	15名	110名	
		本学以外の医療機関	74名		
		就職（民間企業）	1名		
		進学	14名		
その他	6名				

15 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

健康データサイエンス学部の開設

令和5年4月に浦安・日の出キャンパスに本学8番目の学部となる健康データサイエンス学部(入学定員100名)を開設しました。健康×データサイエンスのスペシャリストとして、データ社会の発展に貢献する人材を養成します。

薬学部の設置認可

令和5年9月に本学9番目の学部となる薬学部(6年制、入学定員180名)の設置が文部科学省より認可されました。本学部は臨床実践能力の高い薬剤師や臨床に根ざした創薬を開発することができる薬学研究者の養成を目指し、令和6年4月に浦安・日の出キャンパスに開設します。

学校法人宝仙学園との系属校協定締結

学校法人宝仙学園との教育連携を強化し、教育振興を図るため、令和6年3月1日付にて系属校に係る協定書を締結しました。学校法人はそれぞれ現状のままとし、令和6年4月1日より順天堂大学系属理数インター中学校・高等学校となります。

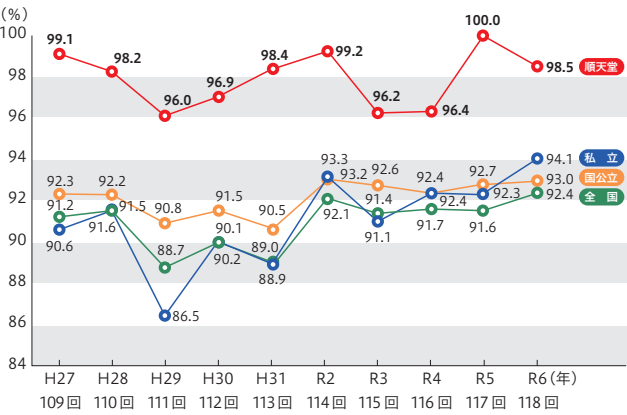
大学基準協会の認証評価

公益財団法人大学基準協会による大学評価を受審し、同協会の大学基準に適合しているとの認定を受けました。認定期間は令和6年4月1日から令和13年3月31日までの7年間となります。

【大学院医学研究科・医学部】

医師国家試験合格率推移

今年度の第118回医師国家試験では新卒者136名が受験をして134名が合格し、合格率は98.5%となりました。合格率は全



国国公立大学82校中5位、直近3年間・5年間・10年間の平均合格率は全国2位でした。

国際基準に基づく医学教育分野別評価の受審

令和5年5月30日～6月2日に一般社団法人日本医学教育評価機構(JACME:Japan Accreditation Council for Medical Education)による医学教育分野別評価を受審し、世界医学教育連盟(WFME)の国際基準に基づく「医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.34」に適合していることが認定されました。認定期間は2024年2月1日から2031年1月31日となります。

健康創薬先端リサーチセンター設置

令和5年10月より大学院医学研究科に健康創薬先端リサーチセンターを設置しました。本学における臨床シーズを効率的に開発研究に結び付け、学術的基礎研究の推進及び医薬品産業への支援を図り、大学発の健康・機能性素材や医薬品の開発に携わる研究者及び専門職者の養成を行うため、講座及び研究室の枠にとられることない拠点として健康医科学の発展及び医薬品産業の活性化に寄与していきます。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ、112名(私学専任合格含む)が合格しました。うち現役生の合格者数は38名でした。企業就職志望者247名の就職内定率は99.2%と、引き続き高水準を維持しました。

国際交流活動の活性化

フィリピン・セブ島での海外語学研修を開始し、12名の学部生が参加しました。また、学術交流協定を締結しているカセサート大学(タイ)から、学生12名、教員3名を招き、大学院生を中心とした研究発表会を実施したほか、スポーツレクリエーション体験等を通じた相互交流を図りました。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

医療看護学部は看護師国家試験合格率が100%、過去5年間平均でも99.5%と高水準を維持するとともに、助産師国家試験は合格率100%を継続しています。保健看護学部における国家試験合格率は看護師国家試験98.3%、保健師国家試験97.5%となり、両学部ともに高水準を維持しています。

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	100%	99.2%	100%
保健看護学部	98.3%	97.5%	—
全国平均(参考)	87.8%	95.7%	98.8%

保健看護学部入学定員増及び教育課程変更

令和6年4月から保健看護学部入学定員を130名から160名へ30名増加する定員増が文部科学省より認可されました。また令和6年度教育課程より保健師課程を選択制へ変更します。

専門看護師認定実績

大学院医療看護学研究科(博士前期課程)修了生4名が令和5年度専門看護師(CNS:Certified Nurse Specialist)認定試験に合格しました(慢性疾患看護分野1名、小児看護分野1名、がん看護分野1名、母性看護分野1名)。これまでのCNS合格者数は、慢性疾患看護分野27名、がん看護分野16名、精神看護分野7名、老人看護分野5名、小児看護分野5名、感染症看護分野9名、母性看護分野3名、在宅看護分野6名、急性・重症患者看護分野1名の合計79名です。

グローバルナーシングコース

令和4年度より大学院医療看護学研究科にて開設したGlobal Nursing Course(博士前期課程)、Global Nursing Leadership Course(博士後期課程)は、JICA(国際協力機構)と連携して国際的に活躍できる看護の専門家を育成するという日本初の試みで、留学生向けの英語による学位取得コースです。令和5年度にはGlobal Nursing Course 2名、Global Nursing Leadership Course 2名の入学者を迎え、大学院への進学を希望する留学生に広く門戸を開いています。

【国際教養学部】

海外留学・研修、英語集中学習プログラム、海外との交流

海外留学(短期・長期)は、現地留学再開後徐々に数が増えて、昨年度の留学先は10ヶ国となりました。令和5年度に留学、研修開始した学生は次の通りです。

期間	人数	内訳
長期(1年超)	1名	フィリピン・デンマーク1
長期(1年未満)	8名	オーストラリア2、アメリカ3、カナダ2、ニュージーランド1
長期(セメスター)	3名	アイルランド1、アメリカ・オーストラリア1、ニュージーランド1
中期(3ヶ月未満)	3名	オーストラリア2、アメリカ1
短期(1ヶ月未満)	68名	フィリピン49、アメリカ4、ニュージーランド1、マルタ1、フランス10、台湾3
短期(2週間未満)	25名	フィリピン7、タイ18

フィリピン・セブ島現地での英語集中学習プログラムは、46名の学生が約1ヶ月間の研修に参加しました。またセブ島では、2年生以上を対象にフィールドスタディーを実施し、現地で使われる言語の見識を深め、課題提起型アプローチにより貧困・ジェンダー・保健医療に関する問題に取り組む課題提起型グローバル英語実践研修を行うとともに、課題提起型グローバル英語実践研修はアメリカハワイ州でも行いました。タイのマヒドン大学との共催セミナーやフィールドワークを通じてプライマリケア・地域保健・国際保健などを学ぶグローバルヘルス海外短期研修は18名の学生が参加し、フランス研修では語学研修の他、現地高等学校で日本語・日本文化を教えるTAプログラムを実践しました。

また中国河南師範大学から15名の交換留学生を1年間の特別聴講生として受け入れ(昨年度は7名)、課程内外で本学部生との有意義な交流が続いています。

「UNHCR 難民映画祭パートナーズ上映会

国連機関の一つであるUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に向けた取り組みを行っており、本学は大学パートナーズとして、毎年難民映画を上映し、これを「公開講座」として学外の方々にも参加頂いています。令和5年度は『ムクウェゲ「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師』を上映し、運営委員会の学生と教職員が準備・運営にあたりました。また終了後は、3年生の学生がファシリテーターを務めるワークショップを行い、一般参加の方々と一緒に、難民の人たちの心の痛みに寄り添い世界の一員として自分にできることは何かを考えるきっかけとなりました。

企業就職率・教員採用試験・大学院進学

令和5年度4年生(第6期生)の企業・公務員就職志望者157名の就職内定率は98.7%となり、第1期生からの6年間平均内定率は97.9%と高い水準を維持しました。

教員志望者は公立学校教員採用試験を受験した8名(現役学生6名、既卒者2名)が全員合格し(100%合格は学部開設後3度目)、学部開設後累計の合格者は22名、私立学校を含めた教員就職者は27名となりました。また東京都が全国で先駆けて実施した教員採用試験3年次早期受験は、9名受験して8名が合格し次年度の二次試験へ進みました。

進学希望者は、本学大学院国際教養学研究科4名、医学研究科10名を含め、23名が国内外の大学院・大学・各種学校へ進学しました。

国際教養特別講義

1年生前期「国際教養概論」では、国際性と「仁」の精神を兼ね備えたグローバル市民となるために、「グローバル社会」「異文化コミュニケーション」「グローバルヘルスサービス」の3領域から、本学で学ぶ分野の広がりや国際的なリテラシーとの関わりを学びます。後期「国際教養特別講義」は、前期の学びをさらに発展させる形で、多様な分野において活躍、貢献されている特別講師を招聘し、令和5年度は10名の講師に計16回の講義をして頂きました。

大学院国際教養学研究科の設置認可

令和5年3月に文部科学省へ設置認可申請を行った国際教養学部を基礎とする大学院国際教養学研究科修士課程(入学定員5名)が、令和5年9月4日付で認可されました。本研究科は令和6年4月開設の予定で、学士課程で培われた教養教育に裏打ちされた専門的素養を一層向上させ、グローバル化された社会が抱える課題解決に必要な分野横断・学際的な知識・教養である国際教養学を教授し、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成します。

【保健医療学部】

理学療法士・診療放射線技師国家試験合格率

保健医療学部は学部開設5年目を迎え、2期生が国家試験を受験しました。理学療法士国家試験、診療放射線技師国家試験ともに高い合格率を記録しました。

	受験者	合格者	合格率
理学療法士国家試験	111名	111名	100.0%
診療放射線技師国家試験	112名	111名	99.1%

第1種放射線取扱主任者試験合格実績

第1種放射線取扱主任者試験に診療放射線学科の4年生6名、3年生17名、2年生11名の合計34名が合格しました。前年度までに同試験に合格した本学部の学生が、チューデントアシスタントとして、受験予定学生に勉強ノウハウを共有する取り組みを行っています。

大学院保健医療学研究科修士課程の開設及び博士後期課程の設置認可申請

保健医療学部を基礎とする大学院保健医療学研究科修士課程(理学療法学専攻・診療放射線学専攻)を開設しました。国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な実践能力をもち、理学療法学、診療放射線学のあり方を探求することのできる人材を養成します。また令和7年4月の開設を目途として、文部科学省へ博士後期課程(入学定員8名)の設置認可申請を行いました。修士課程で培われた理学療法学・診療放射線学に関する専門的知識や技術の基本的応用能力及び当該分野の諸問題に対して体系的に整理し客観的に分析する能力を持つ人材を養成します。

【医療科学部】

第2種 ME 技術実力検定試験合格

第2種ME技術実力検定試験に臨床工学科の1年生3名、2年生21名が合格しました(昨年度は1年生1名が合格)。当検定試験は臨床工学技士国家試験の出題範囲と重なり、早期に合格し実力をつけておくことが、国家試験合格への近道となります。今後も低学年のうちに合格できるよう、指導を推進していきます。

海外短期研修プログラム実施・大学間交流協定締結

アジアを含む海外の医療の現状を学ぶことや異文化体験を目的に、初めての海外短期研修をカンボジア及びタイにて実施しました。カンボジアでは、臨床検査学科の学生11名が、首都プノンペンの国立カンボジア健康科学大学と民間検査センターで研修を行いました。タイでは、臨床工学科の学生12名が、首都バンコクの国立タマサート大学と日系の医療機器メーカー研修施設で研修を行いました。国立タマサート大学とは大学間交流協定(MOU)の締結にまで至りました。

【健康データサイエンス学部】

大学・高専機能強化支援事業(支援2)に選定

大学・高専機能強化支援事業における高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援(支援2)の特例枠に選定されました。5年間総額で2億8,000万円の補助金が交付されます。本事業を活用して、健康データサイエンス学部を基礎とする大学院健康データサイエンス研究科(博士前期課程・博士後期課程)を令和7年4月に開設すべく、文部科学省へ設置認可申請を行いました。各業界で活躍するデータサイエンスに関する高度専門人材を教員として招聘し、本学の教育研究の更なる向上を図ります。

16 臨床活動の主な概要

●新型コロナウイルス感染症への対応

【順天堂医院】

感染対策のために患者の出入口を1号館正面玄関一か所としていましたが、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類になったことを受け、C棟出入口の使用を再開しました。入口にサーマルカメラを設置し、発熱者のトリアージは継続して実施しています。また必要箇所にはアクリル板や空気清浄機を導入するなど院内環境の整備に努め、ユニバーサルマスクポリシーを遵守しています。予定入院患者について入院前PCR検査の全件実施、緊急入院等迅速に対応を要する患者にはPOCT検査を実施していましたが、徐々に緩和を行い、予定入院については、全例PCR検査を廃止し、入院時の医師による健康チェックを強化して院内感染防止に細心の注意を払っています。新型コロナウイルス感染症の発生当初より設置していたB棟地上階の「発熱外来」は廃止し、外来においては各診療科で感染防止対策マニュアルに則り対応しています。

本年度も東京都の要請に応じて新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関として重症患者用14床、中等症患者用30床、計44床をCOVID専用病床として運用する等、流行状況に応じた病床を確保し、地域の保健行政に協力貢献しています。

その他、院内の密の回避や利便性の向上を図るため、引き続き、「オンライン診療」「あと払いクレジットサービス」「薬剤配送サービス」の連動、「ウォークスルー検査」等を推進しています。特にあと払いクレジットサービスは利用率30%以上を達成し、窓口の混雑緩和に大きく貢献しています。入院診療においては、iPadを利用した面会を導入し、患者の不安や精神的ストレス緩和につながっています。また日本IBMによる大学院医学研究科共同

浦安・日の出キャンパス開設記念シンポジウム

医療科学部及び健康データサイエンス学部が共催で、浦安・日の出キャンパス開設記念シンポジウムを開催しました。新井一学長による開会挨拶、大学院医学研究科小林弘幸教授及び健康データサイエンス学部岩崎学特任教授による基調講演の後、学部に分かれて活発なパネルディスカッションが行われました。シンポジウム会場には、令和5年7月に竣工した2号館1階のプレゼンホール等を使用し、当キャンパスが「開かれた知の拠点」であることを学内外にPRすることができました。

研究講座「メディカル・メタバース共同研究講座」で開発されたバーチャルホスピタルにより、来院しなくてもHP内でアバターを操作して院内の施設・環境を知ることができ、事前に病院の状況を知ることができます。面会等においてもメタバース面会アプリの活用を進めています。

【静岡病院】

令和4年度に引き続き、発熱外来では、ドライブスルー方式で検体が採取できるような仕組みを取り入れ、感染防止に努めました。令和6年2月末に発熱外来を終了し、各科外来での対応に移行しました。

入院では、新型コロナウイルス感染拡大とともに最大42床まで増床していた確保病床を、収束とともに減床させ、令和5年10月にはCOVID専用病棟(2C病棟)を閉鎖し、各病棟個室での対応に移行しました。

新型コロナウイルスワクチン基本型接種施設として、当院の医療従事者をはじめ、保健看護学部学生及び一般市民に対し春接種(6回目)、秋接種(7回目)のワクチン接種を行いました。令和4年3月から開始した小児(5・11歳)を対象とした初回接種(1、2回目)及び追加接種(3、4回目)を継続するとともに、令和4年11月から開始した乳幼児(生後6ヶ月～4歳)を対象とした初回接種(1、2、3回目)の接種を継続して行いました。これまでに延べ約60,000回の接種を行いました。

【浦安病院】

令和5年5月に5類に移行するまでは、千葉県重点医療機関として、7C病棟(個室27床)、ICU病棟(最大12床)を専用病床とし、発熱外来・発熱相談体制を整備し、その後は通常体制としながらも千葉県妊婦モニタリング等、業務の受託継続も含めて、多くの新型コロナウイルス感染患者の受け入れを行いました。また新型コロナウイルスワクチンに関しては、浦安市と連携を行い、一般市民を対象とした集団接種会場への問診医師派遣及び病院での個別接種を行いました。

院内スタッフの感染対策については、浦安病院独自のリバイバルプラン(STEP1～3)を策定し、千葉県及び周辺地域の感染拡大状況に応じて都度STEPを設定し、スタッフの感染拡大防止に努めました。特にクラスター予防対策として、全スタッフ(委託職員を含む)を対象としたユニバーサルN95・KN95マスク着用義務付けを継続して実施しました。

【順天堂越谷病院】

新型コロナウイルス感染症の第5類への移行後対応として、引き続き来院者には出入口を正面玄関のみに制限し、毎朝受付開始時よりサーマルカメラを設置して入館前の検温を実施し、発熱者には専用の臨時診察室を設置し運用してきました。

入院患者には、クラスター発生予防のため、スクリーニング検査の実施、面会制限、外泊制限を継続しています。

また新型コロナウイルス感染症感染後の対応として、コロナ後遺症外来を実施しています。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

感染症法上の対応が第5類に移行した後も前年度と同様に、主として高齢者、認知症のCOVID-19患者を積極的に受入れました。陰圧対応の個室に加え、空気清浄機を配置することで一般個室での対応も可能とし、引き続き多くの患者応需に対応することができました。一般個室でCOVID-19の対応が可能になったことで、陰圧管理を要するCOVID-19以外の感染症患者の受け入れもスムーズに行うことができました。

院内感染対策では面会制限を緩和し、病院出入口は一部を除き使用禁止を解除しました。一方で院内マスクの着用は継続しました。また入院時に一律で行っていた疑似症以外のSARS-CoV-2 PCR検査は、当院のこれまでの検査実績を踏まえ検討し廃止しました。

COVID-19対応に関しては流行状況と国内の対応方針、そして当医療センターの状況を詳細に検討した結果、院内対応マニュアルの改訂は都度行われ、目下第15版の発行に至っています。

【順天堂練馬病院】

令和2年4月7日の新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言を受け、その翌日に立ち上げた災害対策本部(本部長：救急・集中治療科野村智久)が、令和5年5月8日新型コロナウイルス第5類感染症への移行の後、令和6年3月末をもって活動を終了しました。

地域医療支援病院として従来の診療を継続しつつ、新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関、疑い患者受入協力医療機関として、発熱外来や発熱により救急外来を受診される方、搬送されてくる重症患者に引き続き対応し、多くの患者を受入れました。

また練馬区酸素・医療提供ステーションの設置(令和3年9月)及び運営に対して助言や医師、看護師の派遣協力を引き続き行い、その貢献に対し7月に東京都知事から感謝状を頂きました。令和5年度も地域住民や保健所等の要請に十分に 대응することができたと考えています。

令和6年度以降は第一種・第二種協定指定医療機関の契約を締結し、今後も新たな感染症発生、蔓延時に備えた体制、整備を整えていきます。

●令和6年能登半島地震への対応

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、医療従事者の派遣等、様々な支援活動を行いました。

順天堂医院は、医師1名、看護師2名、業務調整員1名からなるDMATチームを現地に派遣しました。1月26日、参集場所の能登中央保健医療福祉局調整本部に到着し、翌27日から29日までの3日間、他施設のDMATチームの派遣調整や周辺情報集約等の活動に従事し、30日に無事帰院しました。今後も災害時の派遣要請に速やかに応えられるようDMATチームは引き続き訓練を継続・維持していきます。

浦安病院は、千葉県からの派遣要請を受け、1月14日～17日に医師1名、看護師2名、業務調整員2名からなるDMATチームの派遣を行いました。主に石川県輪島市内の小・中学校及び保健医療福祉調整本部において、避難所での夜間見廻りや薬剤師業務のサポート、避難所内で入院が必要となった方々の病院搬送調整等の業務を行いました。

越谷病院は、空飛ぶ捜索医療団ARROWSからの要請により、1月9日～16日及び2月26日～3月4日の2度に渡り、看護師1名を派遣しました。石川県珠洲市を拠点とし、被災者救出支援、避難所支援、物資支援、給水支援等の支援活動を行いました。

高齢者医療センターは、日本看護協会から災害支援ナースの派遣要請があり、2名の看護師が災害支援活動に従事しました。避難所での巡回や発熱・嘔吐・下痢など感染症症状の対応、DMAT・連携、フロアマップの作成など多岐にわたる業務を行いました。

練馬病院は、東京JMATの先発隊として1月9日から12日まで

医師2名、看護師1名、救急救命士1名を派遣しました。また厚生労働省DMAT事務局からの依頼を受け、日本DMAT隊として1月17日から21日まで医師1名、看護師2名、薬剤師1名を派遣しました。

●その他の臨床活動の概要

【順天堂医院】

医療情報システムの更新

令和5年1月に医療情報の基幹システムを富士通からIBMのシステムに更新しました。病床稼働率や空床状況が瞬時に確認できるようになり、今まで以上に効率のよい病床の有効利用が期待されます。また従前では対応できなかった様々なデータの抽出が可能となり、抽出データを活用して、更なる医療の質の向上に努めるとともに、今後も更なる機能向上に取り組んでいきます。

上記システム更新とともに、通院支援アプリ「マイホスピタル」、「あと払いクレジットサービス(あとクレ)」の利用を促進し、快適な受診環境を提供していきます。

病院機能評価受審

9月4日から6日にかけて特定機能病院承認要件を踏まえ、以前より全般的に要求水準が引き上げされた病院機能評価「一般病院3(ver3.0)」を受審しました。日本医療機能評価機構による第三者評価を受けることにより、医療安全、感染対策、高難度新規医療、教育機関としての取り組み、医療連携体制など、自院が取り組むべき様々な課題等を改めて認識し、更なる病院管理体制の充実や医療の質向上につなげていくことができます。今回の受審結果を踏まえて、更に安心安全な医療が提供できるよう取り組みを進めていきます。

総合防災訓練

10月22日に総合防災訓練を実施しました。コロナ禍により訓練を控えていたため、病院全体としては2019年以来4年ぶりの訓練実施となりました。当日は東京湾北部を震源とするマグニチュード7、震度6強の地震が発生したことを想定して、災害対策本部の立ち上げ、多数傷病者の受入トリアージ訓練、炊き出し訓練等を実施しました。施設の被害やインフラの復旧状況等のトラブルへの対応も求められ、大変意義のある訓練となりました。都内においても首都直下型地震の発生が憂慮される状況にあります。万が一の災害が起きた際には被害を最小限にし、途切れることのない医療が提供できるよう、引き続き実践的な訓練に取り組んでいきます。

自衛消防力診断審査金賞受賞

令和5年10月27日に本郷消防署員が来院し「自衛消防力診断審査」が行われました。病院チームを編成し、リハビリテーション室、看護部、放射線部から選手を選出して審査に臨みました。この審査は、各参加事業所に消防署員が出向き火災発生時の自衛消防能力のレベルを評価するものです。当院のチームは、訓練時以上のパフォーマンスを発揮し、見事「金賞」を受賞し、消防署から高い評価を頂きました。

【静岡病院】

増改築工事推進状況

地域医療連携推進法人制度を用いて、令和4年3月に静岡県から56床の増床が認められ、令和5年5月1日より607床、7月1日から630床に増床し運用しています。新棟Ⅱ期棟の竣工及びその後の既存棟改修工事を経て、令和6年度中に633床までの増床を予定しています。

TAVI(経カテーテル弁置換術)治療

令和3年11月よりハイブリット手術室の本格稼働に伴い、令和4年3月22日にTAVI(経カテーテル弁置換術)の実施施設に認定されました。TAVIは、重症大動脈弁狭窄症に対する新しい治療方で、カテーテルを使用して心臓に人工弁を留置します。患者の体への負担が少なく、入院期間が短いのが特徴です。令和4年4月開始から令和6年3月までで、125件のTAVI(経カテーテル弁置換術)を実施しました。

歯科口腔外科

令和5年9月より新しい診療科として、歯科口腔外科を開設しました。関連の診療科と連携し、入院して全身麻酔による手術・放射線治療・化学療法を行う患者を対象とした周術期口腔機能管理を行い、感染症等に対する予防効果により治療の向上を図ります。

地域医療連携推進法人の連携促進

地域包括ケアの実現による地域医療構想実現を目的として、令和3年度に地域の病院により「地域医療連携推進法人 静岡県東部メディカルネットワーク」を立ち上げました。令和5年度は、事務部会において、連携病院間での地域医療連携システム導入に向けた話し合いを行いました。また人事交流を促進し連携強化を図りました。

看護師特定行為研修	
令和5年度は、看護師特定行為研修として新たに「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」を開講し、計8区分23行為(3パッケージ)の研修を行いました。院内10名、院外1名の受講生が特定行為研修を修了し、令和5年度末時点で38名が在籍しています。	
大規模地震時医療活動対応訓練	
令和6年1月29日に院内災害訓練を実施しました。各部署の初動体制及び実効性の確認を行い、院内災害対策本部を中心に院内相互協力体制の円滑化の検証を行いました。訓練終了後にはアンケートにて本部・各部署の対応改善、マニュアルの習熟度を検証しました。また静岡県主催の大規模災害時医療訓練に静岡病院DMATチームが参加しました。	
【浦安病院】	
フットケアセンター及び身体(からだ)機能検査センター開設	
4月1日に「フットケアセンター」を開設しました。近年増加の一途を辿っている下肢血管の動脈硬化に起因する末梢動脈疾患の患者の救済を図るため、専門医と多職種によるチーム医療を展開しています。地域医療機関からの紹介患者の受入れを更に増加するとともに、入院患者に対しても、最新かつ専門的で早期な治療に取り組んでいます。	
また同日「身体(からだ)機能検査センター」を開設しました。当院で行っている様々な生理機能検査を集約し、診療の効率化を図りました。また中央採血室も同センター内に移転し、患者動線や待ち時間が短縮され、患者負担が軽減されるとともに、中央廊下待合席の混雑が改善されました。	
高度救命救急センターの指定	
9月1日に千葉県より県内では2施設目となる「高度救命救急センター」に指定されました。高度救命救急センターは、特に広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊疾患患者を24時間受入れることができる診療機能を有する施設です。当センターの「高度化」指定に当たっては、厚生労働省の「救命救急センター充実段階評価」において5年連続で最高ランク(S)を取得し、多くの重症患者や特殊疾患患者を受入れた実績と、チーム医療を推進する専門性の高いスタッフ、高度な医療設備・機器を有することが評価されました。引き続き人口が密集する周辺地域の高い救急医療需要に応え、安全で質の高い医療が提供できるよう努めます。	
新型コロナウイルスワクチン接種及び厚生労働省安全性調査の実施	
12月19日～21日の期間で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、全教職員を対象に院内集団予防接種を実施しました。また厚生労働省より依頼があった「安全性調査」、浦安市民向けの「個別接種」や「浦安市集団接種会場への問診医師派遣」等、国や市と密接に連携しながら、ワクチン接種事業に積極的に取り組みました。	
電子カルテシステムの更新及び通院サポートアプリ「コンシェルジュ」導入	
12月11日に電子カルテシステムの更新を行い、安全でスムーズな診療が行えるよう機能やセキュリティ面が向上しました。また新たに通院サポートアプリ「コンシェルジュ」を導入し、スマートフォンで次の受診日や検査予約日時、診察状況などが確認可能となる等、通院支援ツールとして患者サービスの向上を図りました。	
MRI装置の更新	
12月11日に、老朽化したMRI装置をGE社製のMRI(3.0T)へ代替しました。この装置では、一部の撮影において非常に静かな撮影(サイレント・スキャン)が可能となりました。またAI(人工知能)を用いた画像再構成技術の向上により、従来に比べて短い時間でも雑像の少ない画像が得られるようになりました。画像解像度の向上や疾患のない人が健康であると評価する指標(診断能)の向上が期待できます。	
【順天堂越谷病院】	
広報活動の強化	
広報活動の一環として、健康講座を毎月開催するとともに、医師や診療支援部門からの動画をオンデマンド形式でいつでも視聴できるよう対応しています。病病連携、病診連携の一環として、医療連携だよりを新たに作成し、近隣医療機関に送付しました。診療日割表、診療科案内のリーフレットを東部二次医療圏を中心に送付し、医療連携の強化に努めています。	
医療観察法への協力	
心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関として、さいたま保護観察所と連携して、対象患者の社会復帰に向けて地域精神医療への貢献を図っています。	

東京出入国在留管理局への協力	
東京出入国在留管理局からの要請で、収容されている外国籍の方の精神症状に係る治療相談があり、医療保護入院による治療を3カ月間実施しました。	
【順天堂東京江東高齢者医療センター】	
医療連携強化	
最新の診療ガイドライン及びエビデンスと医療情報の提供を目的とした「高齢者医療に関するWEB学術講演会」を近隣3区の医師向けに毎月1回実施しています。当院の認知症疾患医療センターは東京都内12か所の地域拠点型認知症疾患医療センターの1つとして、東京都の指定を受けており、医師、看護師等の地域医療従事者への認知症ケアの研修会や患者、家族、医療従事者の交流会等を実施しました。	
精神病棟入院基本料(10:1)	
精神病棟の平均在院日数を40日以内に短縮し、精神病棟入院基本料(13:1)から精神病棟入院基本料(10:1)に変更しました。認知症患者及び身体合併症を持った認知症患者を数多く受け入れました。	
地域医療体制確保加算	
救急患者の受入れを強化し、年間2,000台以上の救急車を受入れたことにより、令和6年度から地域医療体制確保加算が算定可能となりました。	
紹介受診重点医療機関の認定	
8月1日より紹介受診重点医療機関に認定されました。併せて2月1日より初再診時の選定療養費を変更しました。	
スマートフォンによる診察待ち状況の確認	
外来の診察待ち状況が自分のスマートフォンで確認できるようになりました。	
血管撮影装置の更新	
8月に血管撮影装置を更新しました。月間約35件の検査を実施しており、今まで以上に質の高い検査が可能となりました。	
【順天堂練馬病院】	
東京都救命救急センター(三次救急)の指定	
開院以来、地域に根差した救急医療体制の整備に貢献してきた結果、令和5年3月20日より東京都救命救急センター(三次救急)に指定されました。指定後も病院全体を挙げた受入体制の構築により、大きな混乱もなく、三次選定の救急車を1,400台超、初療患者も含めると11,000件超の救急患者を受入れました。	
看護師による特定行為研修・修了者の輩出	
令和4年8月に厚生労働省「特定行為研修指定研修機関」として認定を受け、特定行為研修を開始しました。令和5年10月に、1期生(術中麻酔管理領域他)6名が修了いたしました。地域医療の発展や働き方改革への貢献が期待される中、新たなユニフォームをまとい、研修の成果を手術室や病棟で発揮しています。来季以降の特定行為研修では、後任を育てる指導者としても活躍し、教育機関としての充実も図る予定です。	
東京DMAT病院に指定	
東京都救命救急センターへの指定に伴い、令和6年3月付で東京都より災害医療派遣チーム東京DMAT指定病院に認定されました。それに伴い、災害時医療支援車両(DMATカー)を貸与されました。今後も、災害医療体制の充実に貢献していきます。	
認知症施策の連携、自殺未遂者等支援事業に関する協定を締結	
令和6年3月に地域医療施策への協力の一環として「認知症施策の連携」及び「自殺未遂者等支援事業」の運営に関する協定を練馬区と締結しました。認知症施策では、練馬区が実施する検診において、認知機能低下など、更に詳しい検査や診断が必要な方に対して、当院での受診を受け入れるなど行政と連携した取り組みを行います。自殺未遂者に対する支援については、自殺企図で当院に搬送された方やそのご家族の相談に応じ、関係機関に繋ぐなどの支援を行います。	

17 国際交流活動

【大学交流協定について】

パーベチュアル・ヘルプ大学(フィリピン)、バサディナシティカレッジ(アメリカ)、フランス国立東洋言語文化学院(INALCO)(フランス)と協定を新たに締結し、協定機関は28カ国／地域、83機関となりました。

海外協定校一覧



【学術交流について】

大学間交流イベント等を開催しました。

開催日	相手先	内容
5月25日	蘭州大学第二医院 (中国)	同医院関係者来訪・協議
6月 6日	中日友好医院 (中国)	同医院関係者来訪・協議
7月25日	中国人民解放軍空軍軍医大学 (中国)	同大学関係者来訪・協議
8月 3日	マヒドン大学 (タイ)	同大学関係者来訪・協議
8月10日	北京大学 (中国)	同大学人民委員関係者来訪・協議
9月13日	中日友好医院 (中国)	同医院関係者来訪・協議
10月11日	北京大学 (中国)	第9回順天堂大学-北京大学国際学術シンポジウム
10月19日	中国国家衛生健康委員会人材交流服務センター (中国)	同センター関係者来訪・協議
10月19日	浙江大学 (中国)	同大学関係者来訪・協議
10月31日	大連医科大学 (中国)	同大学関係者来訪・協議
11月14日	中国国家衛生健康委員会 (中国)	同委員会関係者来訪・協議
11月16日	北京体育大学 (中国)	同大学関係者来訪・協議
11月28日	中山大学 (中国)	同大学関係者来訪・協議

【留学生の研修・交流活動について】

「留学」の在留資格を有する長期外国人留学生は23カ国／地域から合計230名在籍しました。

○ 外国人留学生【在留資格:留学】（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

No	国／地域名	人数	No	国／地域名	人数	No	国／地域名	人数
01	中国	182	09	インドネシア	2	17	コンゴ民主共和国	1
02	韓国	6	10	ネパール	2	18	コンゴ共和国	1
03	台湾	6	11	ベトナム	2	19	イギリス	1
04	ミャンマー	4	12	モンゴル	2	20	モンゴル	1
05	メキシコ	4	13	バングラデシュ	1	21	タイ	1
06	ウズベキスタン	3	14	オランダ	1	22	ブータン	1
07	タイ	3	15	インド	1	23	ルーマニア	1
08	マレーシア	3	16	ブラジル	1	合計:23カ国／地域 230名		

※学部生、大学院生(修士・博士)、外国人研究生、特別研究学生

○ 外国人短期研修生 （令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

No	国／地域名	人数	No	国／地域名	人数	No	国／地域名	人数
01	タイ	55	18	オマーン	4	35	ベトナム	1
02	ドイツ	36	19	イタリア	3	36	台湾	1
03	台湾	33	20	香港	3	37	ペルー	1
04	日本*	25	21	マレーシア	3	38	メキシコ	1
05	韓国	21	22	イギリス	2	39	パプアニューギニア	1
06	中国	41	23	クウェート	2	40	ベルギー	1
07	イギリス	18	24	デンマーク	2	41	オランダ・イギリス	1
08	オーストラリア	16	25	スペイン	1	42	サウジアラビア・イギリス	1
09	アメリカ	15	26	ブラジル	1	43	イギリス・日本	1
10	マレーシア	12	27	中国	1	44	ブラジル・アメリカ	1
11	フィリピン	10	28	シンガポール	1	45	南アフリカ・ドイツ	1
12	フランス	9	29	アイルランド	1	46	日本・アメリカ	1
13	ウクライナ	7	30	香港	1	47	ドイツ・イギリス	1
14	シンガポール	6	31	ブルガリア	1	48	タイ・アメリカ	1
15	ポーランド	5	32	ハンガリー	1	49	イタリア・ブラジル	1
16	ニュージーランド	5	33	インドネシア	1			
17	オーストリア	4	34	ブラジル	1	合計：43カ国／地域 362名		

*海外の大学に在籍する日本人学生

【海外への学生派遣について】

各学部・研究科において、合計247名(延べ人数・実人数は244名)の学生が20カ国／地域に留学(短期・長期)しました。

学部・研究科	渡航先	人数	渡航先	人数
医学部	アメリカ合衆国	28	イタリア	1
	タイ	4	オーストラリア	1
	イギリス	3	カナダ	1
	シンガポール	2	中国	1
	アイルランド	1	フランス	1
医学研究科	アメリカ合衆国	3	タイ	1
	カナダ	1	フランス	1
	カンボジア	1	メキシコ	1

学部・研究科	渡航先	人数	渡航先	人数
スポーツ健康科学部	フィリピン	12	韓国	2
スポーツ健康科学研究科	マレーシア	6	韓国	2
	フランス	2	オーストラリア	1
医療看護学部	アメリカ合衆国	3	イギリス	12
国際教養学部	フィリピン	58	オーストラリア	4
	タイ	19	ニュージーランド	3
	アメリカ合衆国	17	アイルランド	1
	フランス	10	デンマーク	1
	カナダ	5	フィンランド	1
	台湾	5	マルタ	1
保健医療学部	台湾	17	カナダ	3
医療科学部	カンボジア	11	タイ	12
合計：20カ国／地域 259名(延べ人数・実人数：256名)				

【国際研究活動について】

● 順天堂大学教員のサバティカル研修について

教員のサバティカル研修制度を実施しています。サバティカル研修とは、教育・研究の遂行に必要な資質の向上を図るため、教員自らが研究目標を定めて一定の期間にわたり国内外の教育・研究機関において研究活動に専念する研修のことを指します。海外で学位を取得した研究者や海外での教育研究歴を有する者の獲得、または若手教員のキャリア支援にとって有効な制度の一つと

して考えられており、国内外の多くの大学が取り入れています。本学にとって、国際化を推進し、優秀で多様な人材を育成・確保していくことは喫緊の課題となっています。また優秀な若手教員のグローバル・ファカルティ・ディベロップメントのニーズに応えることは本学の発展に欠かせません。令和5年度は医学部5名を派遣しました。

18 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業	私立大学等研究設備整備費等補助金・私立学校施設整備費補助金
令和5年度文部科学省「科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金)」(同省令和5年8月公表)の新規採択率は33.1%、採択件数は755件(継続含む)で私立大学620校中、採択件数・配分額ともに第3位となりました。本学の研究活性化に伴い採択件数、配分額ともに増加基調が続いています。	令和5年度文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)」に大学院医学研究科研究基盤センター共同研究・研修室(Ⅰ)から事業申請した研究設備「シングルセル分注機 CellenONE システム」及び医療看護学部から事

業申請した教育基盤設備「分娩台マミージョイ」が採択されました。また令和5年度私立学校施設整備費補助金(私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費)に本郷地区情報センターから申請したICT活用推進事業「本郷・お茶の水キャンパスICT活用推進事業」が採択されました。これらの研究設備・教育基盤設備・ICT環境を活用し、更なる教育研究の充実を図ります。

ダイバーシティ研究環境 実現イニシアティブ(連携型)

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」に採択されました。東京医科歯科大学と連携して行う本事業では、女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備を実施し、女性研究者の研究力向上のための取組として、オンラインにて合同シンポジウム等を開催しました。ライフイベントにより研究中断、あるいは離職した女性研究者の復帰・復職支援及び女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組を行い、「グローバル女性リーダーの育成・輩出」と「医療系大学における女性上位職登用促進モデルの構築」を実現するため、数値目標を掲げ、独自のアイデアで全学を挙げ取組んでいます。

研究拠点形成費等補助金事業

令和5年度文部科学省研究拠点形成費等補助金「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」(代表校:東京医科歯科大学、連携校:順天堂大学、慶應義塾大学、国際医療福祉大学、東海大学、東京歯科大学、東京薬科大学)が採択されました。本事業では、①現場で顕在化している課題、②予防の推進、③新たな治療法の開発、というがん医療のテーマを解決するため「専門的な多職種人材」の養成を目的としています。本事業の特色は首都圏の7大学においてチーム医療が実践できる多職種のがん専門医療人の養成プランを開発し、がんの予防、診断・治療、個別化医療、痛みのケア、サバイバーのケアなど全てのステージにおいて集学的治療が提供できる体制を我が国に構築することを目指しています。

統計エキスパート人材育成プロジェクト

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所が中核機関となる令和5年度文部科学省人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金「統計エキスパート人材育成プロジェクト」の参画機関として、大学院生等に対してデータ分析等の基礎となる統計学の講義や統計活用研究の指導を行うことができる「大学統計教員」を育成します。これらの教員が中核となり、さらに全国の大学等で「統計エキスパート」を育成する体制の構築を目指します。

地域中核・特色ある研究大学施設整備事業

令和5年度に地域中核・特色ある研究大学 施設整備事業(令和4年度文部科学省補正予算)(提案大学:順天堂大学、連携機関:山梨大学)に採択されました。本事業では、「高齢者を加齢性疾患から守った上で、若年者を含む全世代の生活向上と健康増進を図る」という地球規模の社会課題の解決のため、順天堂大学は、臨床に直結する神経科学研究全般分野の特色ある実績を活かし、当該分野のパラダイムシフトに関わる重要な学際領域であるグリア細胞研究に実績を有する山梨大学と連携し、世界トップクラスの研究力の向上、拠点発スタートアップの創出を目指し、変革に対応しうる人材を育成し、この若手人材を核とした新たな当該研究領域における産学官連携ハブとして相補的な機能を有する拠点施設ニューロン・グリア クロストークセンター順天堂(NGCC 順天堂)を本郷・お茶の水キャンパスエリアに整備し、山梨大学が整備するニューロン・グリア クロストークセンター山梨(NGCC 山梨)と強固に連携します。令和5年度は新築工事基本計画、基本設計、実施設計および既存ISOビルの解体工事を実施し、新築工事の請負契約を締結しました。

JST 共創の場形成支援事業(COI-NEXT)

令和5年度にJST共創の場形成支援事業(COI-NEXT)の共創タイプ・育成型「災害など危機的状況から住民を守るレジリエントな広域連携医療拠点」(代表機関:順天堂大学、参画機関:千葉大学、山梨大学、群馬大学、福島県立医科大学、企業等:18社、自治体:東京都、文京区、山梨県、南アルプス市、群馬県、御前崎市)として採択されました。本事業では、5大学が連携することにより広域連携医療拠点を構築し、東日本大震災等の長期的な調査研究から得られた様々な知見に基づき、災害後の亜急性期から中長期における住民の健康課題を解決する技術を開発することにより、災害など危機的状況から住民を守る豊かで強靱な社会を築くことを目指します。令和6年度中の育成型から本格型への昇格に向け、ビジョン、ターゲット、研究開発課題の洗い出しとブラッシュアップを図っており、10年後、20年後にありたい社会を築くためのバックキャスト型の研究開発に取り組んでいます。

19 教育研究施設・設備の充実

【本郷・お茶の水キャンパス】

留学生寮新築工事

国際化をより一層推進すべく、本郷・お茶の水キャンパス近傍に留学生寮を新築しています。令和6年8月に竣工予定です。



【さくらキャンパス】

第3体育館(小川スーパーアリーナ) 竣工

令和5年7月末日に可動床式50mプールとアリーナ、診療所を内包する第3体育館(小川スーパーアリーナ)が完成しました。実技実習授業や部活動のみならず公式戦の会場としても活用さ

れています。9月には水球日本代表(ポセイドンジャパン)の合宿地に採用されました。



陸上競技部駅伝寮竣工

順天堂大学スポーツ健康科学部陸上競技部駅伝寮が令和6年3月28日に竣工しました。この駅伝寮の完成により、厳しい練習

に励む学生アスリートを暮らしから支え、更なるチームの強化を目指し、「捲土重来」を果たします。



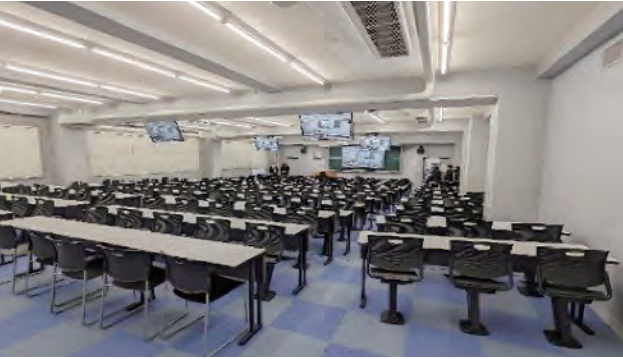
2号館11番12番教室改修工事

令和6年3月に2号館1階の11番・12番教室を改修しました。昭和63年のさくらキャンパス移転時に習志野キャンパスから移設

して使用し続けてきた什器や旧式のAV・ICT機器を更新するとともに床材の貼替えも実施し、明るく快適な学修環境が整いました。



改修前



改修後

【浦安キャンパス】

A棟空調設備更新工事

34年余り使用してきた中央熱源設備に代わり、高効率の空調設備への更新工事を実施しています。これにより良質な学修環境の提供が担保されるとともに、省エネルギー化が図られます。



【三島キャンパス】

2号館新築工事

三島キャンパス2号館が令和6年3月に竣工しました。新校舎1階には大教室(3室)、2階にはラーニングcommons、演習室(8

室)、3階には屋内運動場、多目的スペースが設置され、学生の活動スペースが拡充され、講義等での幅広い活用を予定しています。



【浦安・日の出キャンパス】

Ⅱ期校舎(2号館)及びⅢ期校舎(3号館・4号館)整備

浦安・日の出キャンパスⅡ期校舎(2号館)が令和5年7月に竣工しました。2号館は健康データサイエンス学部が主に使用する校舎で、ラーニングcommonsや学術メディアセンター等、キャンパス共用施設が整備されました。屋上には太陽光発電設備を備え、エコキャンパスに取り組んでいます。またⅢ期校舎(3号館・4号館)を新築しています。令和6年4月に開設される薬学部が主に使用し、各種実習室等が整備されます。令和7年1月に竣工予定です。



20 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 浦和美園新キャンパス(仮称)整備事業

新病院は、医療DXを活用した未来型基幹病院の構築を基本方針として、医療環境を取り巻く重要な課題である「働き方改革」への対応や医療の質の向上と全ての利用者が満足できる魅力的な医療環境を実現させます。現在、浦和美園新病院・学部等設立準備委員会を中心に、関係各署と連携しながら、分科会、タスク



全景パース(正面)



浦和美園新キャンパス

(2) 旧元町小学校の整備と元町公園との一体的活用整備事業

令和7年4月1日の施設開設に向け、令和6年3月時点で地上2階までの躯体工事が順調に進んでいます。本事業は官民協働で運営し、これまで育んできた元町の歴史を継承しつつ、人々が長く健やかに暮らすための拠点として健康をテーマとした様々な事業を展開するため開設に向け準備を進めています。この施設では、多様な保育施設による子育て支援、幅広い世代の方がつながる交流スペースづくりや、新しい医療機器/技術の開発、子ども

から高齢者まで楽しめるスポーツプログラムの実施、健康に配慮したカフェレストラン運営などを行い、有事の際には災害拠点としての機能を兼ね備えています。

施設名称については、令和5年に学内及び元町在住者へ名称募集を行った結果もっとも多くの票を獲得した「元町ウェルネスパーク」に決定いたしました。



完成時のイメージパース



正面入口の受付・ホワイエイメージパース

21 スポーツ分野での活躍

●全国大会での活躍

【陸上競技】

陸上競技部は第92回日本学生陸上競技対校選手権大会で3年連続31回目の優勝を果たしました。日本タイ記録(学生新記録)をマークした110m障害の村竹ラシッド選手(スポーツ健康科学部4年)をはじめとする活躍で2位以下に大差をつけての3連覇でした。



陸上競技部 男子総合3連覇31回目

【体操競技】

体操競技部は第77回全日本学生体操競技選手権で4連覇14回目の優勝を果たしました。

橋本大輝選手(スポーツ健康科学部4年)は男子史上初の個人総合で4連覇を達成し、個人総合2位には谷田雅治選手(スポーツ健康科学部1年)が入り、団体4連覇に貢献しました。女子も過去最高の団体2位になりました。



体操競技部 男子総合4連覇14回目

【スカッシュ】

スカッシュ部は第49回全日本学生スカッシュ選手権大会団体戦で、男子・女子ともに関東インカレに続き優勝して、男子は7大会連続14回目、女子は3大会連続12回目の優勝を果たしました。



スカッシュ部 男子7連覇 女子3連覇

【バレーボール】

バレーボール部男子が全日本大学選手権大会(全日本インカレ)で2年ぶりに準優勝を果たし、ハンドボール部は男女ともに関東学生ハンドボールリーグ戦で1部昇格するなど今後が楽しみな結果を残しました。



バレーボール部男子 準優勝

●パリオリンピック・パラリンピックに向けて世界の舞台で活躍

【体操競技】

世界体操競技選手権(ベルギー・アントワープ)に橋本大輝選手、萱和磨選手(セントラルスポーツ所属・スポーツ健康科学研究科博士後期課程3年)、本学OBの千葉健太選手(2019年卒・セントラルスポーツ)が男子団体総合で金メダルを獲得しました。男子個人総合では橋本大輝選手が史上4人目(日本人2人目)となる連覇を果たしました。

また女子団体総合には宮田笙子選手(スポーツ健康科学部1年)が出場し、高い演技力で日本代表8位に貢献。種目別跳馬で個人6位入賞を果たしました。

【陸上競技】

第19回世界陸上競技選手権大会(ハンガリー・ブタペスト)で、三浦龍司選手(スポーツ健康科学部4年)が男子3000m障害で日本人初の6位入賞を、本学OBの泉谷駿介選手(2022年卒・住友電工)は男子110mハードルで5位入賞を果たしました。女子20km競歩では梅野倭子選手(スポーツ健康科学部3年)が、男子5000m予選に本学OBの塩尻和也選手(2019年卒・富士通)が、それぞれ世界選手権初出場で善戦しました。



日本人初の6位入賞の三浦龍司選手

【パラアスリート】

アジアパラ競技大会(中国・杭州)で荻原虎太郎選手(スポーツ健康科学部3年、セントラルスポーツ)は競泳の男子4×100mフリーリレーで銀メダル獲得に貢献、男子100m背泳ぎ(運動機能障害:S8)でも銅メダルを獲得。陸上競技で石山大輝選手(大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程1年)は男子走幅跳び(視覚障害:T12)と男子100m(同)でそれぞれ銅メダルを獲得。山崎晃裕選手(さくらキャンパス職員)は男子やり投げ(上肢障害:F46)で日本選手トップの5位入賞を果たしました。本学の学部生・OB・職員のアスリートが、パリのオリンピック・パラリンピックを目指します。



個人総合連覇の橋本大輝選手



高い演技力で貢献の宮田笙子選手



自己記録更新の石山大輝選手

22 高大連携の取組

本学は高等学校との連携事業を積極的に進めています。大学教員による出張講義や大学生と高校生の共同授業などの相互交流を通じて、高校生が将来を見据えた進路を選択する際に、それらの経験が一助となることを願い、様々な取組を行っています。令和5年度は17の高等学校と高大連携に関する協定を締結し、

【令和5年度連携協定締結校】

協定締結日	高等学校名
5月 2日	宝仙学園高等学校
5月10日	湘南白百合学園高等学校
6月19日	八千代松陰高等学校
6月30日	習志野市立習志野高等学校
7月25日	昭和女子大学附属昭和高等学校
8月 4日	静岡県立荏山高等学校
8月28日	桜蔭高等学校
9月30日	昭和学院高等学校
10月 3日	立川女子高等学校
10月 6日	藤村女子高等学校
10月30日	本郷高等学校
11月29日	茗溪学園高等学校
12月 7日	春日部共栄高等学校
1月26日	明法高等学校
3月 4日	洛星高等学校
3月 6日	広尾学園高等学校
3月29日	日本女子大学附属高等学校

協定校は30校となりました。相互の交流を通じて高等学校の生徒たちの視野を広げ、学習意欲を高めるとともに、大学教育と高等学校教育との連携を図り、互いの教育の更なる活性化を目指しています。

【高大連携取組事例】



高校OBの教員による講義



大学の設備を使用した心肺蘇生体験



日本医学教育歴史館での学修



高校OB・OGの大学生との交流会

23 中期的な計画の進捗・達成状況及び令和6年度事業計画策定

1. 中期的な計画の進捗・達成状況について

令和2年度から令和6年度までの事業に関する中期的な計画に対する当期の実施状況をホームページに公表しました。
(<https://www.juntendo.ac.jp/about/pr/information/>)

2. 令和6年度事業計画について

健康総合大学としての教育・研究・臨床の更なる向上を図るために、次の事項を令和6年度事業計画として策定しました。

【教育に関する計画】

- (1) 学部広報活動の一環として、高等学校との連携(高大連携)事業を積極的に推進するとともに、入学試験改革を継続し、外国人を含めた多様な学生の受け入れと志願者数の増加を図る。(高大連携協定校50校を目指す)
- (2) 健康データサイエンス学部と連携して全学で数理・データサイエンス・AI教育に取り組み、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル、令和5年度文部科学省認定)」の更なる質の向上を図るとともに、応用基礎レベルの認定取得に向けてプログラムの拡充を図る。
- (3) 学修者本位の教育に向けて教育プログラムの点検、改善を進め、教育の質保証向上に資する教学マネジメントシステムの整備に取り組むとともに、FD・SD研修の充実を図る。
- (4) 全学教育の推進を図る機構を設置し、全学共通教育の企画開発と実施推進を展開し、学生の主体的な学修に関する支援を行う。
- (5) 教育課程に応じ、学生の学修成果をIR(Institutional Research)データを活用して、適切に把握・評価することができる評価方法や指標を導入する。
- (6) 本年4月開学の薬学部円滑な立ち上がりを図り、引き続き教育研究施設の整備を進める。
- (7) 個別対応によるキャリア支援・就職支援の一層の充実を進めるとともに、教職課程センターを中心に教職の順大としてのブランド力アップを目指し、教員採用試験の合格者数アップを図るための支援体制を強化する。

【研究に関する計画】

- (8) 基礎研究及び臨床研究の基盤強化・充実を図り、学内外の機関との共同研究の強化・産学連携の推進(共同研究、寄付講座・共同研究講座の設置、70講座を目指す)を図り、科学研究費補助金等の競争的研究費獲得(令和5年度科研費実績16.5億円の上乗せを目指す)について、URAを中心とした研究支援を組織的に行うとともに、その成果を国内外に広く広報する。
- (9) 若手研究者の育成と女性研究者躍進のための支援の充実を図る。

- (10) 研究不正防止体制の拡充として、各部門でのコンプライアンス教育、研究倫理教育等の研究不正防止体制を拡充し、研究の国際化に対応するために、安全保障輸出管理体制の効果的な運用を組織的に行う。
- (11) 世界トップクラスの研究力の向上と研究拠点発スタートアップの創出を目指し、変革に対応しうる若手人材を育成する。
- (12) オープンイノベーション(GAUDI)を推進し、産学連携による知の拠点としてイノベーションを創出するための体制強化を図る。

【社会貢献・社会連携に関する計画】

- (13) 公開講座やプレスリリース、オウンドメディア等、多彩な媒体の特徴を活かした広報活動を通して教育研究活動の情報の発信を展開する。
- (14) 公立中学校における運動部活動の地域移行化に対応すべく地方自治体との連携を密にし、運用開始を目指す。

【国際化に関する計画】

- (15) 国際化の推進を図り、世界各国・地域からの留学生の一層の増員を推進する。その取組として、①留学生受け入れのための教育・居住環境の整備と経済的支援 ②留学生や外国籍研究者に対する日本語学習支援を拡充する。
- (16) 研究者の国際交流活動を推進し、海外の研究機関等との連携協定締結に向けた諸活動を推進する。
- (17) 本学学生の国際化を図るため、各学部横断的な情報共有を行い、効果的な留学プログラムや支援制度を検討する。

【臨床に関する計画】

- (18) 病床稼働率の向上を図るとともに、医療経費をはじめとする経費の効率的使用により病院運営基盤の強化を図る。
- (19) 救急医療体制の整備と充実を推進する。
- (20) 高度先進医療の更なる充実と地域医療への貢献を軸として各附属病院の特色を活かした医療を実践する。
- (21) 海外から高度先進医療を求めて受診する患者に対し、国籍による差別なく対応を行い、患者増を図る。
- (22) 医師の働き方改革を適正に運用し、タスクシフト／シェアを進める。
- (23) 附属病院の医療情報システムから得られる臨床データの活用基盤整備を推進する。

【管理運営に関する計画】

- (24) 財の独立なくして学の独立なしをキーワードに、安定した財政基盤の確立を目指す。
- (25) 教学及び医療をはじめとする様々な業務について、DXを推進するための人材育成、データドリブンに基づいた意思決定、生成系AIを用いて、更なる業務の最適化、効率化を図る。
- (26) 首都圏直下地震の発生を想定し、危機管理体制の更なる改善と被災時に教職員が適切な対応がとれるよう訓練に努める。
- (27) 地球環境保護のため、4R(Reduce, Reuse, Recycle, Replace)を実践するとともに、2030年に全拠点CO2排出量の2013年比46%削減を目指して、CO2削減に取り組む。

【キャンパス・ホスピタル再編事業】

- (28) 埼玉浦和美園新病院開設に向けて着実に準備を進める。
- (29) 越谷病院の再編計画の検討を進める。
- (30) 旧元町小学校再編事業を計画通り進める。

24 令和5年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)		(単位:百万円)		
科 目	補正後予算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	12,560	12,533	27	
手数料収入	622	649	△ 27	
寄付金収入	1,252	1,380	△ 128	
補助金収入	9,547	9,418	129	
資産売却収入	4	18	△ 15	
付随事業・収益事業収入	6,572	7,400	① △ 828	
医療収入	179,090	177,961	1,129	
受取利息・配当金収入	166	175	△ 8	
雑収入	2,523	2,918	② △ 395	
借入金等収入	400	400	0	
前受金収入	3,320	3,691	△ 371	
その他の収入	37,112	36,719	393	
資金収入調整勘定	△ 38,930	△ 36,237	△ 2,693	
① 当年度資金収入合計	214,239	217,026	△ 2,787	
前年度繰越支払資金	71,665	71,665	△ 0	
収入の部合計	285,904	288,690	△ 2,787	

(支出の部)		(単位:百万円)		
科 目	補正後予算	決 算	差 異	
人件費支出	74,471	73,956	515	
教育研究経費支出	32,518	32,532	△ 14	
医療経費支出	83,683	84,591	△ 908	
管理経費支出	6,031	6,019	12	
借入金等利息支出	30	22	8	
借入金等返済支出	880	880	0	
施設関係支出	20,779	18,146	① 2,633	
設備関係支出	9,773	8,998	② 775	
資産運用支出	1,550	1,542	8	
その他の支出	17,114	18,036	△ 922	
予備費	1,648	0	1,648	
資金支出調整勘定	△ 13,367	△ 15,761	2,395	
② 当年度資金支出合計	235,109	228,961	6,148	
次年度繰越支払資金	50,794	59,729	△ 8,935	
支出の部合計	285,904	288,690	△ 2,787	

③ 当年度資金収支差額	△ 20,871	△ 11,936	△ 8,935
-------------	----------	----------	---------

- ①当年度資金収入合計
- ・予算と比較し、約28億円上回り、約2,170億円となりました。
- 【主な要因】
- ① 企業等からの受託事業収入や特許権等収入が増加したことにより、付随事業・収益事業収入が約8億円上回りました。
- ② 公的資金に係る間接経費や私立大学退職金財団交付金収入が増加したことにより、雑収入が約4億円上回りました。

- ②当年度資金支出合計
- ・予算と比較し、約61億円下回り、約2,290億円となりました。
- 【主な要因】
- ① ② 施設工事の実施・医療機器の購入などの設備投資が翌年度以降に繰り延べになったため、施設関係支出が約26億円、設備関係支出が約8億円下回りました。

- ③当年度資金収支差額
- ・予算と比較し、約90億円上回り、約△119億円となりました。

(2) 事業活動収支計算書

(単位:百万円)						
教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	R05年度決算	R04年度決算	差 異	
		学生生徒等納付金	12,533	11,714	① 819	
		手数料	649	575	74	
		寄付金	1,370	1,503	△ 133	
		経常費等補助金	8,640	13,995	△ 5,354	
		付随事業収入	7,400	7,010	390	
		医療収入	177,961	170,637	② 7,325	
		雑収入	2,929	3,537	△ 608	
		① 教育活動収入 計	211,483	208,971	2,512	
	事業活動支出の部	人件費	74,865	72,266	① 2,600	
		(退職給与引当金繰入額)	(3,140)	(3,220)	(△ 80)	
		教育研究経費	48,945	47,679	1,265	
		(減価償却額)	(16,412)	(15,558)	(854)	
		医療経費	84,382	77,448	② 6,935	
		管理経費	6,746	6,541	205	
		(減価償却額)	(779)	(800)	(△ 21)	
		徴収不能額等	62	129	△ 67	
		② 教育活動支出 計	215,001	204,063	10,938	
	教育活動収支差額		△ 3,518	4,909	△ 8,427	
教育活動外収支	収入の部	事業活動	受取利息・配当金	150	126	23
		その他の教育活動外収入	0	4	△ 4	
		教育活動外収入 計	150	130	20	
	支出の部	事業活動	借入金等利息	22	11	11
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出 計	22	11	11	
		教育活動外収支差額	127	118	9	
③ 経常収支差額		△ 3,390	5,027	△ 8,418		
特別収支	収入の部	事業活動	資産売却差額	0	0	△ 0
		その他の特別収入	1,014	668	346	
		特別収入 計	1,014	668	346	
	支出の部	事業活動	資産処分差額	63	39	24
		その他の特別支出	51	41	10	
		特別支出 計	114	80	34	
		特別収支差額	900	588	312	
予備費		0	0	0		
④ 基本金組入前当年度収支差額		△ 2,491	5,615	△ 8,106		
基本金組入額合計		△ 25,369	△ 17,501	△ 7,868		
当年度収支差額		△ 27,859	△ 11,886	△ 15,973		
前年度繰越収支差額		△ 122,609	△ 110,723	△ 11,886		
基本金取崩額		0	0	0		
翌年度繰越収支差額		△ 150,469	△ 122,609	△ 27,859		
(参考)						
事業活動収入 計			212,647	209,769	2,878	
事業活動支出 計			215,137	204,154	10,984	

- ①教育活動収入
- ・前年度と比較し、約25億円増加し、約2,115億円となりました。
- 【主な要因】
- ① 新学部の開設や学生定員の増加により、学生生徒等納付金が約8億円増加しました。
- ② 高度先進医療を推進したことにより、医療収入が約73億円増加しました。

- ②教育活動支出
- ・前年度と比較し、約109億円増加し、約2,150億円となりました。
- 【主な要因】
- ① 診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことなどにより、人件費が約26億円増加しました。
- ② 医療収入の増加に伴い薬品費や診療材料費が増加したことにより、医療経費が約69億円増加しました。

- ③経常収支差額
- ・教育活動支出が教育活動収入以上に増加したことにより、前年度対比で約84億円減少し、約△34億円となりました。

- ④基本金組入前当年度収支差額
- ・経常収支差額が減少したため、前年度対比で約81億円減少し、約△25億円となりました。

負債及び純資産の部合計	353,961	357,664	△3,703
-------------	---------	---------	--------

① **資産の部合計**

・前年度対比で約37億円減少し、約3,540億円となりました。

【主な要因】

① 浦安・日の出キャンパスや三島キャンパスでの新講義棟の建設、静岡病院のH棟Ⅱ期工事など各施設での再編事業の進行や教育・研究・臨床用機器の取得、医療情報システムの更新等により支払いが増えたため、流動資産のうち現金預金 が約119億円減少しました。

②負債の部合計

・前年度対比で約12億円減少し、約718億円となりました。

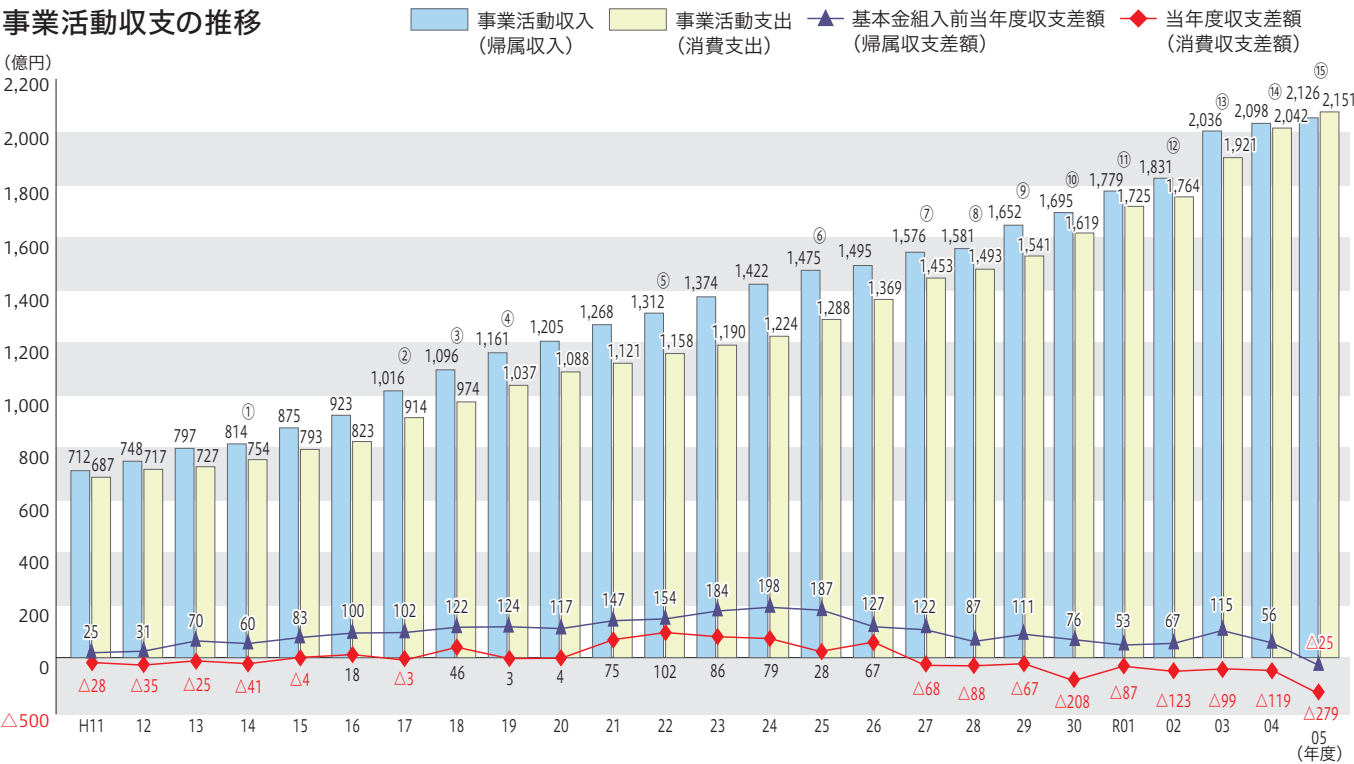
【主な要因】

① 教育研究経費や施設・設備関係支出の支払いで期をまたぐものが減少したことにより、流動負債のうち、その他の流動負債が約12億円減少しました。

③純資産の部合計

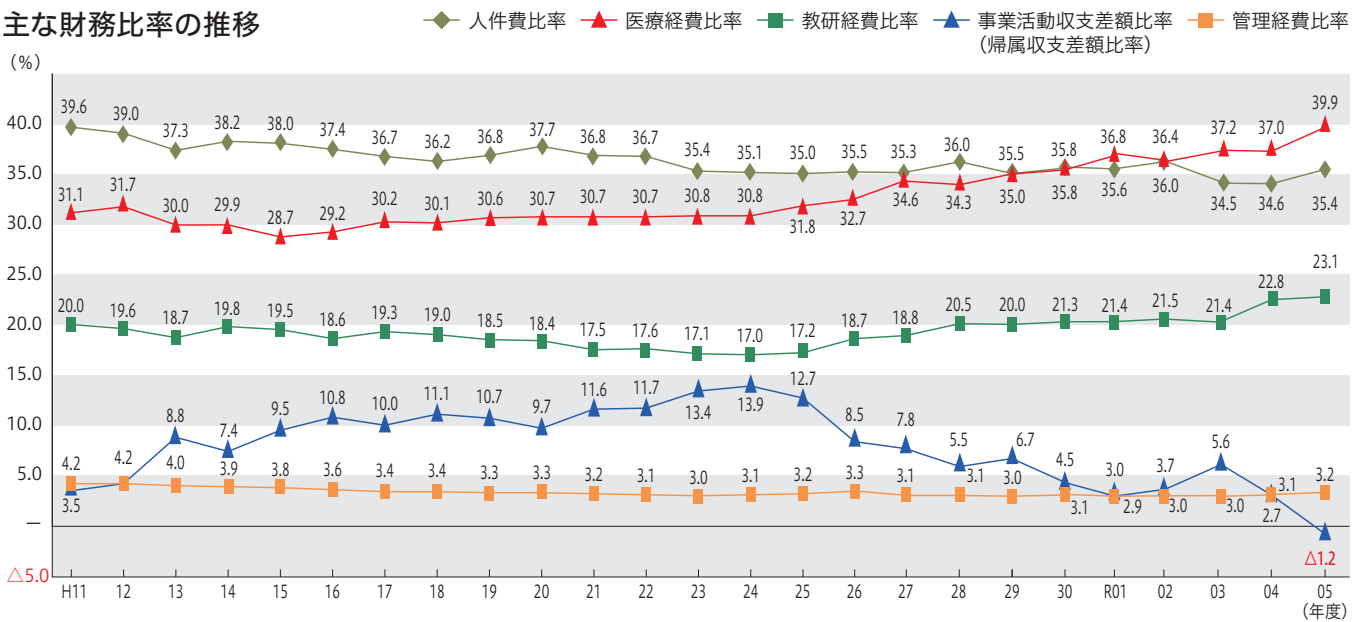
・事業活動収支計算書の基本金組入前当年度収支差額が約△25億円となったことにより、約2,821億円となりました。

25 財務状況の推移



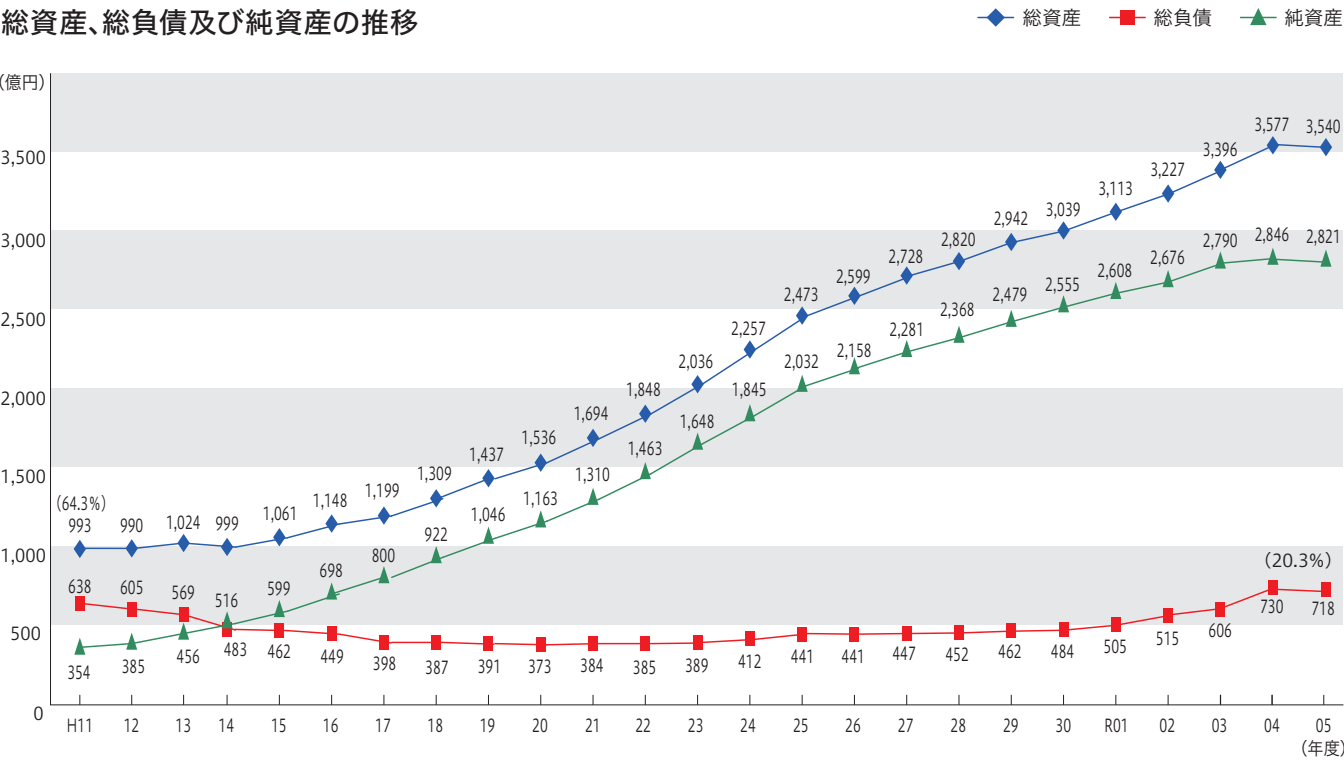
教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

①平成14年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院 ②平成17年度 練馬病院開院 ③平成18年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工 ④平成19年度 スポーツロジセンター設立 ⑤平成22年度 保健看護学部開設 ⑥平成25年度 順天堂医院B棟Ⅰ期竣工 ⑦平成27年度 国際教養学部開設 ⑧平成28年度 順天堂医院B棟Ⅱ期・C棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床 ⑨平成29年度 浦安病院3号館竣工 ⑩平成30年度 新研究棟(7号館)竣工 ⑪令和元年度 保健医療学部開設、練馬病院3号館竣工 ⑫令和2年度 新研究棟(7号館)Ⅱ期竣工、さくらキャンパス新講義棟・新女子寮竣工 ⑬令和3年度 浦安・日の出キャンパス1号館及び体育館竣工 ⑭令和4年度 医療科学部開設 ⑮令和5年度 健康データサイエンス学部開設、浦安・日の出キャンパス2号館竣工、さくらキャンパス第3体育館(小川スーパーアリーナ)竣工、三島キャンパス新講義棟竣工



平成27年度に学校法人会計基準が改正されたため、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母は、26年度以前が帰属収入（新基準の事業活動収入）、27年度以降は経常収入となっています。令和5年度は医療経費、教研経費が増加したため、それぞれ比率が上昇し、事業活動収支差額比率は低下しています。

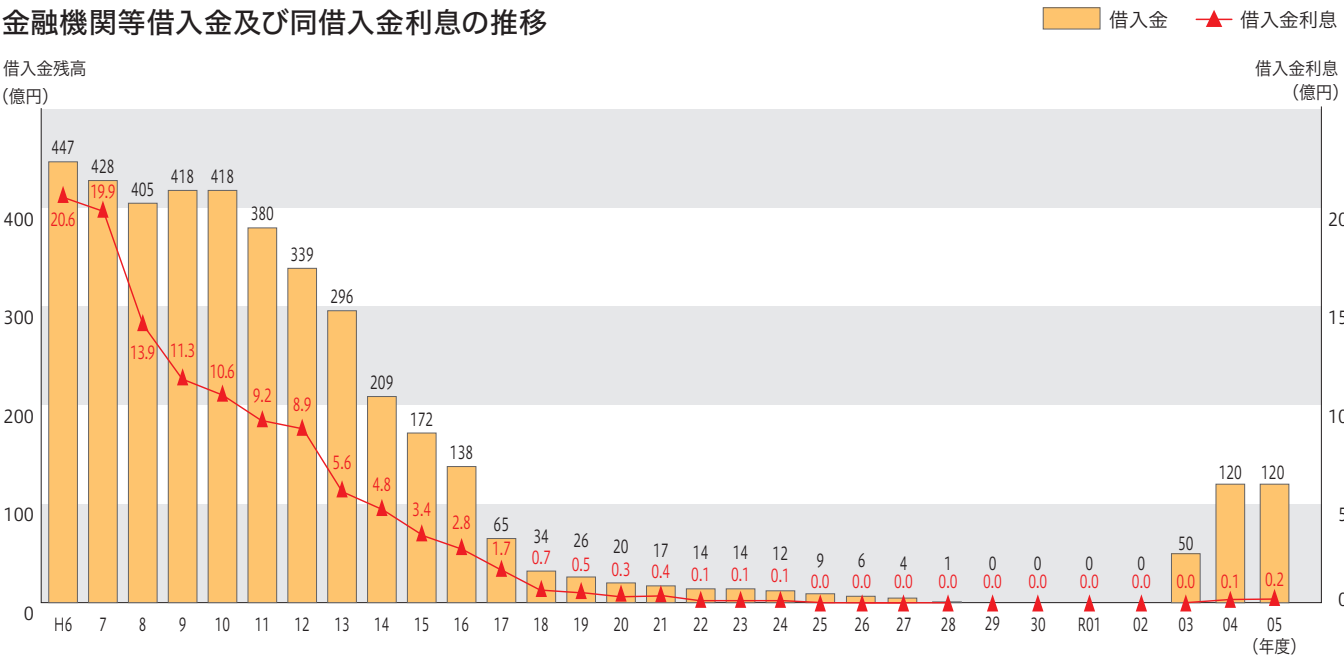
総資産、総負債及び純資産の推移



平成5年に竣工した順天堂医院1号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度までは総負債が純資産を上回っていました。その後は有利子負債の返済を前倒しで行いつつ、施設・設備の拡充を自己資金で行いながらも、堅調な事業活動収支差額（帰

属収支差額）を維持してきました。この結果、総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から令和5年度には20.3%と、大幅に改善しています。

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

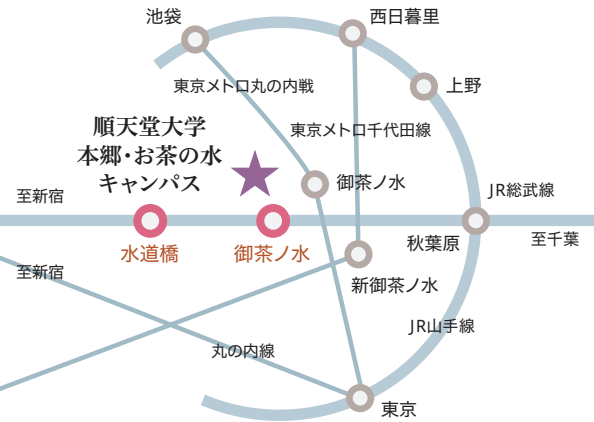


総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。令和3年度及び令和4年度は新学部設置に係る文部科学省の基準

に合致させるため、金融機関から借り入れを行なっています。

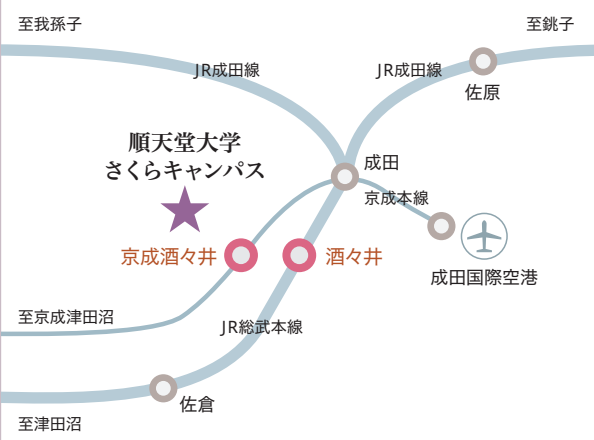
ACCESS

〔本郷・お茶の水キャンパス〕



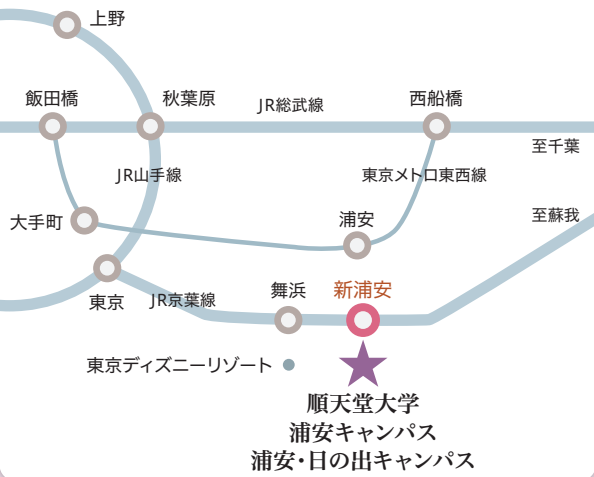
- ◎JR御茶ノ水駅・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅より徒歩7分
- ◎東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅より徒歩9分
- ◎JR水道橋駅・都営三田線 水道橋駅より徒歩7分

〔さくらキャンパス〕



- ◎京成酒々井駅より徒歩20分 バス・タクシー 5分
- ◎JR酒々井駅よりバス・タクシー 10分

〔浦安キャンパス〕
〔浦安・日の出キャンパス〕

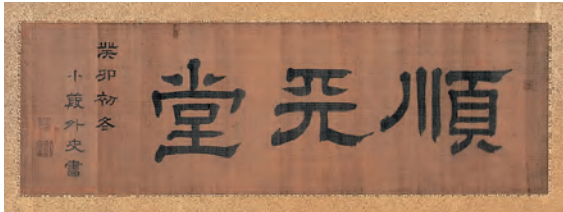


- ◎JR新浦安駅よりバスで5～10分

〔三島キャンパス〕



- ◎JR三島駅より徒歩10分



Juntendo, Tokyo, Established 1838